

EMPEX

ポケナビ[®]

GPS・電子コンパス・気圧高度計 搭載

Mount mini

(FG-535)

取扱説明書 (保証書付き)



はじめに

準備をする

基本操作を覚える

受信画面のみかた

地図画面のみかた

コンパス画面のみかた

高度画面のみかた

メニュー画面のみかた

ポイントを登録する

ナビゲーションする

調整する

本体の設定をする

その他

このたびは、エンペックスのポケナビをお買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。なお、この説明書は、お使いになる方が、いつでも見られるところに必ず保管してください。



もくじ

はじめに

ポケナビ・マウントミニの特長	6
こんなことができます	8
おねがい	10
安全上のご注意	11
商品の確認	12
各部の名称と機能について	13
GPSとは?	15

準備をする

電池の入れかた/外しかた	17
ご使用になる電池について	18
ストラップの付けかた/外しかた	19

基本操作を覚える

さあ、はじめましょう!	
ポケナビの持ちかた	20
衛星を受信するときの注意	21
用語の説明	22
電源の入れかた/切りかた	24
画面の切り替え	24
バックライトのつけかた	24
方位の測りかた	25

受信画面のみかた

受信画面のみかた	28
受信状態を確認する	29

地図画面のみかた

地図画面のみかた	30
地図画面の設定をする	31
ウェイポイントを 表示/非表示する	32
地図のスケールを拡大・縮小する	33

コンパス画面のみかた

コンパス画面のみかた	34
ナビデータを変更する	35
コンパス画面の設定をする	36
方位の表示を設定する	36
データをリセット(消去)する	37



もくじ

高度画面のみかた

高度画面のみかた	38
高度データを変更する	39
高度画面の設定をする	40
距離スケールで高度表示する	40
時間スケールで高度表示する	41
時間のスケールを設定する	42
垂直高度を表示する	43
高度の記録を確認する	44
最高高度をリセットする	45
高度データをリセットする	46

メニュー画面のみかた

メニュー画面のみかた	47
------------	----

ポイントを登録する

ウェイポイントを登録する

1. 受信中にウェイポイントを登録する 49
2. 位置入力でウェイポイントを登録する 52
3. 目測ウェイポイントを作成する 54

ウェイポイントを編集する

- ウェイポイントの
リストをみる 57
- シンボルマークを編集する . . . 58
- 名前を編集する 60
- 位置を編集する 62
- ウェイポイントを消去する . . . 64
- ウェイポイントを全消去する . 65
- ウェイポイントを
地図で確認する 66



もくじ

ナビゲーションする

1. ポイントナビする
 - (1) ウェイポイントナビする
 1. リストから選択して
ナビする 69
 2. 最寄リストから選択して
ナビする 72
 - (2) コース設定する 75
 - (3) 目測ナビする 78
 ナビを中止する 82
2. ルートナビする
 - ルートの作成 83
 - ルートナビする 86
 - ルートナビを中止する 88
 - ルートを編集する 89
 - ルートの名前を編集する 89
 - ルートのウェイポイントを
追加する 91
 - ルートのウェイポイントを
削除する 93
 - ルートを消去する 94
 - ルートを全消去する 95
3. トラック(軌跡)ナビする
 - 軌跡を保存する 97
 - トラックナビする 98
 - トラックナビを中止する 99
 - 軌跡を編集する 100
 - 名前を編集する 100
 - 軌跡の高度グラフを表示する 102
 - 軌跡を消去する 103
 - 使用メモリをリセットする 104
 - 軌跡を全消去する 105

調整する

- 方位を計測する 106
- 高度を調整する 106
 1. 海拔高度を入力する 107
 2. 現在の気圧を入力する 109
 3. GPS高度を選択する 111

本体の設定をする

- 設定画面のみかた 113
1. 時間の設定をする
 - 時間制の設定をする 114
 - 時差の設定をする 115
2. 画面表示の設定をする
 - バックライトの設定をする 116
 - コントラストの設定をする 117
3. ナビゲーションの設定をする 118
 - 位置表示形式の設定をする 119
 - 測地系を合わせる 120
 - 距離/速度単位の設定をする 121
 - 高度と垂直速度単位の
設定をする 122
 - 気圧表示単位の設定をする 123
4. 入出力の設定をする 124
5. 進行方向の設定をする 126
 - 速度設定をする 127
 - 時間設定をする 129
 - 偏角の設定をする 131
6. 操作モードの設定をする
 - GPSモードの設定をする 133
 - 電子コンパスモードの
設定をする 135
 - 高度計の操作モードを
設定する 136



もくじ

その他

- DGPS(ディファレンシャル)
を利用するには 137
- ポケナビとパソコンを
接続するには 140
- オプションパーツについて 142
- 時差一覧表 143
- 測地系一覧表 144
- 全国代表都市緯度経度表 148
- メッセージ一覧表 150
- ポケナビQ&A 154
- 索引 157
- 取扱説明書について 160
- アフターサービス
/保証規定について 161
- ポケナビ・マウントミニ仕様 162



はじめに

ポケナビ・マウントミニの特長

ポケナビ・マウントミニはアウトドア用に設計されたGPSです。わずか155gのコンパクトボディの中に電子コンパス、気圧高度計を搭載した山に強い、新しいタイプの携帯型GPSです。

高性能磁気方位センサと高精度気圧高度センサの採用により、従来のGPSでは不可能だった、正確な方位計測、高度の表示が実現しました。(仕様はP162を参照ください。)

ナビ機能も更に充実して、より使いやすく、信頼性の高いナビゲーションが可能。アウトドアに必要な情報がマウントミニ1台でカバーできます。

12チャンネルGPS

位置情報を素早くキャッチ

気圧高度計

現在高度や高度変化を表示

高性能電子コンパス

本体を回転させて、方位を計測

簡単操作

左右にボタンを設置、片手で簡単操作

完全日本語版

日本語対話式でわかりやすい

日常生活防水

ELバックライト

夜でも見やすい



ポケナビの特長 (つづき)

■主な仕様

<本体>

- 重さわずか約155g。
- 12チャンネルレシーバー内蔵。
- 左右に操作ボタンを設置。画面を確認しながら片手で簡単操作。
- 電源は単3アルカリ電池2本で最大16時間連続使用が可能。*

<電子コンパス機能>

- 現在位置の方位を計測。
- GPSコンパス、電子コンパスの切替が可能。(自動切換え可)
- コースずれが一目でわかるコース設定機能。

<高度計機能>

- 高度9,000mまで1m単位で計測し、現在高度や高度変化を数値及び視覚的に確認できるグラフで表示。(気圧、高度調整機能付)
- 高度データ(総上昇/下降高度、最大上昇/下降高度速度、最高/最低高度メモリー、過去高度データ)、12時間気圧傾向等を表示。又、高度グラフ表示の選択(距離/時間毎)が可能。

<GPS機能>

- 現在位置(緯度、経度、GPS方位、GPS高度)、時刻を表示。
- 衛星受信して移動すると速度や進行方向、軌跡を表示。
- 記録しておきたい場所(緯度・経度と高度)に名前を付けて保存ができ、最大500ポイントまで登録可能。
- 目的地の座標がわからない場合でも方位と距離を入力してポイント作成が可能。(目測ウェイポイント)
- ルートは20ルート(1ルート/50ポイント)まで登録可能。
- 通過した軌跡を保存(10トラック)
- 移動地図は50m~1,200kmまで拡大・縮小が可能。
- 目的地まで簡単ナビゲーション:ポイントナビ、ルートナビ、トラックナビ機能。(コース設定機能、目的地の座標なしでもナビできる目測ナビ)
- 画面も見やすく、わかりやすい矢印とアイコンで目的地まで表示。歩行中も目的地までの距離、進行方向、進行速度、所要時間など常に確認も可能。

<その他>

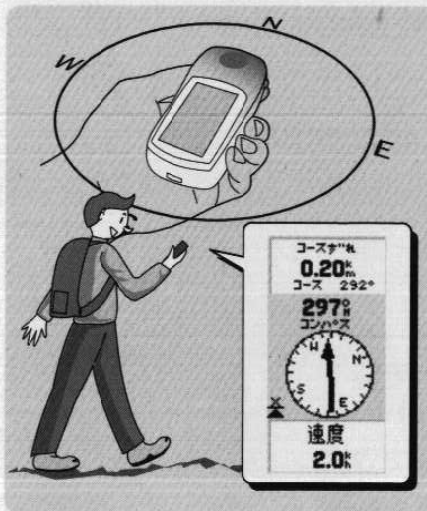
- 日の出/日の入時刻を現地時間で表示。
- 機能がシミュレーションで見れるシミュレーション機能。
- 暗闇でもハッキリ見えるELバックライト付き。
- ディファレンシャル対応可能。

※低温条件下での使用、バックライトの使用頻度によって異なります。

こんなことができます。

山や海や空で活躍するポケナビ・マウントミニ。

そのコンパクトさ、多機能を生かして、カーナビにはない機動性を発揮してあなたの頼もしいガイドになります。



方位計として使う

電子コンパスだけでも使用できるので、方位計としても使えます。道の分岐点など立ち止まった時の方位や目的地方向をチェック。目的地の方向を計測してコースずれを修正するコース設定機能付き。又、今立っている所から山頂の方向にマウントミニを向けてセットして方位を計測。それに予想できる距離を入力すると、現在位置をもとにポイントを作成、ナビゲーションできます。(目測ナビ機能)急に目的地を変更したり、ルートから外れた時に便利な機能です。

高度計として使う

高度は9,000mまで1m単位で計測できるので、標高などの高度を入力しておけば、海拔高度も確認することができます。高度変化は、数値及び視覚的に確認できるグラフで表示。高度データは最大上昇/下降高度や速度などを表示するので、パラグライダーなどのスカイスポーツにも最適です。



こんなことができます。(つづき)

ナビゲーションとして使う



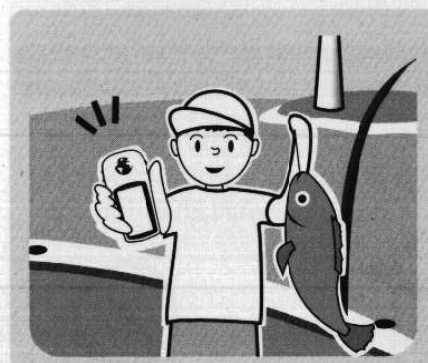
歩きナビ

とってもハンディーなポケナビ・マウントミニはハイキングやトレッキングに最適。行きはポイントナビで山頂(目標)に向かい、帰りは来た軌跡をたどって戻るトラックナビで、来た道に戻る使い方が出来ます。



自転車・バイクナビ

オプションのブラケットを使えば自転車ナビに早変わり。バイクならタンクバックに入れておけばOK。ルートナビを使ってサイクリング・ツーリングの計画を練れば、旅の強い味方に。また、速度表示を使えばスピードメーターにもなります。



釣りナビ

よく釣れるポイントはそのポイント位置を登録。操作は簡単。又、海上のような目印がない場所もOK。お気に入りの景色が見える場所、キノコ採り、山菜採りの穴場、珍しい動物を発見した・・・など地図に載っていない場所をマークしてあなただけの地図を作りましょう。

おねがい

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。



警告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

誤った使い方をすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

■図記号の例



○は禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、○の中や近くに文章や絵で示します。



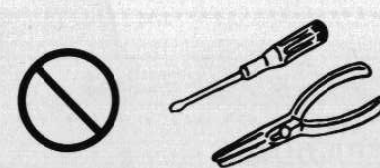
●は強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。

安全上のご注意

強いショックを与えないでください



分解しないでください

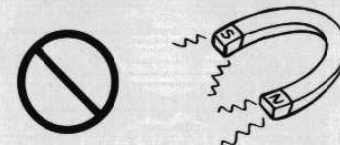


■次のような所では使わないでください。

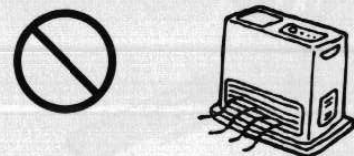
・水中、水しぶき及びその他の液体のかかる場所



・強い磁気や電磁波のある場所
(高圧電線、テレビ、大型モニター、スピーカーなどの近く)



・温度が+70℃以上になる場所



・温度が-15℃以下になる場所



安全上のご注意

ケースの汚れを落とすとき、シンナー、ベンジン、ミガキ粉、スプレー式クリーナー、各種ブラシなどは使用しないでください。油汚れなどは、やわらかい布に中性洗剤を浸し、よくしぼってから拭き、乾拭きをしてください。



商品の確認

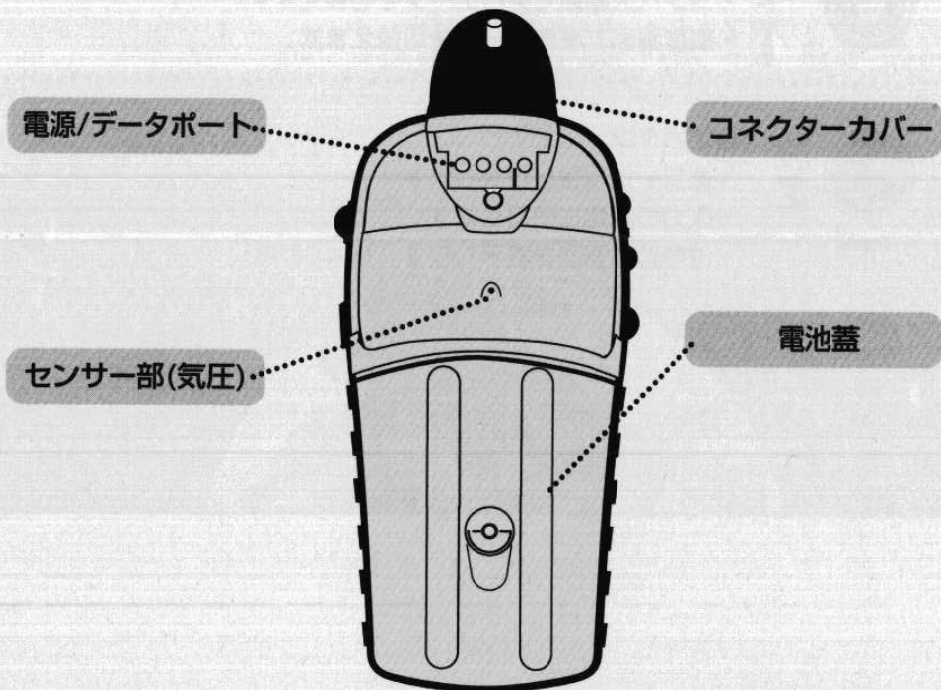
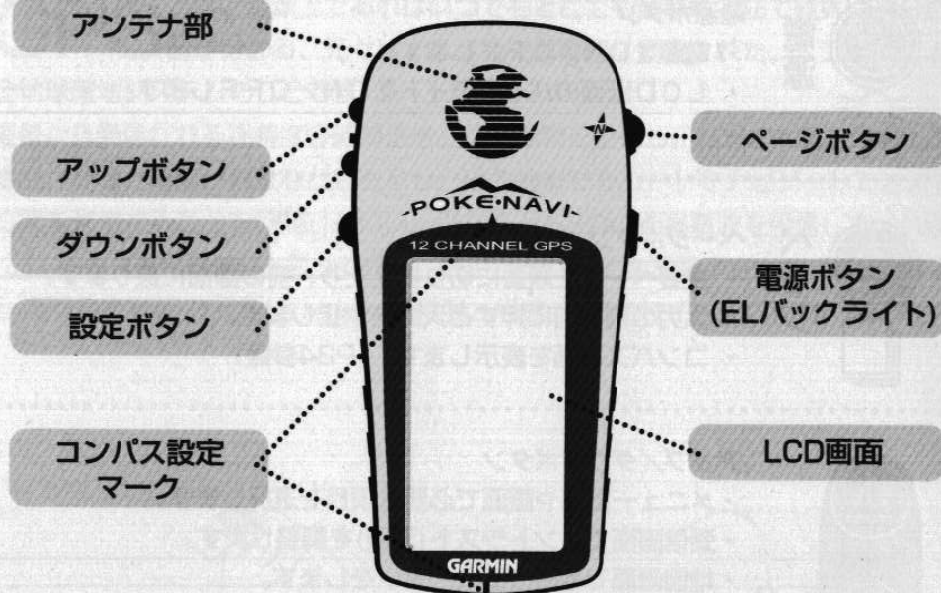
お使いになる前に、本体及び付属品の確認を行ってください。構成は下記のようになっています。

- ①ポケナビ・マウントミニ本体 1台
- ②ストラップ 1本
- ③単3アルカリ電池 2本
- ④取扱説明書(本書) 1冊



もし、不足品がございましたら、お買上げ店までご連絡ください。

各部の名称と機能について





電源

電源ボタン

- ・ 電源をON/OFFします。
- ・ LCD画面のバックライトをON/OFFします。



ページ

ページボタン

- ・ 主要ページを順番に切り換えたり、前の画面に戻ります。
- ・ 入力確定前に押すと入力を中止します。
- ・ コンパス画面を表示します。(P34参照)



アップ/ダウンボタン

- ・ メニュー画面や画面で必要な項目を選択します。
- ・ 受信画面でコントラスト(濃淡)を調整します。
- ・ 地図画面で地図の拡大・縮小をします。
- ・ コンパス画面でナビデータを切替えます。
- ・ 高度画面で高度データを切替えます。



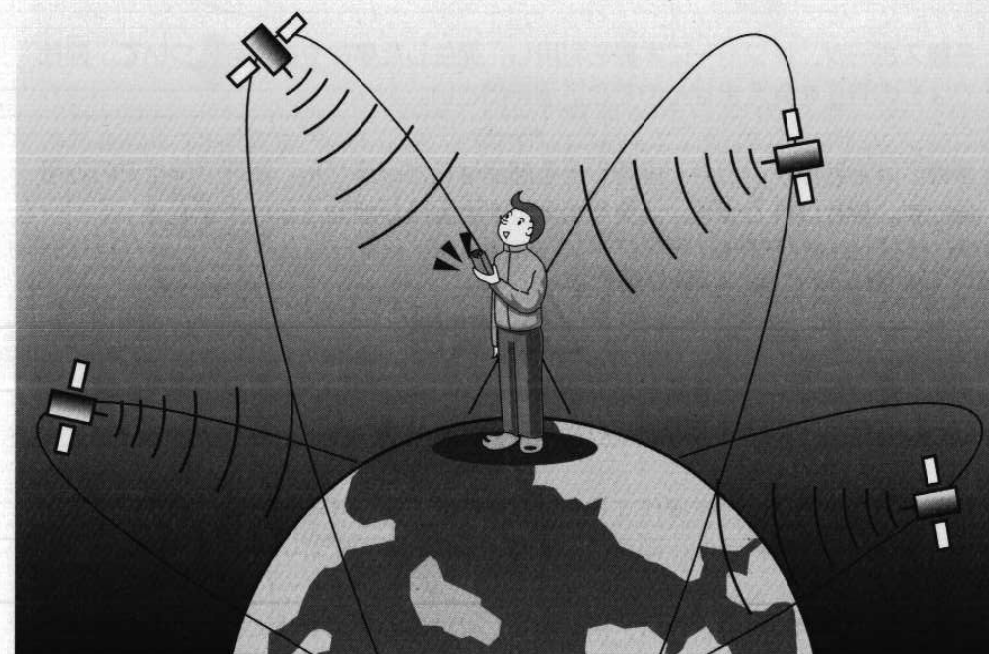
設定

設定ボタン

- ・ 選択した項目を設定します。
- ・ 入力確定に使用します。
- ・ 位置登録画面を表示します。(P49参照)

GPSとは、地球上であればいつでもどこでも簡単な方法で確実に自分の位置が分かる、元々はアメリカで軍事用に開発された、人工衛星による全地球測地システムのことです。

衛星から発信される高精度の時間信号と位置情報を受信し、自分の位置を計算して緯度、経度、高度、方位などを表示し、目的地までのルートナビゲートできます。位置を測定することを「測位」といい、少なくとも3つの衛星電波を受信していれば、「2Dナビ(2次元測位)」と言って緯度、経度が分かり、衛星電波を4つ以上受信すると、「3Dナビ(3次元測位)」といって緯度、経度、高度がわかるようになります。



⚠ 注意

- GPSシステムはアメリカ国防総省により運営されており、国防当局の都合により、GPSの精度に影響を及ぼす変更が生じることがあります。しかし、アメリカ国防総省はGPSシステムの精度低下や故障によって生じる不都合に関する責任は一切負いません。
- 本機に内蔵されている磁気方位センサ及び気圧高度センサは、専門的な計測器として使用する目的で製造されたものではありません。ご使用にあたっては製品の特性を良くご理解の上、お使いください。又、方位、高度の精度誤差などで生じる二次災害や損害等については弊社では一切その責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 各種スポーツ、レジャーに本機を利用し、発生した事故や損害等について、弊社ではその責任を負えませんのでご了承ください。
- 本機にはお客様がご自身で修理できる部品はございません。修理は弊社でのみ可能です。弊社以外で修理、変更を加えますと保証が無効となります。

⚠ 警告

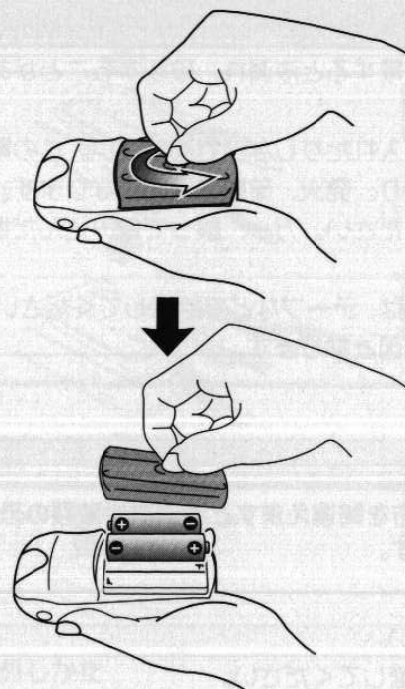
- 船舶や航空機の主航法装置として使用しないでください。本製品は専門的な計測器として使用する目的で製造されたものではありません。
- 車両走行中にポケナビを操作するのは危険です。操作するときは、必ず安全な場所に停車してから行うか、同乗者に操作を依頼してください。
- 車両等でご使用になるときは、所有者もしくは運転者の責任において事故による損害やケガが生じないように本機を安全な場所において下さい。エアバックの上など、衝突や事故によって本機が乗員に打撃を与えるような場所には置かないでください。



準備をする

電池の入れかた／外しかた

■電池の入れかた



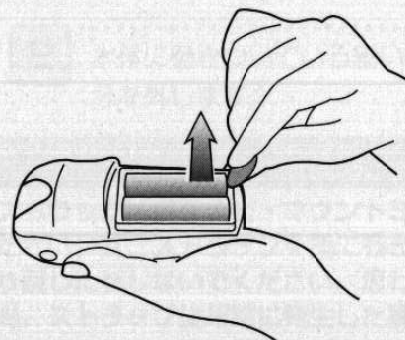
- 1 底部にあるヒンジを上にして、左回りに回して電池蓋を外します。

水滴がかかる場所で電池蓋を開けないでください。

- 2 電池をケース内のマークに従って⊕⊖の方向を間違えないように正しくセットします。

- 3 電池蓋を閉じ、ヒンジで確実に固定します。

■電池の外しかた



- 1 底部にあるヒンジを上にして、左回りに回して電池蓋を外します。

- 2 電池バネにコイン等を差し込んで外してください。

電池を外すときは爪を傷めるおそれがありますので、コイン等を使用してはしないでください。

ご使用になる電池について

ポケナビ・マウントミニは単3アルカリ電池を2本使用します。電池寿命は最長16時間です。

お買上げの時に本機に入っております電池はモニター用のものですので、規定の電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
又、温度、バックライトの使用頻度等の条件によっても変化します。

⚠ 警告

- アルカリ電池は充電しないでください。充電すると液漏れ、破裂することがあります。
- 電池をショート、分解、変形、加熱、火に入れたりしないでください。この電池は有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、発火、破裂の原因になります。電池は幼児の手の届かない場所に置いてください。万一、誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- 電池を破棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池と混ざると発火、破裂の原因となります。

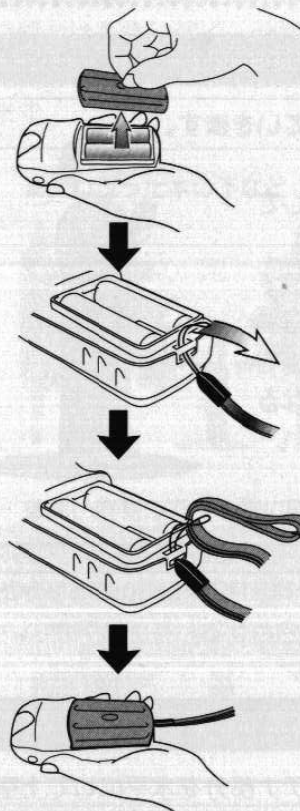
⚠ 注意

下記の事を必ず守ってください。電池の扱い方を間違えますと液漏れや破裂の恐れがあり、機器の故障や破裂の原因となります。

- +-を正しく入れてください。
- 電池に直接ハンダ付けはしないでください。
- 直射日光、高温、高湿の場所を避けて保管してください。
- 使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。

ストラップの付けかた／外しかた

■付けかた



1 本体の底部にあるヒンジを上立て、左回りに回して電池蓋をはずします。

2 ストラップの細い部分のヒモの先端を本体の通し口に下から上へ通します。

3 次にストラップの反対側(太いヒモ部分)を図のように通します。

4 最後に電池蓋を戻します。

■外しかた

1 本体の底部にあるヒンジを上立て、左回りに回して電池蓋をはずします。

2 本体に巻きついている細いヒモ部分をたるませて、通している太いヒモ部分を外します。

⚠ 注意

ストラップはポケナビ・マウントミニの使用目的以外にはお使いにならないでください。又、ストラップを指に巻きつけたり、装着時に無理に引っ張ったり、振り回したりしないでください。思わぬケガの原因となります。
尚、ストラップ使用時に発生した事故及び損害等については、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。



基本操作を覚える

さあ、はじめましょう！

さて、ここからホケナビ・マウントミニの操作を説明していきます。

■練習など行う時には屋外で・・・

これからの操作、機能の説明は屋外での衛星電波を受信して行うことを前提にしています。

屋内で練習を行うときは、シミュレーション機能（P133参照）をお使い下さい。その場合、画面の内容が多少異なったり練習できない内容もありますのでご注意ください。なるべく衛星が受信できる開けた場所で操作をおこなってください。



衛星電波を受信する前に、現在位置の方位を測って、ご使用になる場所の時差と測地系を設定する必要があります。設定方法は、P25「方位の測りかた」、P115「時差の設定をする」、P120「測地系を合わせる」を参照下さい。

ポケナビの持ちかた

屋外の上空が開けた、信号を受信しやすい場所で、アンテナ部分を水平にして上空を向くように持ちます。

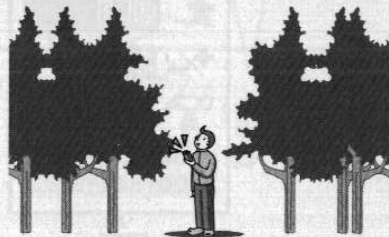


衛星を受信するときの注意

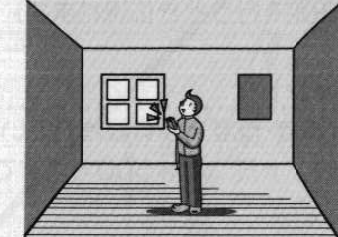
■衛星電波を受信しにくい場所

衛星電波は非常に弱く、金属、岩石、建物、人間、生い茂った木々などを通ることはできません。次のような場所では受信しにくい、もしくは受信できないことがあります。

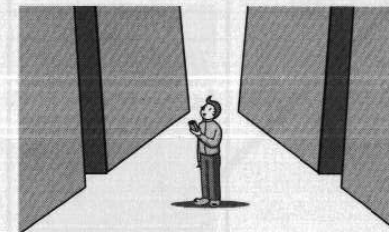
■生い茂った木の下など



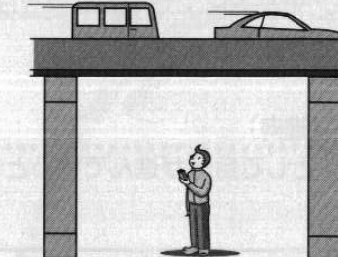
■建物の中、屋根の下、ベランダ



■高い建物の近くや壁に囲まれた場所

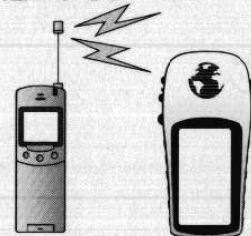


■高架道路の下など

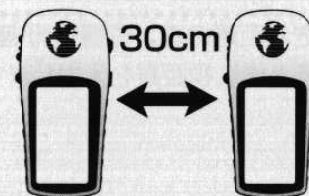


衛星電波は電波の一種ですので、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものと受信を妨げられることがあります。下記のような機器には近づけないでください。

⊘ ^{ギガヘルツ}1.5GHzの携帯電話に
近づけない



⊘ ポケナビ同士を近づけすぎない。
(30cm以上離しましょう。)



※携帯電話の周波数については、各携帯電話事業者にお問い合わせください。

用語の説明

反転

項目を選択している状態。その項目の設定などを操作することができます。

ウインドウ

画面上に現れる際に小さな画面(本体からのメッセージや詳細な設定を行うときに現れます)

ウェイポイント

位置情報(緯度・経度)が登録されているポイント。ポケナビ・マウントミニでは500カ所まで登録できます。

ルート

ウェイポイントをいくつか選択し、それらを経由して作られる道。ポケナビ・マウントミニは20ルート/50ポイントまで登録できます。

進行方向(進向)

真北を0°として自分が進んでいるときの方向

軌跡

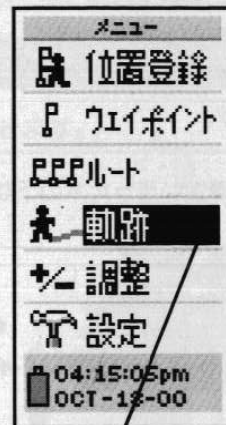
実際に通過した道のり。ポケナビ・マウントミニは10個まで軌跡を保存できます。

目測

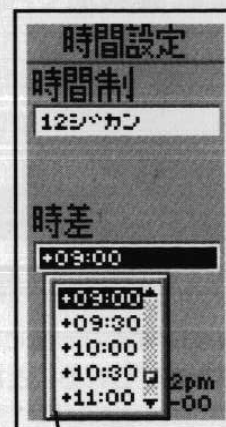
電子コンパスを使用して目視で方向や距離を決定する事。

目測距離

目で確認できる距離の事。位置情報(座標)なしでポイントを作成するときに視距離を入力します。

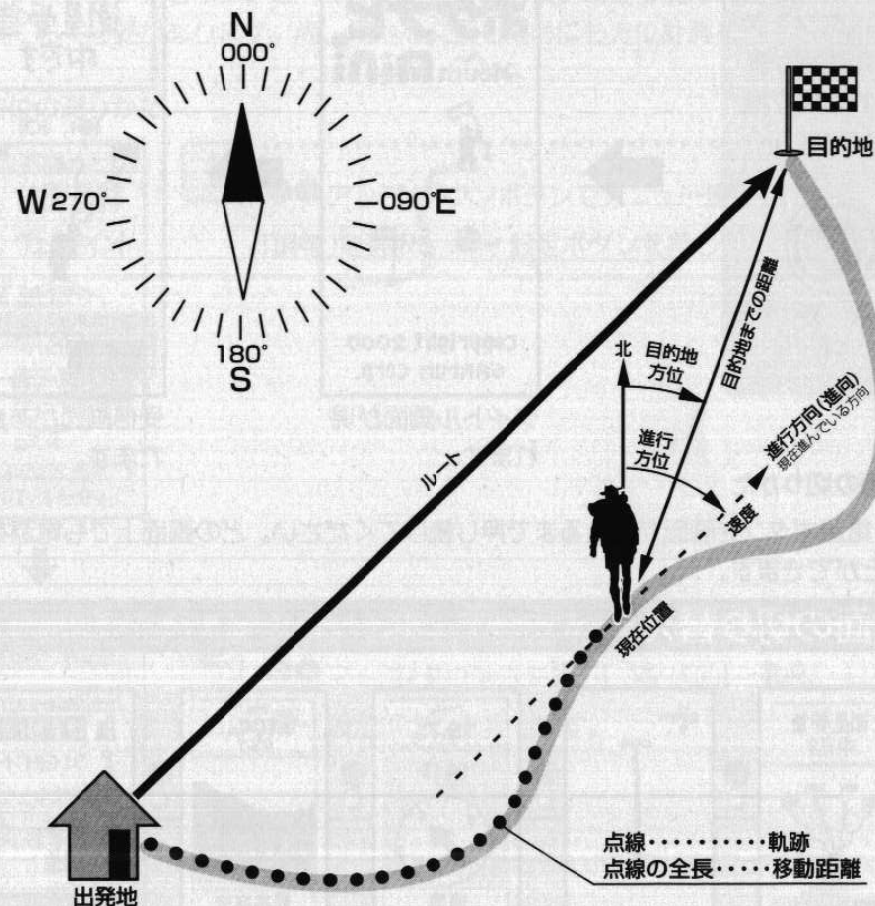


反転



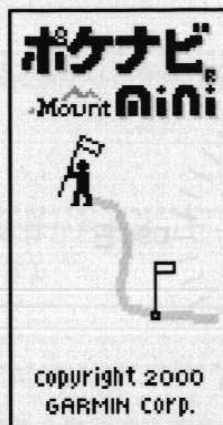
ウインドウ

用語の説明(つづき)

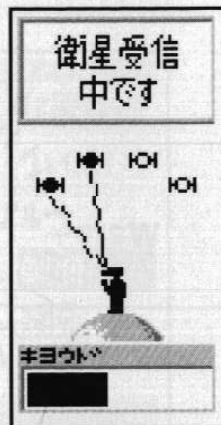


電源の入れかた/切りかた

電源ボタンをタイトル画面が表示されるまで押し続けます。



タイトル画面が現れます。

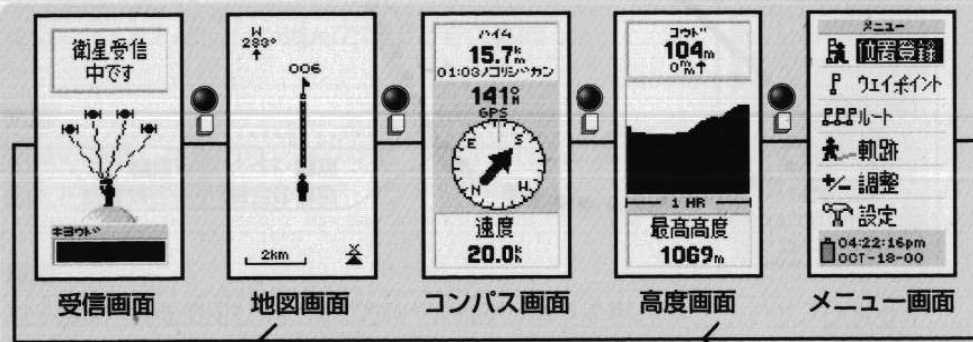


受信画面があらわれます。

■電源の切りかた

電源ボタンを画面が消えるまで押し続けてください。どの画面上でも電源を切ることができます。

画面の切り替え



ポケナビ・マウントミニは主に5つの画面から成り立っています。ページボタンでどの画面にも順次切り替えることができます。

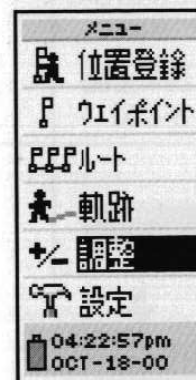
バックライトのつけかた

どの画面上でも、電源ボタンを1回押すと、ELバックライトが点灯します。点灯時間の設定についてはP116をご覧ください。(初期設定は15秒です)

方位の測りかた

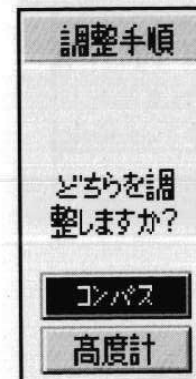
ナビゲーションなどポケナビ・マウントミニをお使いになる前に現在位置の方位を測っておく必要があります。尚、電池を交換した時にも方位計測を行ってください。

■方位の測りかた



1

アップ/ダウンボタンでメニュー画面(P24)の「調整」を選択、設定ボタンを押します。



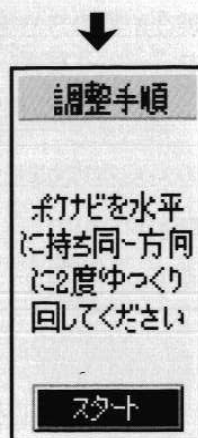
2

アップ/ダウンボタンで「コンパス」を選択、設定ボタンを押します。



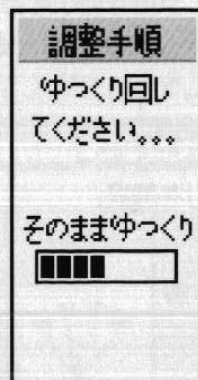
方位の測りかた

基本操作を覚える



3

マウントミニを水平に保って、 設定ボタン（スタート）を押して、ゆっくりと同じ方向に2度回してください。



4

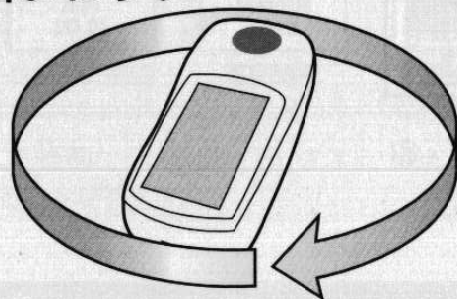
画面にメッセージが表示されます。

早すぎます・・・ はやすぎます。ゆっくり回してください。

遅すぎます・・・ 遅すぎます。もうすこし速く回してください。

そのままゆっくり・・・ 計測中です。その速さを保って回してください。

2回まわす。

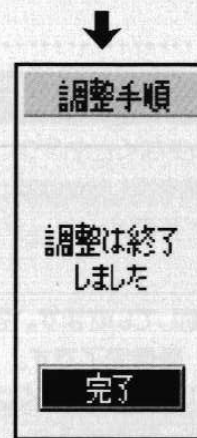


ポイント

方位を計測する時は、必ずポケナビを水平に行ってください。正確な方位が表示できなくなります。

方位の測りかた

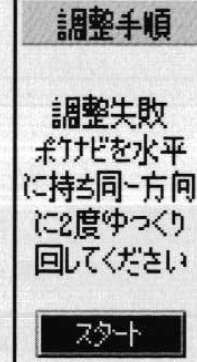
基本操作を覚える



5

終了のメッセージが表示されます。

 設定ボタンを押します。



6

「調整失敗」のメッセージが表示された場合はもう一度計測し直してください。（P26の4から始まります。）



ポイント

1. 方位計測は電池を交換する毎に行ってください。
2. 電子コンパス(磁気方位計)は車の中などの磁気を発する機器のある場所では計測できません。
3. 方位を計測するときには必ずポケナビを水平に行ってください。正確な方位が表示できなくなります。

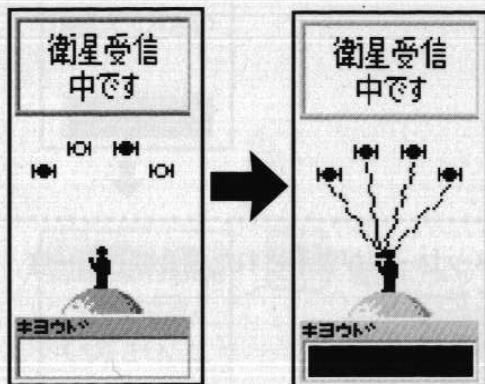


受信画面のみかた

受信画面のみかた

最初の画面は受信状態を示す画面です。ポケナビ・マウントミニは少なくとも3つ以上のGPS衛星からの電波が必要となります。電源が入ると、衛星の位置を探し始めます。衛星の電波を4つ以上受信して位置の計測が完了すると、「3Dナビ」のメッセージが表示されます。このメッセージが出てくると、受信完了です。

受信画面のみかた



受信強度が左から右へ移動していきます。強度がいっぱいになると、受信完了です。「キョウド」が短いときは受信中もしくは電波が弱い状態ですので、移動するなどして上空の開けた場所で受信してください。

メッセージは受信の状態によって下記の表示が現れます。

- 衛星受信中です・・・使用可能な衛星から電波を受信しています。
- 2Dナビ・・・良好な位置にある衛星を3個受信して2次元測位(緯度・経度)が計測されている状態です。
- 3Dナビ・・・良好な位置にある衛星を4個以上受信して3次元測位(緯度・経度・高度)が計測されている状態で、受信完了です。
- 弱受信です・・・衛星位置関係が良好でないため、電波が受信できない状態ですので、視界が開けた場所へ移動してください。
- オートロケート中です・・・内蔵データを初期化して、新たに受信に必要な電波(アルマナックデータ)を収集しています。受信まで時間が必要となり完了(3Dナビ)まで約5分程度かかります。
- 受信オフです・・・GPS受信機をオフにしている状態です。



ポケナビ・マウントミニをご購入後、初めてお使いになるときには、受信完了までに約5分程度かかります。次回お使いになる時からは約15～45秒程で受信します。(但し、最後にお使いになってから約6ヶ月後経過して受信するとき、又は800 km以上移動したときに受信される場合には約5分程かかります。)

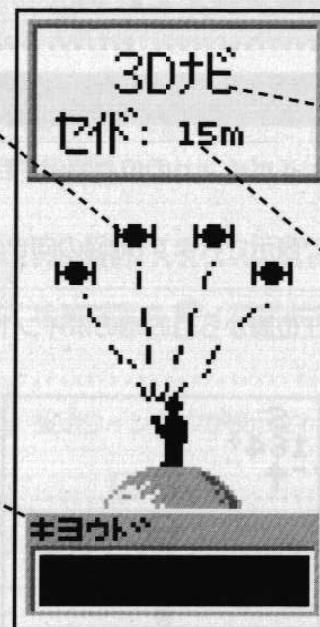
受信状態を確認する

GPS衛星

3つ以上(2Dナビ)あるいは4つ以上(3Dナビ)の衛星捕捉が必要になります。

キョウド(受信強度)

衛星の受信強度を表示。左から右へいっぴいになると受信完了となります。



メッセージ

受信状態のメッセージを表示

セイド(位置精度を表示)ポケナビのおおよその誤差の範囲を表示します。



このページで▽▲アップ/ダウンボタンを押すと、画面のコントラスト(濃淡)が調節できます。▲アップ(濃い)、▽ダウン(薄い)

受信画面のみかた



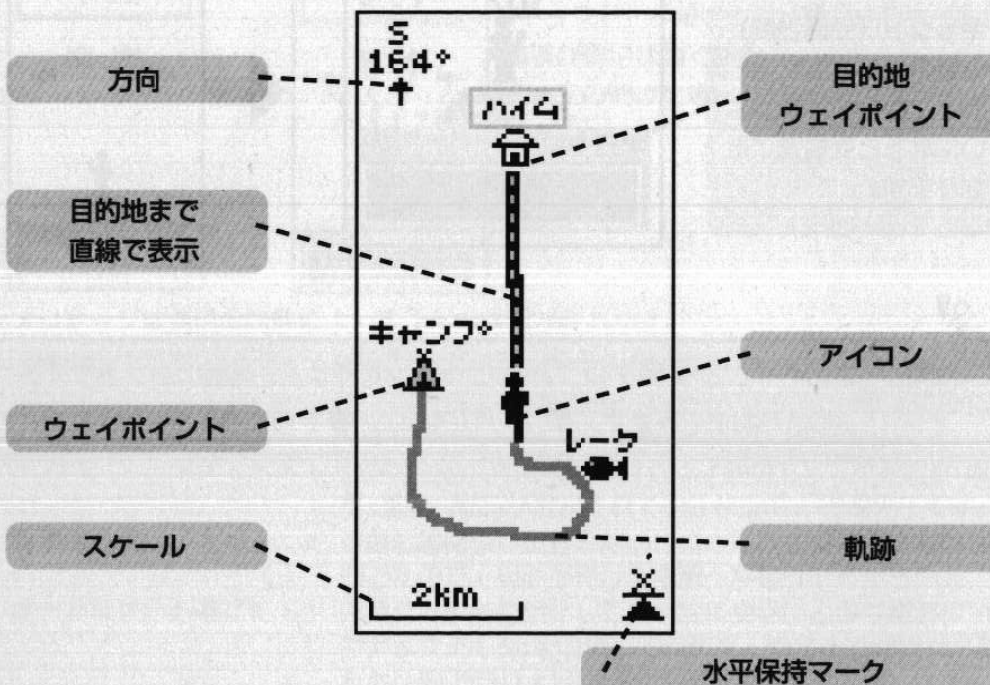
地図画面のみかた

地図画面のみかた

地図画面では、現在位置やウェイポイントの位置関係や自分の移動した軌跡がリアルタイムで確認できます。

現在位置は、中央のアイコンで表示されます(地図の向きの設定によってアイコンの形が変わります)

目的地を設定した場合は、現在位置から目的地のポイントまでを直線を表示します。



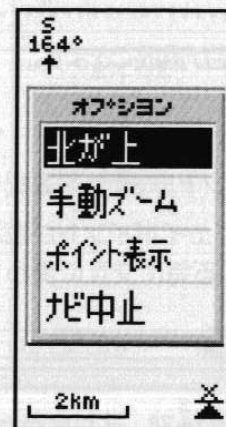
正確な方位を計測するために、本体を水平に保つ必要がある時に表示されるマーク。(地図画面、コンパス画面上で表示) この表示が出る時には方位を正しく調整するか、本体の傾きを少し変えてみてください。(専用の傾きセンサは使用していませんので目安としてご利用下さい。)

地図画面の設定をする

地図画面では、地図の向きの設定や地図の拡大・縮小などの設定ができます。

■地図の向きを設定をする

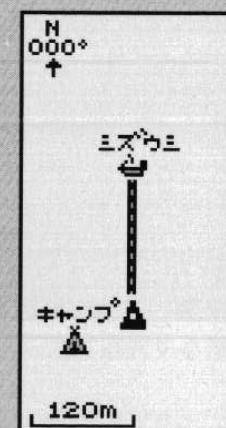
地図の向きは、「進行方向上(画面の上が進行方向)」、「北が上(画面の上が常に北)」から選択できます。初期設定では「進行方向上」になっています。



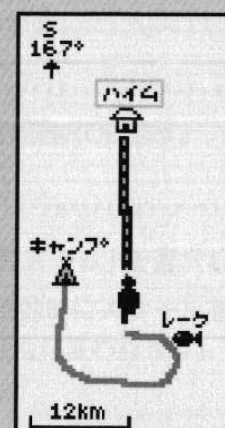
- 1 地図画面で 設定ボタンを押します。
- 2 設定ウィンドウが表示され地図の設定が選択できます。
- 3 アップダウンボタンで「北が上」を選択して 設定ボタンを押します。設定は選択する毎に交互に変わります。



地図方向を「進行方向上」に設定すると、画面左上に現在の進行方向の方角と方位が表示されます。又、「北が上」に設定すると、画面上が北向きに固定され、現在位置のアイコンが進行方向の向きを三角マークで表示します。



北が上

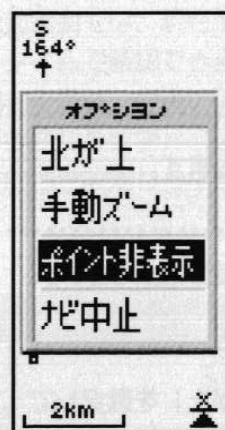


進行方向上

ウェイポイントを表示/非表示する

■ウェイポイントを表示/非表示にする

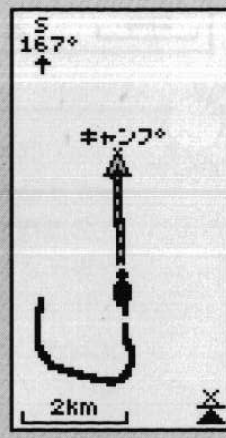
登録されているウェイポイント(→P57)を地図上で表示又は非表示させることができます。初期設定では「表示」になっています。



- 1 地図画面で ●→ 設定ボタンを押します。
- 2 設定ウインドウが表示され地図の設定が選択できます。
- 3 ●▲ アップダウンボタンで「ポイント非表示」を選択して ●→ 設定ボタンを押します。ウェイポイントが表示されなくなります。設定は選択する毎に交互に変わります。

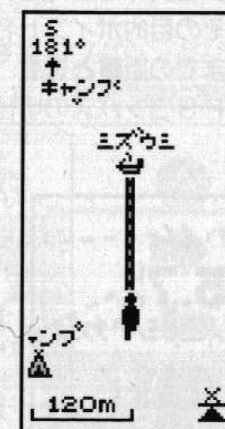
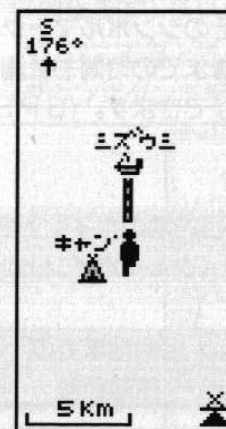


「ポイント非表示」を設定している場合でも、ナビゲーション中の目的地ウェイポイントは表示されます。



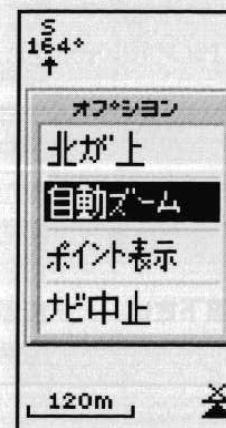
地図のスケールを拡大・縮小する

ポケナビ・マウントミニでは、地図を50m～1200kmまで23段階に拡大・縮小することができます。ウェイポイントなど具体的に確認したい時は拡大し、広範囲で見たい時は縮小します。又、スケールは手動、自動で設定する事ができます。初期設定では「手動ズーム」になっています。



- 地図のスケールを拡大・縮小する
- 地図画面上で、
アップボタン ▲ で縮小する
ダウンボタン ▼ で拡大する

■自動でスケールを拡大縮小する



- 1 地図画面で ●→ 設定ボタンを押します。
- 2 設定ウインドウが表示され地図の設定が選択できます。
- 3 ●▲ アップダウンボタンで「自動ズーム」を選択して ●→ 設定ボタンを押します。自動的にスケールを選択します。設定は選択する毎に交互に変わります。



「自動ズーム」は現在地点と目標地点が一画面に表示されるようにスケールを変更します。表示されるのは受信中のみです。

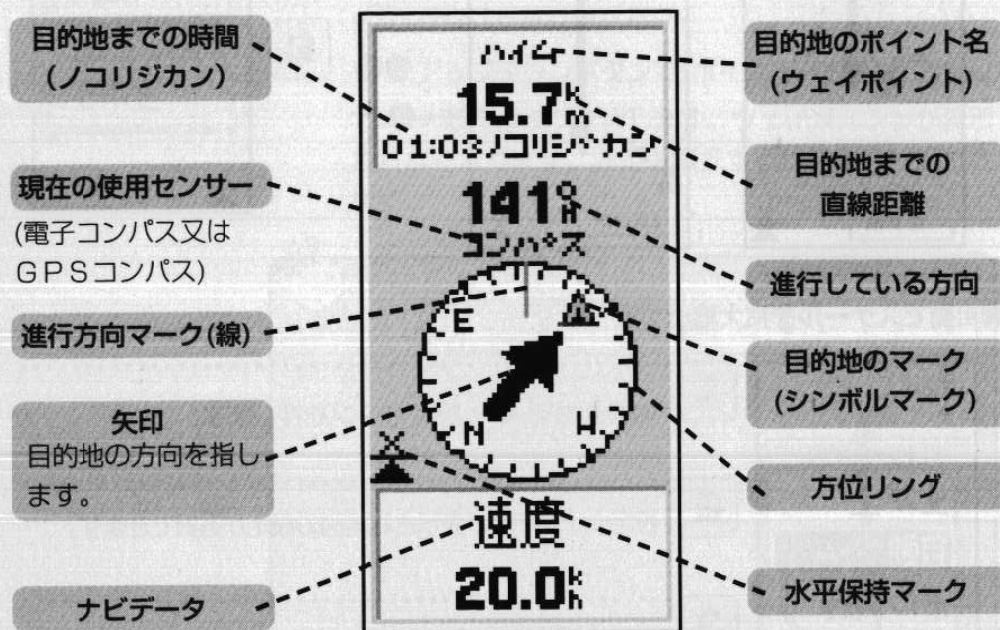


コンパス画面のみかた

■コンパス画面のみかた

コンパス画面は、現在の方位を表示したり、目的地までの方向を表示してナビゲーションする画面です。コンパスの方位リングと矢印で目的地の方向が一目でわかります。目的地ポイントを設定して移動すると、その目的ポイント名とそのシンボルマーク、方向を矢印で表示します。同時に目的地までの距離と速度、到着までの時間も計測します。又、コンパスは電子コンパス、GPSコンパスの切替えができます。(GPSコンパスは受信中でない表示になります。)

コンパス画面のみかた



※方位の測りかたについては→P25を参照下さい。



目的地のポイント名、アイコン、方向を表す矢印はナビゲーションを設定したときのみ表示され、又速度などの計測表示も移動中の進路に対しての表示ですので、止まった状態で方向を計測することはできません。又、特に目的地の設定がない時の表示は、メッセージには受信情報が表示され、コンパスで進んでいる方位、ナビ情報ではその速度が表示されます。

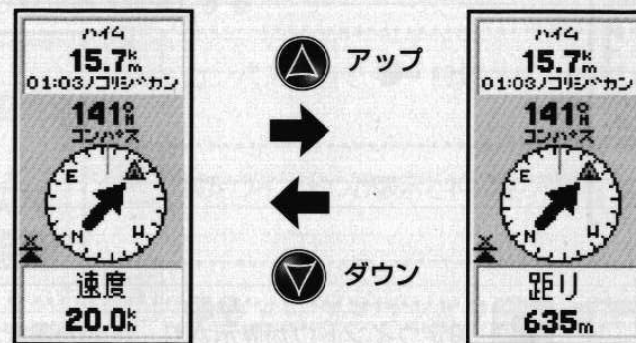
ナビデータを変更する

コンパス画面ではナビデータの変更、方位リングの表示設定やコース設定(→P75)データのリセット(消去)をすることができます。

■ナビデータを変更する

ナビデータは走行中やナビゲーション中の計測データを表示します。初期設定では現在速度になっています。

コンパス画面上で **▲** **▼** アップダウンボタンを押すごとに表示が切り替わります。(ダウンボタンを押すと前の表示内容に戻ります)



- 速度 現在の進行速度
- 距離 リセットをかけてから現在までの移動距離
- 積算 リセットをかけてから現在までの移動に要した累計時間
- 日の入 現在地での日の入時間(現地時間)
- 日の出 現在地での日の出時間(現地時間)
- 位置 現在の位置(緯度・経度)
- 高度 海面からの垂直高度(海拔)
- 方位 目的地の方向(北を0°として)
- 最速 リセットをかけてから現在までの最高速度
- 均速 リセットをかけてから現在までの平均移動速度



タイトル画面以外の画面上で **●** **□** ページボタンを約1秒押し続けると、コンパス画面が表示されます。方位をすぐに確認したい時などに便利です。

コンパス画面のみかた

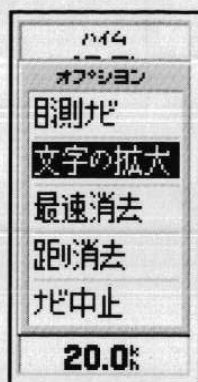
コンパス画面の設定をする

■方位の表示を設定する

方位の表示は、「コンパス拡大」、「文字の拡大(方位数値を拡大)」から選択できます。初期設定では「コンパス拡大」になっています。



- 1 コンパス画面で 設定ボタンを押します。



- 2 設定ウインドウが表示され、設定の選択が出来ます。
 アップダウンボタンで「文字の拡大」を選択して
 設定ボタンを押します。



- 3 方位数値が拡大した画面に変わります。設定は選択する毎に交互に変わります。

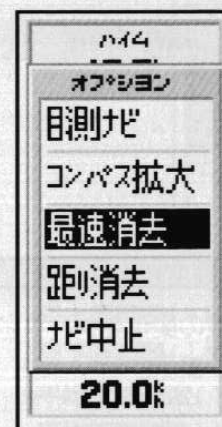
データをリセット(消去)する

■データをリセット(消去)する

ここでは、ナビデータのリセットを行います。又、ナビデータの最高速度、平均速度はアンテナの受信感度によって、その精度は変わります。また、ポケナビを持っている腕を振り動かすような急激な動きにも影響を受けますので、ご注意ください。

「最速」をリセット(消去)する

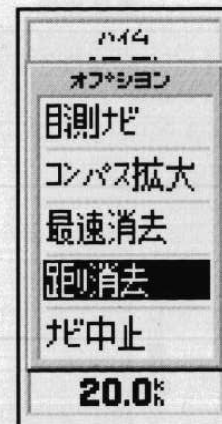
■「最速」をリセット(消去)する



- 1 コンパス画面で 設定ボタンを押します。
- 2 設定ウインドウが表示され設定が選択できます。
- 3 アップダウンボタンで「最速消去」を選択して 設定ボタンを押します。データが消去されます。

「距リ(積算、均速)」をリセット(消去)する

■「距リ(積算、均速)」をリセット(消去)する



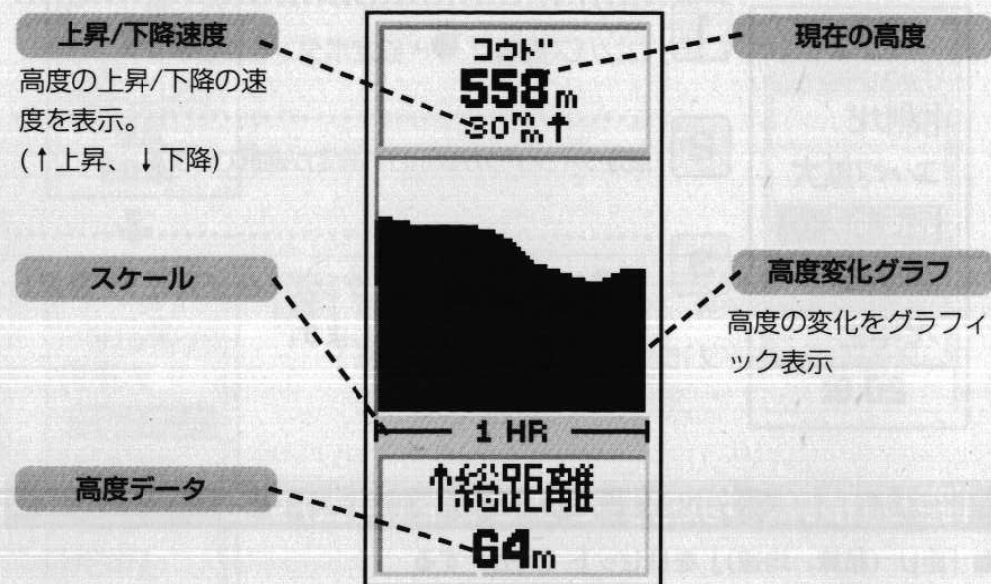
- 「距リ」、「積算」、「均速」のデータはリンクしていますので、距離を消去すると「積算」、「均速」同時に消去されます。
- 1 コンパス画面で 設定ボタンを押します。
 - 2 設定ウインドウが表示され設定の選択ができます。
 - 3 アップダウンボタンで「距リ消去」を選択して 設定ボタンを押します。データが消去されます。



高度画面のみかた

■高度画面のみかた

高度画面は、現在高度や高度変化を計測し、数値またはグラフで確認したり、高度データが確認できる画面です。高度は9,000mまで1m単位で計測でき、気圧、高度調整が出来ます。高度データは、総上昇/下降高度、最大上昇/下降高度速度、最高/最低高度メモリーや12時間気圧傾向等を表示。データの他に過去高度メモリーや高度グラフ表示の選択(距離/時間毎)もできます。



高度には海面0mからの絶対的な高さを表す「海拔高度」と、ある地点からある地点までの高度までの高度(高さの差)を表す「相対高度」があります。ポケナビ・マウントミニは下記の国際標準大気の高さと気圧の差をもとに、高精度気圧センサを使って「相対高度」を算出しています。

高度	気圧の差	温度
0m~500m	12hpa/100m	15℃(0m)
501m~1,500m	11hpa/100m	8.5℃
1501m~2,500m	10hpa/100m	2℃
2501m~3,500m	9hpa/100m	-4.5℃
3501m~4,500m	8hpa/100m	-11℃
4501m~5,500m	7hpa/100m	-17.5℃
5501m~6,000m	6hpa/100m	

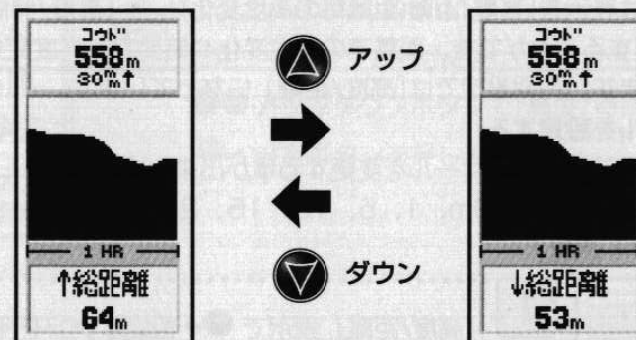
<国際標準大気より>

高度画面のみかた (つづき)

高度画面では高度についての計測データを表示します。初期設定では総上昇距離(↑総距離)になっています。

■高度データを変更する

高度画面で **▲** アップボタンを押します。表示が切り替わります。(ダウンボタンを押すと前のデータに戻ります)



- 総上昇距離(↑総距離)・・・リセットしてから現在までの上昇した高度
- 総下降距離(↓総距離)・・・リセットしてから現在までの下降した高度
- 平均上昇速度(↑平均速度)・・・リセットしてから現在までの上昇した平均速度
- 平均下降速度(↓平均速度)・・・リセットしてから現在までの下降した平均速度
- 最大上昇速度(↑最大速度)・・・リセットしてから現在までの上昇した最大速度
- 最大下降速度(↓最大速度)・・・リセットしてから現在までの下降した最大速度
- 気圧変化・・・・・・・・・・過去12時間の気圧変化グラフ
- 最高高度・・・・・・・・・・リセットしてから現在までの最高高度
- 最低高度・・・・・・・・・・リセットしてから現在までの最低高度



ポケナビ・マウントミニは、気圧センサによって高度を算出しているので、高度を計測中に気象条件などで気圧が大きく変化した場合にはその影響で表示された高度に誤差が生じますので、ご了承ください。また、正しい高度計測を行うために、登山などを開始するときには高度または気圧の調整(→P106)を行って下さい。

高度画面の設定をする

■高度画面の設定をする

高度画面では、高度グラフを距離ごと、時間ごとの表示切り替えや過去の高度データ表示、最高高度/高度データのリセット(消去)をすることができます。

距離スケールで高度表示する

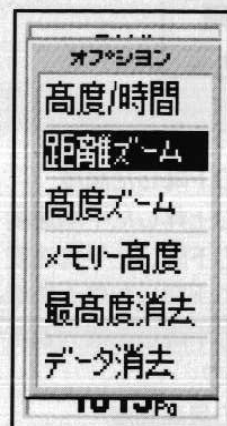
■距離スケールで高度表示する

高度変化グラフは表示を「高度/距離(距離毎の高度変化)」と「高度/時間(時間毎の高度変化)」に変更することができ、距離での高度変化や時間での高度変化など用途によって選択できます。初期設定では「高度/距離」になっています。

■距離のスケールを設定する

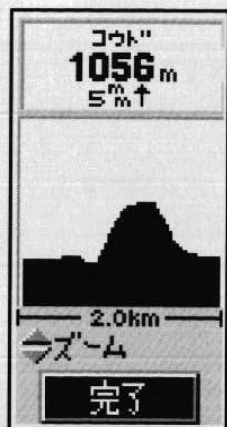
「高度/距離」設定時の距離スケールを変更する事が出来ます。

距離スケールは200m、500m、1、5、10、15、25 kmです。



1 「高度/距離」表示で ●→ 設定ボタンを押します。

2 設定ウインドウが表示され、設定の選択が出来ます。
 ▼▲ アップダウンボタンで「距離ズーム」を選択
 ●→ 設定ボタンを押します。

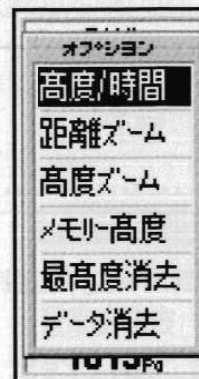


3 ▲ アップボタンを押すと、距離スケールが変更します。(▼ ダウンボタンを押すと前のデータに戻ります) スケールを選択したら、●→ 設定ボタンを押します。

時間スケールで高度表示する

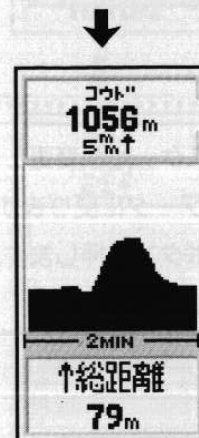
■時間スケールで高度表示する

ここでは、時間ごとの高度変化を表示させる事ができます。



1 「高度/距離」表示で ●→ 設定ボタンを押します。

2 設定ウインドウが表示され、設定の選択が出来ます。
 ▼▲ アップダウンボタンで「高度/時間」を選択、
 ●→ 設定ボタンを押します。



3 時間ごとの高度グラフが表示されます。

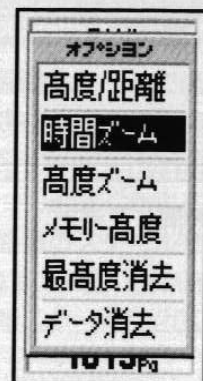


表示設定を再度変更(距離ごとの表示に変更)するには、●→ 設定ボタンを押すと設定ウインドウ上に「高度/距離」が選択されます。(項目が設定する毎に交互に変更していきます)

時間のスケールを設定する

■時間のスケールを設定する

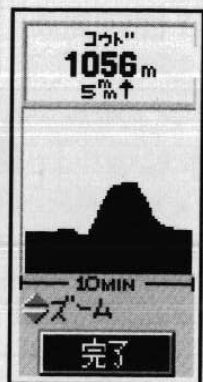
「高度/時間」設定時の時間スケールを変更する事が出来ます。時間スケールは2、5、10、20、30分、1、2時間です。



1 「高度/時間」表示で ●→ 設定ボタンを押します。

2 設定ウインドウが表示され、設定の選択が出来ます。▽△ アップダウンボタンで「時間ズーム」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

3 ▽△ アップボタンを押すと、時間スケールが変更します。(▽ ダウンボタンを押すと前のデータに戻ります) スケールを選択したら、●→ 設定ボタンを押します。

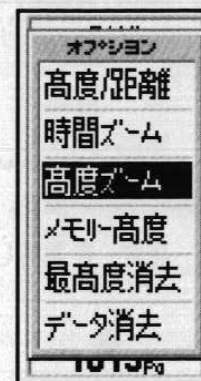


高度画面のみかた

垂直高度を表示する(高度ズーム)

■垂直高度を表示する(高度ズーム)

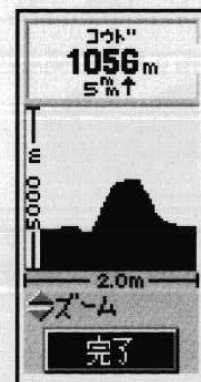
高度グラフはその高度変化(高度差)の距離範囲を確認することができます。垂直距離の設定は200、400、600、800、1,000、2,500、5,000mです。



1 高度画面で ●→ 設定ボタンを押します。

2 設定ウインドウが表示され、設定の選択が出来ます。▽△ アップダウンボタンで「高度ズーム」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

3 △ アップボタンを押すと、垂直距離のスケールが変更します。(▽ ダウンボタンを押すと前のデータに戻ります) スケールを選択したら、●→ 設定ボタンを押します。

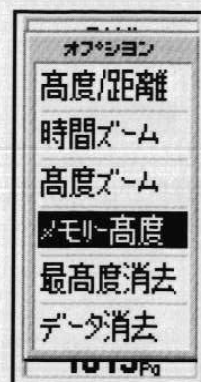


高度画面のみかた

高度の記録を確認する(メモリー高度)

■高度の記録を確認する(メモリー高度)

ここでは過去の高度メモリーを確認することができます。記録されているメモリーデータは、高度(数値)、記録した日付及び時間を表示します。



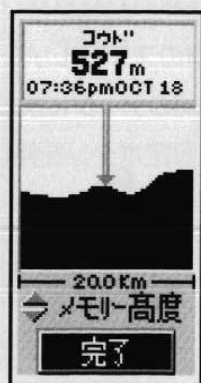
1 高度画面で ●→ 設定ボタンを押します。

2 設定ウインドウが表示され、設定の選択が出来ます。
▼▲ アップダウンボタンで「メモリー高度」を選択して ●→ 設定ボタンを押します。

3 過去の高度記録が表示され、矢印が指す地点の高度数値、記録された日付、時間が確認できます。▼ ダウンボタンを押すとデータをさかのぼる事ができます。

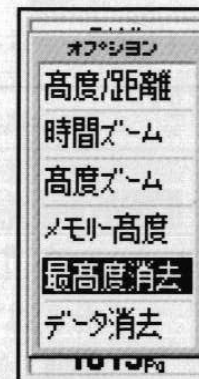


高度は、衛星を受信して表示する軌跡とともに記録されています。従って高度の記録(メモリー高度)をリセットしたい場合には、軌跡(トラック)を消去して下さい。
(→P103)

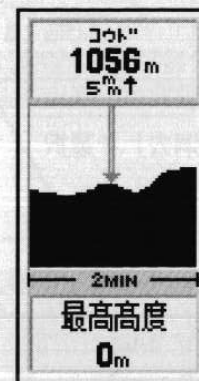


最高高度をリセット(消去)する

■最高高度をリセット(消去)する



1 高度画面で ●→ 設定ボタンを押します。



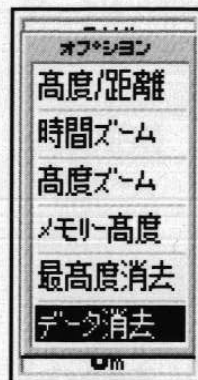
2 設定ウインドウが表示され、設定の選択が出来ます。
▼▲ アップダウンボタンで「最高高度消去」を選択、
●→ 設定ボタンを押します。データが消去されます。

操作を中止したい時、●□ ページボタンを押すと設定が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。

高度データをリセット(消去)する

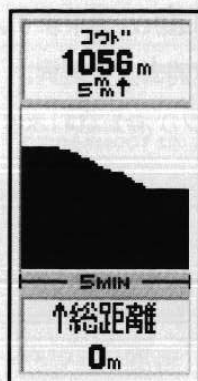
■高度データをリセット(消去)する

ここでは、高度データのリセットを行います。



1

高度画面で ●→ 設定ボタンを押します。



2

設定ウインドウが表示され、設定の選択が出来ます。

▽△ アップダウンボタンで「データ消去」を選択、

●→ 設定ボタンを押します。

データが消去されます。

操作を中止したい時、●□ ページボタンを押すと設定が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。



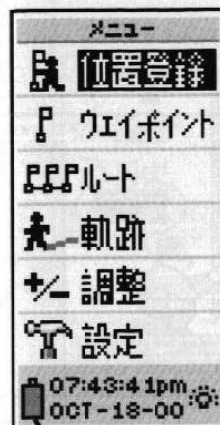
高度データの最高高度はデータがリンクしていないので、消去されません。最高高度の消去しかたは→P45を参照ください。又、気圧傾向グラフは、電源を切るたびにリセットされます。



メニュー画面のみかた

メニュー画面は主な操作の選択や設定が出来る画面です。

画面には「位置登録」、「ウェイポイント」、「ルート」、「軌跡」、「調整」、「設定」の6つの操作メニューからなっています。



■位置登録

保存したいポイント(ウェイポイント)を登録します。

■ウェイポイント

登録したウェイポイントの検索、編集をすることができます。ポケナビ・マウントミニは、最大500カ所まで登録することができます。

■ルート

ウェイポイントを選択してルートとして作成することができます。ルートは最大50ポイントまで登録することができます。(20ルートまで作成可能)

■軌跡

通った道のり(軌跡)を選択、保存ができます。最大で10個の軌跡が保存できます。

■調整

電子コンパスの調整をおこないます。また高度の調整を行います。正しい高度、海面更正気圧がわかっている場合には、これを入力することにより高度を知ることができます。高度、気圧がわからない時には、調整値としてGPS高度を使用することができます。(GPS高度のみの表示機能はありません。→P106)

■設定

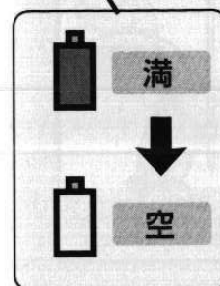
時間設定、画面表示、表示単位、データ入出力や本体のシステムなどの設定を行うことができます。

■時刻、日付、電池残量表示

時刻と日付はGPS衛星から受信した情報によって表示されていますので、変更することは出来ません。

電池残量表示は、電池のアイコンで残量が表示されます。空の表示になるとバッテリー消耗のメッセージウインドウが表示されますので、電池を交換してください。

(空の表示から約10分程度で電池切れになりますので、早めに電池交換を行ってください。)



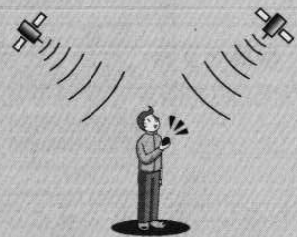


ウェイポイントを登録する

ウェイポイントの登録はメニュー画面の「位置登録」で行います。位置登録画面では保存したいポイント(以下ウェイポイント)を登録することができます。ポケナビ・マウントミニでは、最大500ポイントまで登録することが出来ます。ウェイポイントの登録は3つの方法で登録することができます。

1. 衛星を受信中に現在位置をウェイポイントとして登録する。

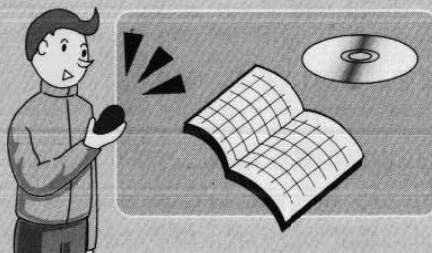
(→P49)



衛星電波を受信して現在位置をウェイポイントとして登録する。



2. 衛星の受信に関係なく位置(緯度・経度・高度)を入力してウェイポイントとして登録する。(→P52)

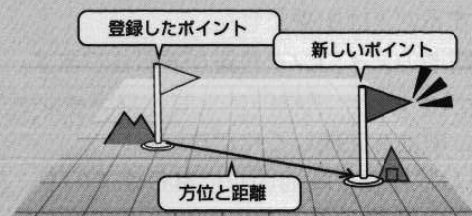


衛星電波を受信できない場所でも位置を入力してウェイポイントを登録する。



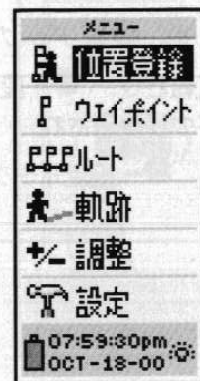
3. 目測ウェイポイントを作成する。

(登録ウェイポイントに方位と距離を入力してウェイポイントを作成する→P54)



1. 衛星を受信中に現在位置をウェイポイントとして登録する

■ 1. 衛星を受信中に現在位置をウェイポイントとして登録する



1

▽△ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「位置登録」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



タイトル画面以外のどの画面でも、●→ 設定ボタンを約1秒押し続けると、位置登録画面が表示されます。ウェイポイントをすぐに登録したい時などに便利です。

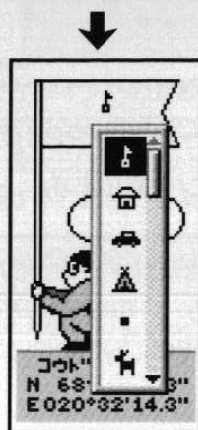


2

画面下に現在位置の座標が表示されます。

位置登録の画面を選択すると、自動的にポイント名が番号で表示され、シンボルマーク旗が付いています。もしすぐに登録したい時や、特に名前やシンボルマークなど設定する必要がない場合にはこの番号とシンボルマークで「完了」を反転させ、設定ボタンを押すと、そのまま登録することができます。番号は登録する毎に次の番号が表示されますので、ポイントが同じ番号で登録されることはありません。尚、名前とシンボルマークは編集できます。

1. 衛星を受信中に現在位置をウェイポイントとして登録する (つづき)



- 3** ポイントにシンボルマークを付けます。▽△ アップダウンボタンでシンボルマークを反転させ、●→ 設定ボタンを押します。設定ウインドウが表示され、▽△ アップダウンボタンで選択し、●→ 設定ボタンを押します。

ポイント名編集

ミズウミ
設定ボタンで
入力
アップ/ダウン
ボタンで選択
完了

- 4** ポイントに名前を付けます。▽△ アップダウンボタンで名前を反転させ、●→ 設定ボタンを押します。入力画面が表示され、▽△ アップダウンボタンと設定ボタンで文字を入力します。

ポイント名編集

ミズウミ
設定ボタンで
入力
アップ/ダウン
ボタンで選択
完了

- 5** 文字入力完了したら、▽△ アップダウンボタンで「完了」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

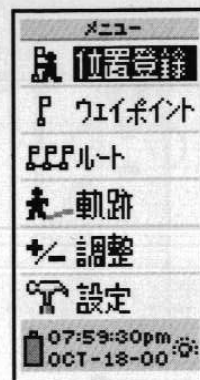
1. 衛星を受信中に現在位置をウェイポイントとして登録する (つづき)



- 6** 画面が登録画面に戻ります。▽△ アップダウンボタンで「完了?」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

2.衛星の受信に関係なく位置を入力してウェイポイントとして登録する

■2.衛星の受信に関係なく位置(緯度・経度・高度)を入力してウェイポイントとして登録する



- 1
 ▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「位置登録」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



タイトル画面以外のどの画面でも、●→ 設定ボタンを約1秒押し続けると、位置登録画面が表示されます。ウェイポイントをすぐに登録したい時などに便利です。



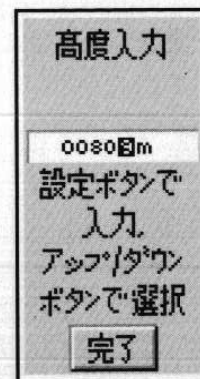
- 2
 高度を入力します。▼▲ アップダウンボタンで高度を反転させ、●→ 設定ボタンを押します。

- 3
 入力画面が表示され、▼▲ アップダウンボタンと●→ 設定ボタンで数値を入力します。

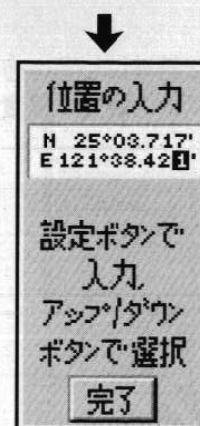
- 4
 数値入力完了したら、▼▲ アップダウンボタンで「完了」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



高度がわからない時は入力なしでも登録できます。

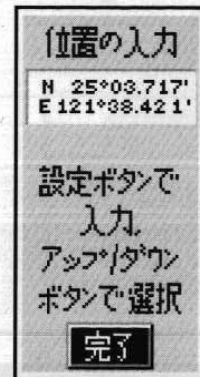


2.衛星の受信に関係なく位置を入力してウェイポイントとして登録する (つづき)



- 5
 座標を入力します。▼▲ アップダウンボタンで座標を反転させ、●→ 設定ボタンを押します。入力画面が表示され、▼▲ アップダウンボタンと●→ 設定ボタンで数値を入力します。

操作を中止したい時、●□ ページボタンを押すと設定が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。



- 6
 座標入力完了したら、▼▲ アップダウンボタンで「完了」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



- 7
 ポイントにシンボルマークを付けます。(→P58)
 8
 ポイントに名前を付けます。(→P60)
 9
 画面が登録画面に戻ります。▼▲ アップダウンボタンで「完了?」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

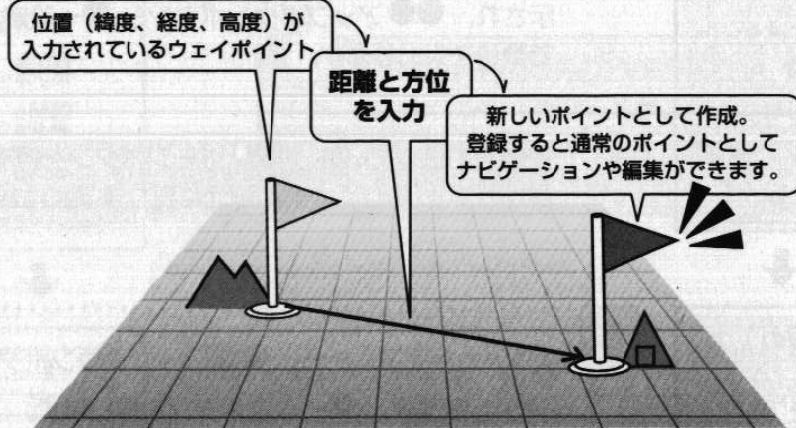


ウェイポイントの登録は、ナビゲーションの目的地設定(目測ナビ機能→P78)する時に新たに作成する事もできます。

3.目測ウェイポイントを作成する

■目測ウェイポイントについて

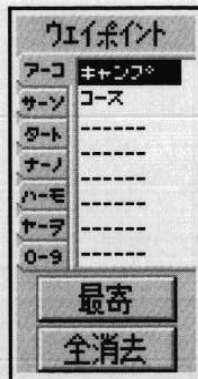
目測ウェイポイントは、すでに登録されているウェイポイントを基準にして、方位と距離を入力して新しいポイントを作成できる機能です。目的地の緯度・経度などが判らない時などに便利な機能です。



目測ウェイポイントは、現在位置からの方位と距離から新しいポイントの緯度・経度を算出して作成していますので、現在位置からの目的地の方位数値、距離が分かる(もしくはその場で計測できる)ときにのみ作成します。

目測ウェイポイントを作成する (つづき)

■目測ウェイポイントを作成する



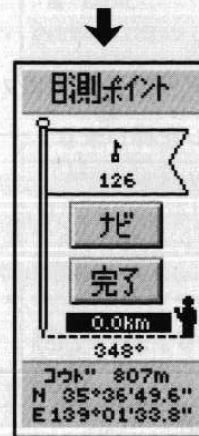
1 もととなるウェイポイントを選択します。▽△アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「ウェイポイント」を選択、●→設定ボタンを押します。

2 ▽△アップダウンボタンでウェイポイントの頭文字を選択、設定ボタンを押します。▽△アップダウンボタンでウェイポイント名を選択、●→設定ボタンを押します。選択したウェイポイントが表示されます。

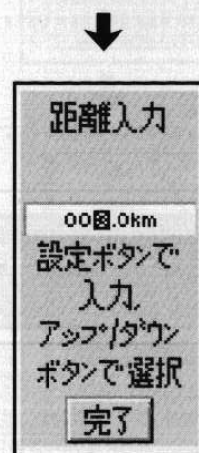
目測ウェイポイントを作成する (つづき)



3 ▽△アップダウンボタンで「目測距離」を選択、●→設定ボタンを押します。



4 距離を入力します。▽△アップダウンボタンで距離を反転させ、●→設定ボタンを押します。



4 入力画面が表示され、▽△アップダウンボタンと●→設定ボタンで数値を入力します。距離入力が終わったら、▽△アップダウンボタンで「完了」を選択、●→設定ボタンを押します。

目測ウェイポイントを作成する (つづき)

方位入力

図48*
設定ボタンで
入力
アップ/ダウン
ボタンで選択
完了

5

方位を入力します。▽▲ アップダウンボタンで方位を反転させ、●→ 設定ボタンを押します。入力画面が表示され、▽▲ アップダウンボタンと ●→ 設定ボタンで数値を入力します。方位入力完了したら、▽▲ アップダウンボタンで「完了」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

6

画面が編集画面に戻ります。▽▲ アップダウンボタンで「完了」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

操作を中止したい時、●□ ページボタンを押すと設定が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。

7

ポイントにシンボルマークを付けます。(→P58)

8

ポイントに名前を付けます。(→P60)

9

高度を入力します。(→P62)

10

画面が編集画面に戻ります。



目測ウェイポイントは方位と距離をもとに緯度経度を算出しているため座標の入力はできません。

ポイントに登録する

目測ポイント
126
だ
完了
3.0km
348°
コウト" 807m
N 35°38'21.3"
E 139°00'54.7"

キャンフ*
消去
地図
だ
目測距離
コウト" 26m
N 35°36.327'
E 139°01.563'

ウェイポイントを編集する

■ウェイポイントのリストをみる

ウェイポイント画面では登録したウェイポイントを一覧したり、選択してウェイポイントを編集する事ができます。

1

▽▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「ウェイポイント」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

メニュー
位置登録
ウェイポイント
レポート
軌跡
調整
設定
08:39:44pm
OCT-18-00

2

ウェイポイントが五十音別で表示されます。▽▲ アップダウンボタンでウェイポイントの頭文字を選択、●→ 設定ボタンを押します。(ア行～カ行と八行～マ行は同じ項目になっています)

ウェイポイント
ア-コ
サ-ソ
タ-ト
ナ-ノ
ハ-ヘ
フ-フ
0-9
最寄
全消去

3

▽▲ アップダウンボタンでウェイポイント名を選択、●→ 設定ボタンを押します。
選択したウェイポイントが表示されます。

ウェイポイント
消去
地図
だ
目測距離
コウト" 6m
N 35°18'47.8"
E 139°24'00.4"

ポイントに登録する

ウェイポイントを編集する (つづき)

■ウェイポイントを編集する

リストから選択されたウェイポイントは、そのシンボルマークや名前、位置(緯度・経度・高度)の変更ができるほか、ウェイポイントを消去することができます。又、地図画面で表示させたり、ナビゲーションさせることも出来ます。

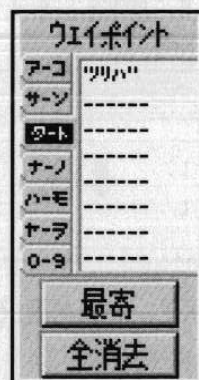
シンボルマークを編集する

■シンボルマークを編集する



1

▽△ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「ウェイポイント」を選択、●→設定ボタンを押します。

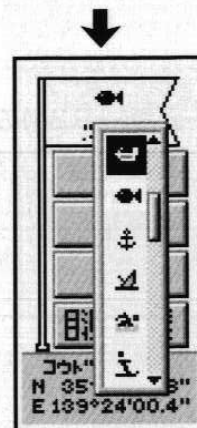


2

▽△ アップダウンボタンでウェイポイントの頭文字を選択、●→設定ボタンを押します。

▽△ アップダウンボタンでウェイポイント名を選択、●→設定ボタンを押します。選択したウェイポイントが表示されます。

シンボルマークを編集する (つづき)



3

▽△ アップダウンボタンでシンボルマークを反転させ、●→設定ボタンを押します。設定ウインドウが表示され、▽△ アップダウンボタンで選択し、●→設定ボタンを押します。

操作を中止したい時、●□ ページボタンを押すと設定が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。

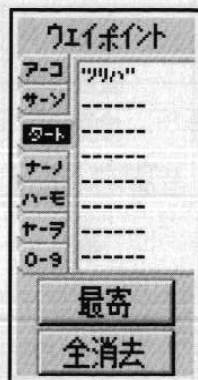
名前を編集する

■名前を編集する



1

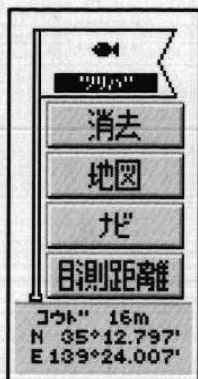
▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「ウェイポイント」を選択、●→設定ボタンを押します。



2

▼▲ アップダウンボタンでウェイポイントの頭文字を選択、●→設定ボタンを押します。

▼▲ アップダウンボタンでウェイポイント名を選択、●→設定ボタンを押します。選択したウェイポイントが表示されます。



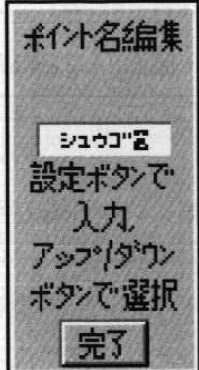
3

▼▲ アップダウンボタンで名前を反転させ、●→設定ボタンを押します。

操作を中止したい時、●□ ページボタンを押すと設定が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。

ポイントに登録する

名前を編集する



4

入力画面が表示され▼▲ アップダウンボタンと●→設定ボタンで文字を入力します。

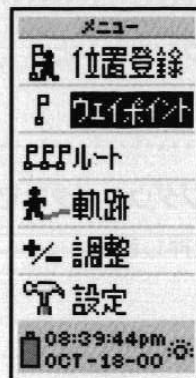
5

文字入力完了したら、▼▲ アップダウンボタンで「完了」を選択、●→設定ボタンを押します。

ポイントに登録する

位置(緯度・経度・高度)を編集する

位置(緯度・経度・高度)を編集する



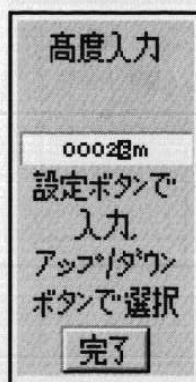
1 ●▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「ウェイポイント」を選択、●→設定ボタンを押します。

2 ●▲ アップダウンボタンでウェイポイントの頭文字を選択、●→設定ボタンを押します。
●▲ アップダウンボタンでウェイポイント名を選択、●→設定ボタンを押します。選択したウェイポイントが表示されます。



3 ●▲ アップダウンボタンで高度を反転させ、●→設定ボタンを押します。入力画面が表示され、●▲ アップダウンボタンと ●→設定ボタンで数値を入力します。高度がわからない時は入力なしでも登録できます。

操作を中止したい時、●□ ページボタンを押すと設定が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。



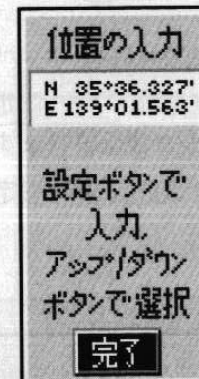
4 数値入力完了したら、●▲ アップダウンボタンで「完了」を選択、●→設定ボタンを押します。

位置(緯度・経度・高度)を編集する(つづき)



5 ●▲ アップダウンボタンで座標を反転させ、●→設定ボタンを押します。入力画面が表示され、●▲ アップダウンボタンと ●→設定ボタンで数値を入力します。

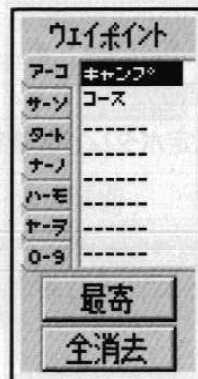
操作を中止したい時、●□ ページボタンを押すと設定が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。



6 座標入力完了したら、●▲ アップダウンボタンで「完了」を選択、●→設定ボタンを押します。

ウェイポイントを消去する

■ウェイポイントを消去する



1 ▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「ウェイポイント」を選択、●→設定ボタンを押します。

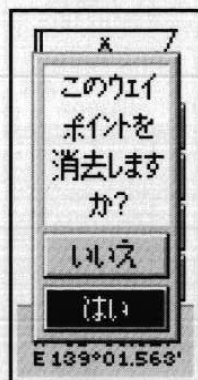
2 ▼▲ アップダウンボタンでウェイポイントの頭文字を選択、●→設定ボタンを押します。▼▲ アップダウンボタンでウェイポイント名を選択、●→設定ボタンを押します。選択したウェイポイントが表示されます。



3 ▼▲ アップダウンボタンで「消去」を選択、●→設定ボタンを押します。確認のメッセージが表示されます。▼▲ アップダウンボタンで「はい」を選択、●→設定ボタンを押します。



消去を中止したいときは「いいえ」を選択するか、●□ ページボタンを押すと消去が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。

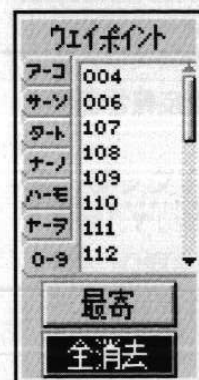


ウェイポイントを全消去する

■ウェイポイントを全消去する



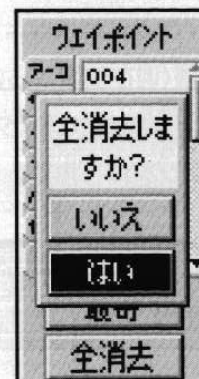
1 ▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「ウェイポイント」を選択、●→設定ボタンを押します。



2 ▼▲ アップダウンボタンで「全消去」を選択、●→設定ボタンを押します。確認のメッセージが表示されます。▼▲ アップダウンボタンで「はい」を選択、●→設定ボタンを押します。



消去を中止したいときは「いいえ」を選択するか、●□ ページボタンを押すと消去が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。



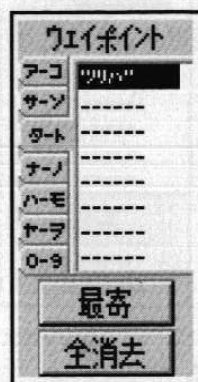
ご注意

全消去の場合はナビ中のポイントやルートに関係なく全てのウェイポイント(ルート内のポイントも含む)を消去します。一度消去してしまったウェイポイントリスト内のデータは元に戻すことができませんので、十分ご確認の上消去してください。

ウェイポイントを地図で確認する

■ウェイポイントを地図で確認する

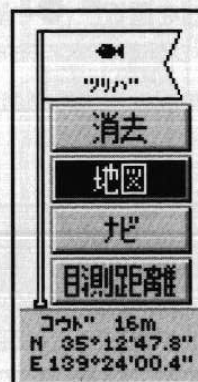
ウェイポイントリスト内のポイントは、そのポイントがどの場所にあるのか地図画面で確認することができます。



1 ▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「ウェイポイント」を選択、●→設定ボタンを押します。

2 ▼▲ アップダウンボタンでウェイポイントの頭文字を選択、●→設定ボタンを押します。▼▲ アップダウンボタンでウェイポイント名を選択、●→設定ボタンを押します。選択したウェイポイントが表示されます。

3 ▼▲ アップダウンボタンで「地図」を反転させ、●→設定ボタンを押します。



4 地図画面が表示され、ポイントの位置(現在位置からの方角と距離)が確認できます。▼▲ アップダウンボタンで「完了」を選択、●→設定ボタンを押します。画面が編集画面に戻ります。

操作を中止したい時、●□ ページボタンを押すと設定が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。

ポイントを登録する



ナビゲーションする

ポケナビ・マウントミニは、目的地を設定してその場所までの方向を矢印や、地図でナビゲーションすることができます。又、初めて行く場所を案内したり、もう一度同じ所へ案内したりと用途に合ったナビゲーションが選択できるので、必要なときにすぐ使用することができます。

ナビゲーション機能は下記の3つの方法で使うことができます。

1.ポイントナビ (ウェイポイントからナビ)

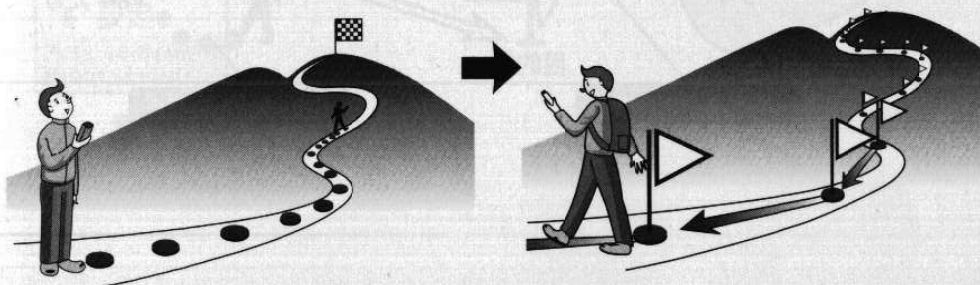
ナビゲーションの基本的な機能で、目的地を1カ所だけ(ウェイポイント)を設定して、直線的にナビゲーションを行います。

2.ルートナビ (ルートからナビ)

目的地までの途中に経由地としてウェイポイントをいくつか設定して、経由地ごとにナビゲーションを行い、最終的に目的地のウェイポイントに到着させる機能です。ルートは、20ルート(1ルート/50ポイント)作成できます。

3.トラックナビ (軌跡からナビ)

保存している軌跡(実際に通った道)をナビゲーションできる機能です。軌跡は最大10個まで保存することができます。又、目的地が自由に選択できるので、来た道に戻ったり、以前に保存した軌跡でナビゲーションすることができます。



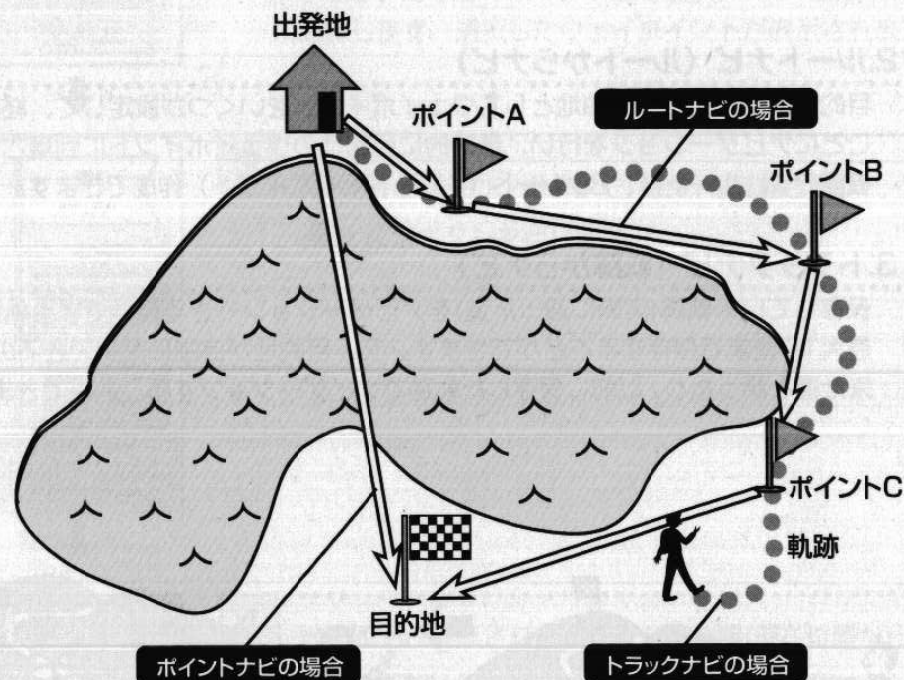
ナビゲーションする

ナビゲーションする (つづき)

ポイントナビ機能でのナビゲーションは、出発地と目的地を直線で結ぶので、短距離の移動や単純なナビゲーションに適しています。但し、直線で表示されるので、実際には通行できない場所も案内してしまいます。(例えばハイキングをするときに避けなければならない湖があったとしても、ポイントナビは地形に関係なく目的地の方向へ案内します。)

ルートナビ機能では、あらかじめ目的地までの行き方を計画して、分かれ道のある場所や、曲がる場所などをウェイポイントとして登録しておき、それらを結んだルートを作成しておけば、計画した道順通りに進むことができます。

トラックナビ機能では、実際通った道(軌跡)をもとにナビゲーションするので、目的地を設定していない時でも戻る道をナビゲーションできます。



ポイントナビする

ポイントナビ機能では、大きく3つの方法でナビゲーションすることができます。

(1) ウェイポイントナビする

- ① リストからウェイポイントを選択してナビする。
- ② 最寄リストからウェイポイントを選択してナビする。(→P72)

(2) コース設定する(→P75)

方向をセットして進行方向とコースすれを表示します。

(3) 目測ナビする(→P78)

目的地が視覚的にわかっている場合に、その場で目測距離ウェイポイントを作成してナビします。

(1) ウェイポイントナビする

① リストからウェイポイントを選択してナビする

既にポケナビ・マウントミニに登録されている全ウェイポイントの中から目的地を選択してナビします。



1

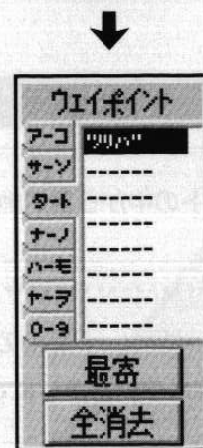
- ① アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「ウェイポイント」を選択、●設定ボタンを押します。



①リストからウェイポイントを選択してナビする（つづき）



- 2** ウェイポイントが五十音別で表示されます。▽△ アップダウンボタンでウェイポイントの頭文字を選択、●→ 設定ボタンを押します。(ア行～カ行とハ行～マ行は同じ項目になっています)

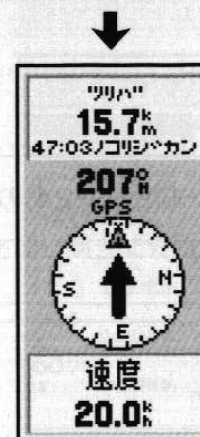


- 3** ▽△ アップダウンボタンでウェイポイント名を選択、●→ 設定ボタンを押します。選択したウェイポイントが表示されます。



- 4** ▽△ アップダウンボタンで「ナビ」を反転させ、●→ 設定ボタンを押します。

①リストからウェイポイントを選択してナビする（つづき）



- 5** 画面がコンパス画面に切り替わり、ナビゲーションが開始されます。表示されている矢印の方向に従って進んでください。コンパス画面では目的地までの距離、到着時間、速度などが確認できます。地図画面を表示させると、目的地までの直線と軌跡が確認できます。



- 6** 目的地に近づく、と、「目標地点に到着」のメッセージが表示されます。ナビ終了です。(どの画面上でも表示されます)



ナビゲーション中に電源を切ると、次回電源を入れて受信した現在位置からナビゲーションをスタートします。

最寄リストからウェイポイントを選択してナビする

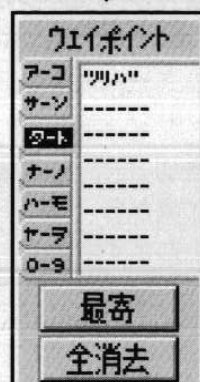
②最寄リストからウェイポイントを選択してナビする

現在位置から最も近い9つのウェイポイントをリストから呼び出して、その中から目的地を選択してナビします。



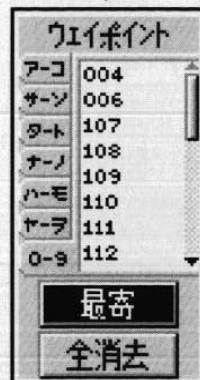
1

▽△ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「ウェイポイント」を選択、●→設定ボタンを押します。



2

ウェイポイントが五十音別で表示されます。▽△ アップダウンボタンでウェイポイントの頭文字を選択、●→設定ボタンを押します。(ア行～カ行とハ行～マ行は同じ項目になっています)



3

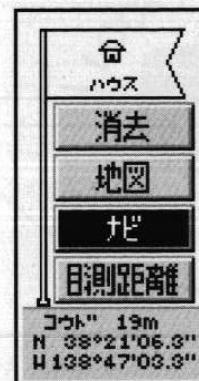
▽△ アップダウンボタンで「最寄」を選択、設定ボタンを押します。最寄のウェイポイントが9つ検索されます。

②最寄リストからウェイポイントを選択してナビする



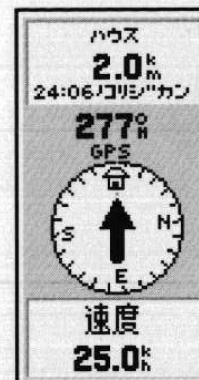
4

▽△ アップダウンボタンでウェイポイント名を選択、●→設定ボタンを押します。選択したウェイポイントが表示されます。



5

▽△ アップダウンボタンで「ナビ」を反転させ、●→設定ボタンを押します。



6

画面がコンパス画面に切り替わり、ナビゲーションが開始されます。表示されている矢印の方向に従って進んでください。コンパス画面では目的地までの距離、到着時間、速度などが確認できます。地図画面を表示させると、目的地までの直線と軌跡が確認できます。

②最寄リストからウェイポイントを選択してナビする



7

目的地に近づくと、「目標地点に到着」のメッセージが表示されます。ナビ終了です。(どの画面上でも表示されます)

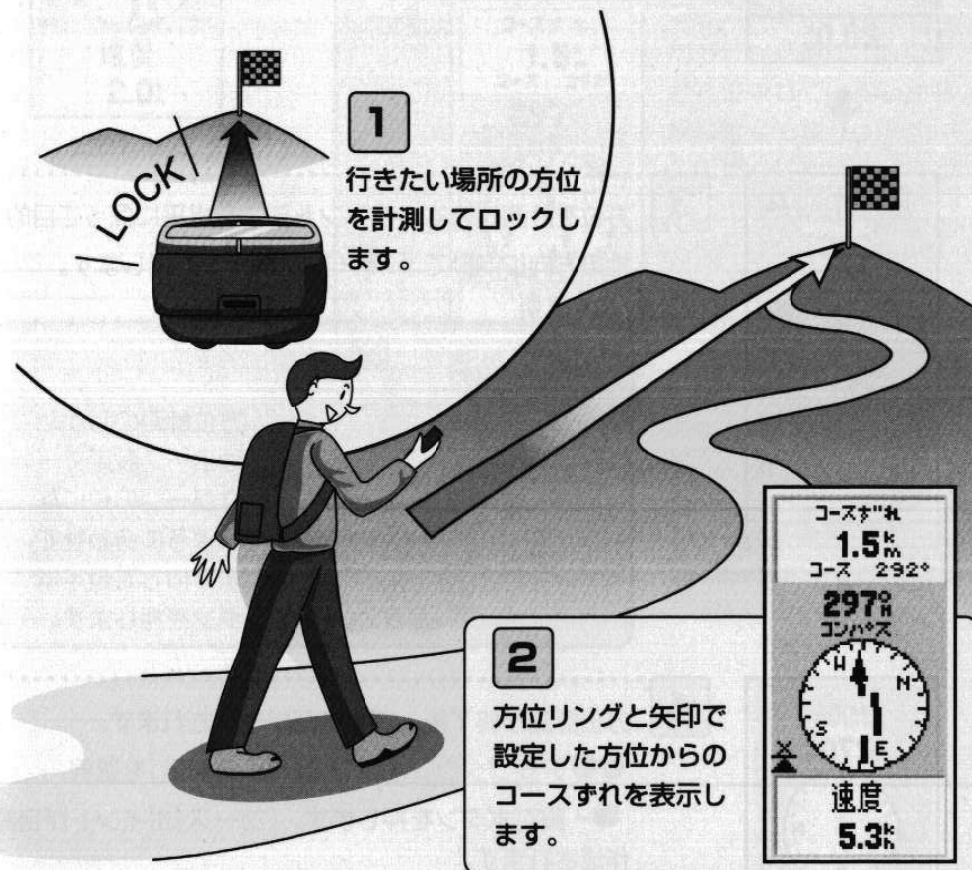


ナビゲーション中に電源を切ると、次回電源を入れて受信した現在位置からナビゲーションがスタートします。

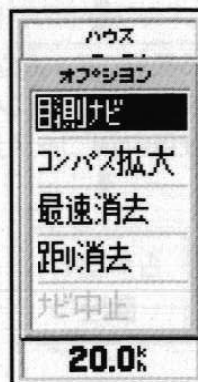
(2) コース設定する

■コース設定する

コース設定は、目的地の方位を計測して、コースすれを表示する機能です。方位をセットすると「コース」というウェイポイントが自動作成されます。このポイントはコースを設定するたびにその情報は上書きされます。もし使用中の「コース」ポイントを保存する場合には別名をつけて登録して下さい。



(2) コース設定する (つづき)



1

●□ ページボタンでコンパス画面を選択、●→ 設定ボタンを押します。

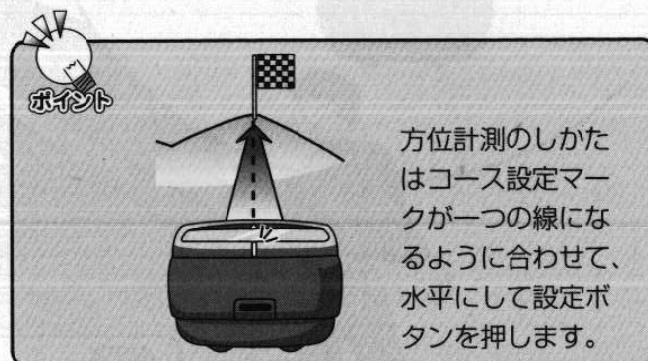
2

設定ウインドウが表示されます。▽△ アップダウンボタンで「目測ナビ」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



3

方位を計測します。マウントミニを水平に保って目的地の方向に向けて、●→ 設定ボタンを押します。



4

方位計測が終了後、編集画面が表示されます。

▽△ アップダウンボタンで「コース設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。「コース」ポイントが自動作成されます。

方位計測をやり直したい場合は、「再計測」を選択してください。

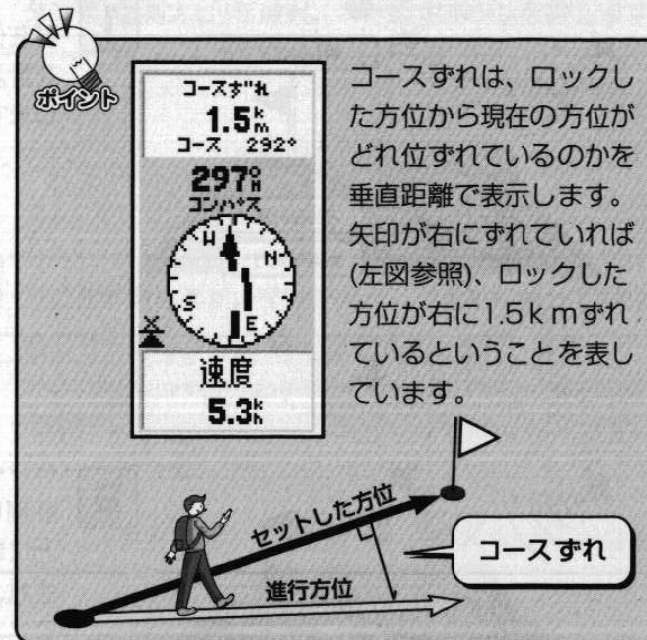


(2) コース設定する (つづき)



5

コースずれ画面に切り替わり、ナビゲーションが開始されます。表示されている矢印の方向に従って進んでください。コースずれ画面では現在の方位からロックした方位までのコースずれ(垂直距離)を表示します。

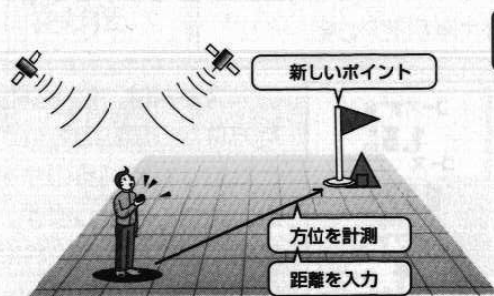


(3)目測ナビする

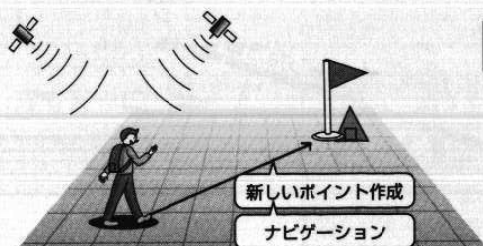
■3.目測ナビする

目測ナビは、目的地の位置(座標)が分からない時に現在位置をもとに方位と距離を入力して新しいウェイポイント(目測ウェイポイント)を作成してナビゲーションさせる機能です。目測ナビでは衛星受信をして現在位置が計測できている状態の時のみ使用することができます。

ナビゲーションする



- 1 現在位置から目的地までの方位を計測して、目測で距離を入力します。

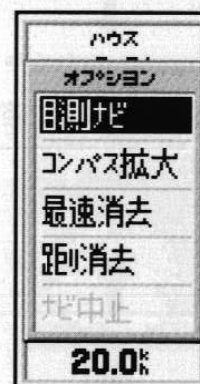


- 2 計測した方位と、目測の距離をもとに新しいウェイポイントが作成され、ナビゲーションすることができます。



一度、方位計測して距離を設定した後も、再度距離を入力して別のウェイポイントを作成することもできます。

(3)目測ナビする (つづき)



- 1 ●□ ページボタンでコンパス画面を選択、●→ 設定ボタンを押します。

- 2 設定ウィンドウが表示されます。▽△ アップダウンボタンで「目測ナビ」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



- 3 方位を計測します。マウントミニを水平に保って目的地の方向に向けて、●→ 設定ボタンを押します。

方位計測のしかたは→P25を参照下さい。

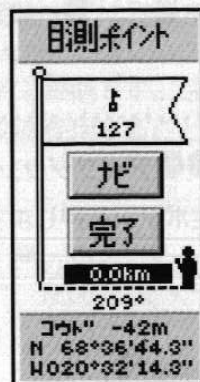


- 4 方位計測が終了したら、▽△ アップダウンボタンで「目測距離」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

方位計測をやり直したい場合は、「再計測」を選択してください。

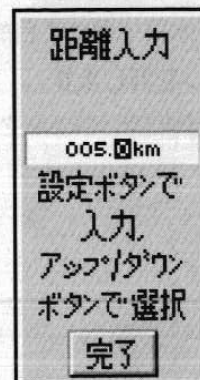
ナビゲーションする

(3)目測ナビする (つづき)



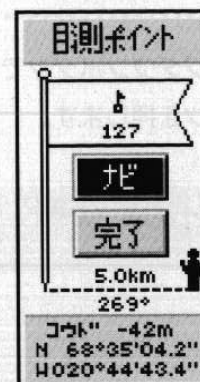
5

編集画面が表示され、 ∇/Δ アップダウンボタンで距離を反転、 $\bullet \rightarrow$ 設定ボタンを押します。



6

入力画面が表示されます。 ∇/Δ アップダウンボタンと設定ボタンで目測距離を入力します。数値の入力が終了したら、アップダウンボタンで「完了」を選択、 $\bullet \rightarrow$ 設定ボタンを押します。



7

∇/Δ アップダウンボタンで「ナビ」を選択、 $\bullet \rightarrow$ 設定ボタンを押します。

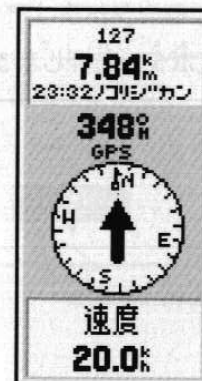
作成した新ウェイポイントを保存する場合は「完了」を選択して下さい。



目測ウェイポイントは現在位置をもとに方位、距離情報から演算して座標を出していますので、座標の編集は出来ません。尚、シンボルマーク、名前、方位、コウドの編集は可能です。

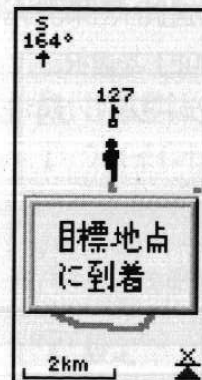
(→P58ウェイポイントを編集する)

(3)目測ナビする (つづき)



8

画面がコンパス画面に切り替わり、ナビゲーションが開始されます。表示されている矢印の方向に従って進んでください。コンパス画面では目的地までの距離、到着時間、速度などが確認できます。地図画面を表示させると、目的地までの直線と軌跡が確認できます。



9

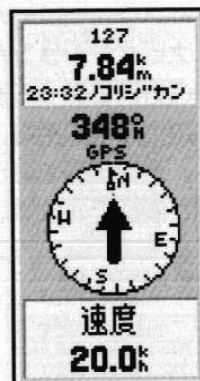
目的地に近づく、「目標地点に到着」のメッセージが表示されます。ナビ終了です。(どの画面上でも表示されます)



ナビゲーション中に電源を切ると、次回電源を入れて受信した現在位置からナビゲーションがスタートします。

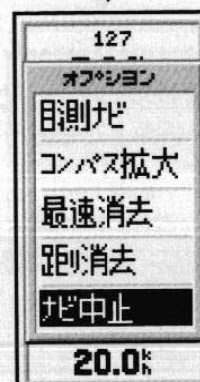
ナビを中止する

■ナビを中止する



1

コンパス画面、地図画面で 設定ボタンを押します。



2

設定ウィンドウが表示され、設定の選択が出来ます。

- ▼▲ アップダウンボタンで「ナビ中止」を選択、
●→ 設定ボタンを押します。ナビゲーションが中止されます。

ナビゲーションを中止すると、コンパス画面の方位リングの矢印と、目的シンボルマークやナビゲーション中のナビ情報も消去します。(地図画面の目的地までの直線も表示されません)

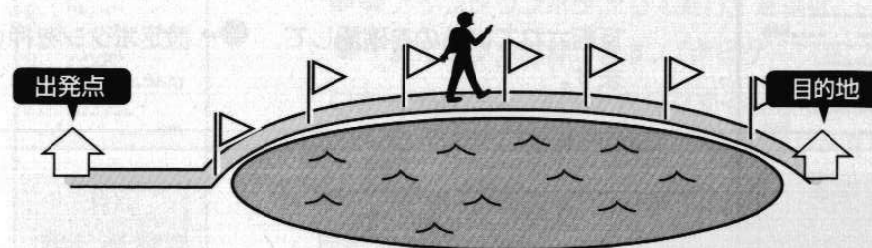


ナビ中止後に再びナビゲーションを行うには再度ポイントを設定してください。

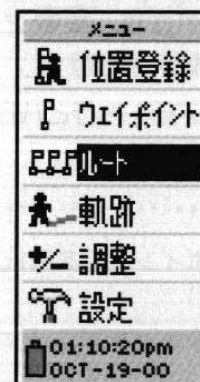
ナビゲーションする

2. ルートナビする

ルートナビを行うには、あらかじめ登録したウェイポイントを利用して、ルートを作成しておく必要があります。ナビゲーションの計画を立てて、ルートを作成しましょう。ウェイポイントは最大50ポイントまで登録することができ、20ルートまで作成できます。



ルートの作成



1

▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「ルート」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



2

ルートのリストが表示されます。画面下の「ニュールート」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

ナビゲーションする

ルートの作成 (つづき)

- 3** ルートの編集画面が表示されます。順番にウェイポイントを登録していきます。1番目が反転されているのを確認して、●→ 設定ボタンを押します。

- 4** ウェイポイントが五十音別で表示されます。▽△ アップダウンボタンでウェイポイントの頭文字を選択、●→ 設定ボタンを押します。(ア行～カ行と八行～マ行は同じ項目になっています)

- 5** ▽△ アップダウンボタンでウェイポイント名を選択、設定ボタンを押します。

操作を中止したい時、●□ ページボタンを押すと設定が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。

- 6** 選択したウェイポイントがルートに登録されます。2番目以降も同様に登録していきます。ルートでは、各ウェイポイント間の距離を表示します。

ルートの作成 (つづき)

- 7** 作成したルートをそのままナビゲーションする場合は、▽△ アップダウンボタンで「実行」を選択、●→ 設定ボタンを押します。(ナビゲーションについては→P68) 又、ルートを保存する場合は ●□ ページボタンを押して、ルートのリストに戻ります。

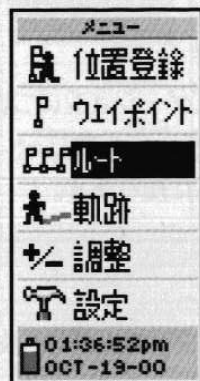
ルート表示について

ルートを作成するとルート名は始めと終わりのウェイポイント名が表示されますが、文字の大きさ、文字数によってすべて表示されない場合があります。又、ルートにウェイポイントを登録せずにリストに戻ると「ニュー」という名がついて登録されます。もし不要な場合はルートの消去 (→P94) を行って下さい。

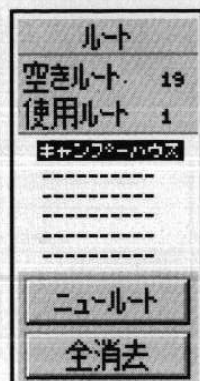
ルートナビする (つづき)

■ルートナビする

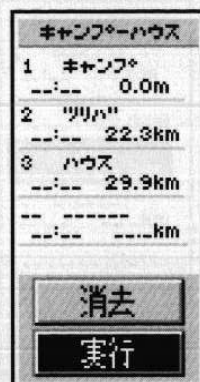
作成したルートを使ってナビゲーションします。



- 1** ▼△ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「ルート」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



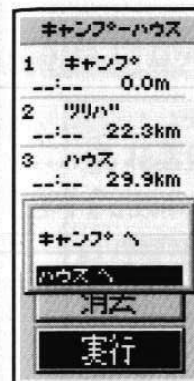
- 2** ▼△ アップダウンボタンでナビゲーションしたいルートを選択、●→ 設定ボタンを押します。



- 3** ▼△ アップダウンボタンで「実行」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

ナビゲーションする

ルートナビする (つづき)



- 4** 最初と最後のウェイポイントを確認できるウィンドウが表示されますので、最終の目的地となるウェイポイントを選択、●→ 設定ボタンを押します。

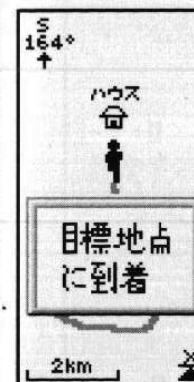
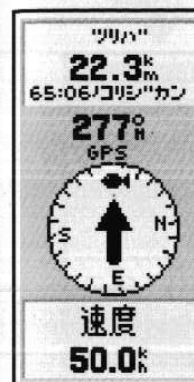
- 5** コンパス画面に切り替わり、ナビゲーションが開始されます。表示されている矢印の方向に従って進んでください。
コンパス画面では目的地までの距離、到着時間、速度などが確認できます。地図画面を表示させると、目的地までの直線と軌跡が確認できます。

ナビゲーションは現在位置から最も近いウェイポイントから開始しますので、番号をスキップする場合があります。



ルートナビを開始する時にルート内の最初と最後のウェイポイントのどちらを最終目的地にするのかを選択しますが、

- ①登録通りの順番でナビゲーションするには最後のウェイポイントを選択します。
- ②帰り道などルートに戻るときには最初のウェイポイントを選択します。ウェイポイントが逆順に変更します。



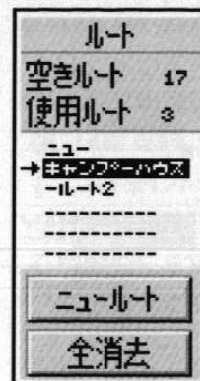
- 6** 目的地に近づくと、「目標地点に到着」のメッセージが表示されます。ナビ終了です。(どの画面上でも表示されます)

ルートナビは各ウェイポイントを順番に最終目的地までナビゲーションします。ひとつのウェイポイントを通過すると自動的に次のポイントに切り替わります。

ナビゲーションする

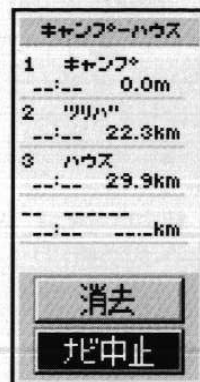
ルートナビを中止する

■コンパス、地図画面で中止する



- 1 アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)を選択、 設定ボタンを押します。

- 2 ルートのリストで矢印が付いている使用中のルートを反転させ、 設定ボタンを押します。



- 2 アップダウンボタンで「ナビ中止」を選択、 設定ボタンを押します。

ナビゲーションを中止すると、コンパス画面の方位リングの矢印と、目的シンボルマークやナビゲーション中のナビ情報も消去します。(地図画面の目的地までの直線も表示されません)

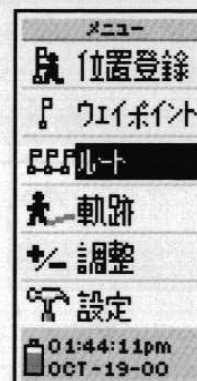


ナビ中止後に再びナビゲーションを行うには再度ポイントを設定してください。

ルートを編集する(つづき)

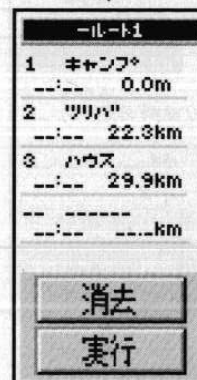
ルートの名前を編集したり、ウェイポイントを追加、削除することができます

ルートの名前を編集する

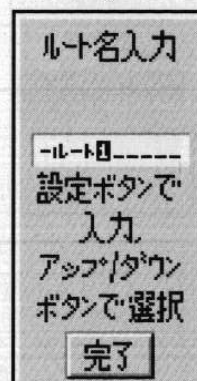


- 1 アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「ルート」を選択、 設定ボタンを押します。

- 2 アップダウンボタンでルートを選択、 設定ボタンを押します。



- 3 選択したルートが表示されます。 アップダウンボタンで名前を反転させ、 設定ボタンを押します。



- 4 入力画面が表示され、 アップダウンボタンと 設定ボタンで文字を入力します。文字入力が完了したら、 アップダウンボタンで「完了」を選択、 設定ボタンを押します。

操作を中止したい時、 ページボタンを押すと設定が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。

名前を編集する (つづき)

キャンパス-ハウス

1	キャン*	0.0m
2	ツリハ	22.8km
3	ハウス	29.9km
		...km

消去
実行

5

画面が編集画面に戻ります。

ご注意

ルート名は8つまで文字入力できますが、ルート
のリストではスペースの関係上、すべて
表示されない場合があります。

ナビゲーションする

ルートのウェイポイントを追加する

■ルートのウェイポイントを追加する

メニュー

位置登録
ウェイポイント
ルート
軌跡
調整
設定

01:49:57pm
OCT-19-00

1

▲▼ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の
「ルート」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

ルート1

1	キャン*	0.0m
2	ツリハ	22.8km
3	ハウス	29.9km
		...km

消去
実行

2

アップダウンボタンで追加するポイント番号を選択、
●→ 設定ボタンを押します。(選択したポイントの前
に追加されます)
設定ウインドウが表示され、設定の選択ができます。

ルート1

1	キャン*	0.0m
2	ツリハ	22.8km

挿入
削除

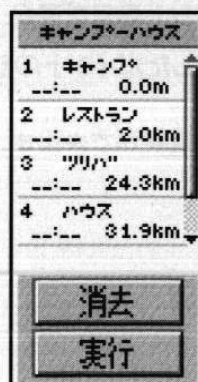
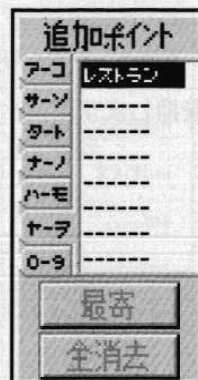
消去
実行

3

▲▼ アップダウンボタンで「挿入」を選択、●→ 設
定ボタンを押します。

ナビゲーションする

ルートのウェイポイントを追加する (つづき)



4

ウェイポイントが五十音別で表示されます。▽△ アップダウンボタンでウェイポイントの頭文字を選択、設定ボタンを押します。(ア行〜カ行とハ行〜マ行は同じ項目になっています)

▽△ アップダウンボタンでウェイポイント名を選択、
●→ 設定ボタンを押します。

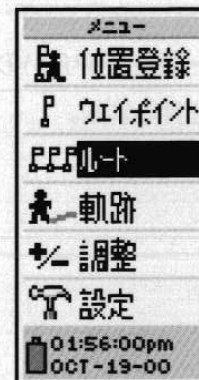
5

選択したウェイポイントがルートに追加されます。

ナビゲーションする

ルートのウェイポイントを削除する

■ルートのウェイポイントを削除する



1

▽△ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「ルート」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

2

▽△ アップダウンボタンで削除するポイント番号を選択、●→ 設定ボタンを押します。設定ウインドウが表示され、設定の選択ができます。

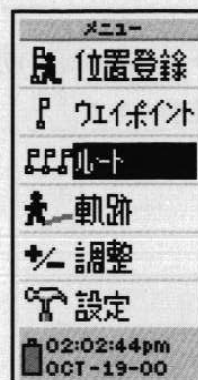
3

▽△ アップダウンボタンで「削除」を選択、●→ 設定ボタンを押します。
選択したウェイポイントがルートから削除されます。

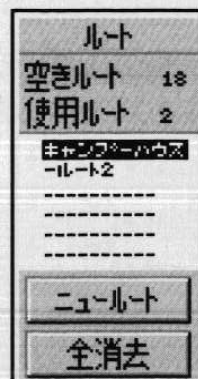
ナビゲーションする

ルートを消去する

ここではルートを消去することができます。



- 1 ▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「ルート」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



- 2 ▼▲ アップダウンボタンで消去するルートを選択、●→ 設定ボタンを押します。



- 3 ▼▲ アップダウンボタンで「消去」を選択、●→ 設定ボタンを押します。確認のメッセージが表示され、アップダウンボタンで「はい」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

消去を中止したいときは「いいえ」を選択するか、ページボタンを押すと消去が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。



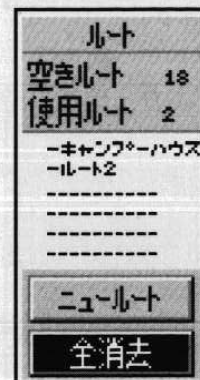
ルート内のウェイポイントの削除やルート内のウェイポイントの削除はルートに登録しているウェイポイントを取り消しますが、ウェイポイントのデータそのものが消去されることはありません。

ルートを全消去する

ここでは、全てのルートを消去します。



- 1 ▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「ルート」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



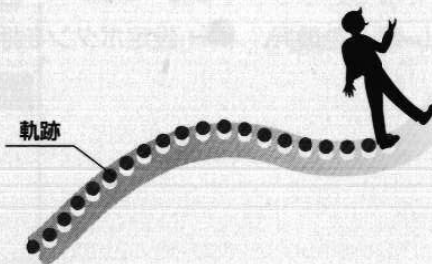
- 2 ▼▲ アップダウンボタンで「全消去」を選択、●→ 設定ボタンを押します。確認のメッセージが表示され、▼▲ アップダウンボタンで「はい」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



ルート内のウェイポイントの削除やルート内のウェイポイントの削除はルートに登録しているウェイポイントを取り消しますが、ウェイポイントのデータそのものが消去されることはありません。

トラック(軌跡)ナビする

トラック(軌跡)ナビは、実際に通過した道(軌跡)を使用してナビゲーションする機能です。ルートを作成せずに移動した時の帰り道を案内したり、再度同じ道を通りたい時に便利です。



ポケナビ・マウントミニでは、実際歩いた道を軌跡として自動的に記録しています。この自動的に記録した軌跡は、保存したり、ナビゲーションしたりすることができます。この軌跡は「軌跡選択」で確認することができ、下記の6つの項目で表示されます。

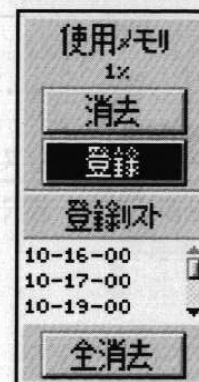


- 時刻表示(例01:50PM)** ・ 選択時刻(01:50PM)から現在の時刻までの軌跡
- ヒル・・・・・・・・・・ ヒル(昼の12時)から現在の時刻までの軌跡
 - ヨナカ・・・・・・・・・・ ヨナカ(夜の12時)から現在の時刻までの軌跡
 - ゼンジツ・・・・・・・・・・ ゼンジツ(前日)から現在の時刻までの軌跡
- 日付表示(例03-22-00)** ・ 2000年3月22日から現在の時刻までの軌跡。軌跡を自動記録している途中で受信が出来なくなったり、電源を切るなどして軌跡が中断された場合にはその箇所は直線で結ばれます。
- ゼンキセキ・・・・・・・・・・ ポケナビを使用し始めてから現在の時刻までの記録されている全軌跡

軌跡を保存する

軌跡をナビゲーションするには登録リストに保存しておく必要があります。ポケナビ・マウントミニでは最大10個の軌跡を保存することができます。

■軌跡を保存する



- 1
 ▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「軌跡」を選択、●→ 設定ボタンを押します。
- 2
 ▼▲ アップダウンボタンで「登録」を選択、●→ 設定ボタンを押します。時間毎に一時自動記録された軌跡の選択ウィンドウが表示されます。
- 3
 ▼▲ アップダウンボタンで保存したい軌跡を選択、
 ▼▲ 設定ボタンを押します。選択した軌跡とその登録日が表示されます。(同日に他の軌跡を保存した場合に
 は日付の後に番号がふられます。又、日付ではなく名前を付けることもできます→P100)



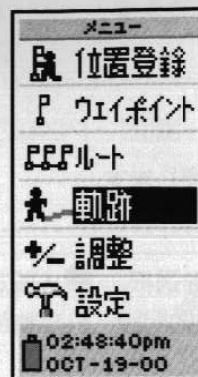
ポイント

軌跡は点が集合して形成されています。一時自動記録された軌跡のメモリーの使用量は「使用メモリ」のパーセンテージで表示されています。メモリーが99%になると自動的に古い軌跡点から新しい軌跡点に上書きされますので、メモリーが満杯になる前に軌跡の整理が必要です。不要な軌跡は消去することをおすすめします。

→使用メモリの消去P104

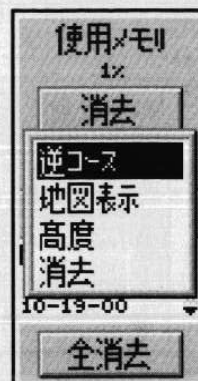
トラックナビする

登録リストに保存した軌跡を呼び出してナビゲーションします。



- 1 アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「軌跡」を選択、●→設定ボタンを押します。

- 2 アップダウンボタンで 10-16-00 登録リストの軌跡を選択、●→設定ボタンを押します。選択ウィンドウが表示され、設定を選択できます。



- 3 アップダウンボタンで「逆コース」を選択、●→設定ボタンを押します。

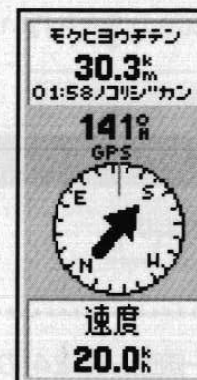


- 4 選択した軌跡が表示されます。軌跡の最初(ハジメ)か最後(オフリ)が最終の目的地となるウェイポイントを選択、●→設定ボタンを押します。

- 5 画面がコンパス画面に切り替わり、ナビゲーションが開始されます。表示されている矢印の方向に従って進んでください。

操作を中止したい時、ページボタンを押すと設定が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。

トラックナビを中止する



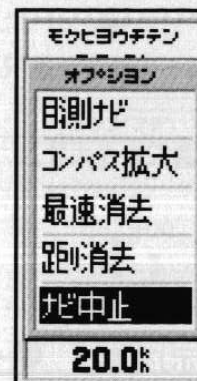
- 1 コンパス画面、地図画面で ●→設定ボタンを押します。

- 2 選択ウィンドウが表示され、設定の選択ができます。
 アップダウンボタンで「ナビ中止」を選択、
 ●→設定ボタンを押します。
 ナビゲーションが中止されます。

ナビゲーションを中止すると、コンパス画面の方位リングの矢印と、目的シンボルマークやナビゲーション中のナビ情報も消去します。(地図画面の目的地までの直線も表示されません)



ナビ中止後に再びナビゲーションを行うには再度軌跡を選択してください。



軌跡を編集する

軌跡は名前を変更したり、軌跡の高度グラフを表示させるほか、軌跡の消去を行います。

名前を編集する

名前の編集は、軌跡を表示させるどの画面でも変更することができます。ここでは、「地図」確認画面での操作を説明します。



- 1 ▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「軌跡」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

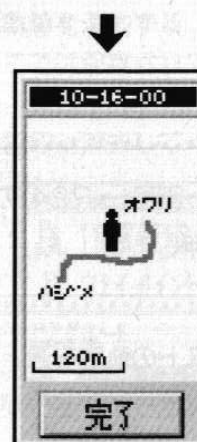
- 2 ▼▲ アップダウンボタンで登録リストの軌跡を選択、●→ 設定ボタンを押します。
設定ウインドウが表示され、設定を選択できます。

- 3 ▼▲ アップダウンボタンで「地図表示」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

- 4 選択した軌跡が表示されます。▼▲ アップダウンボタンで名前を反転させ、●→ 設定ボタンを押します。

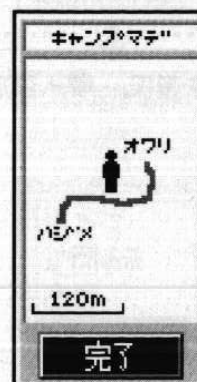


名前を編集する (つづき)



- 5 入力画面が表示され、▼▲ アップダウンボタンと ●→ 設定ボタンで文字を入力します。文字入力が完了したら、▼▲ アップダウンボタンで「完了」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

操作を中止したい時、●□ ページボタンを押すと設定が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。

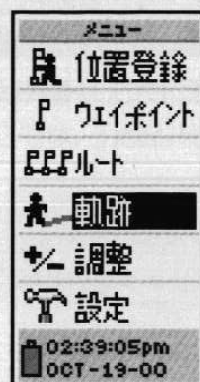


- 6 画面が編集画面に戻ります。アップダウンボタンで「完了」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

軌跡の高度グラフを表示する

■軌跡の高度グラフを表示する

軌跡は軌跡点の他に高度データも記録しています。
ここでは高度グラフを確認することができます。



1 ▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「軌跡」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

2 ▼▲ アップダウンボタンで登録リストの軌跡を選択、●→ 設定ボタンを押します。設定ウインドウが表示され、設定を選択できます。



3 ▼▲ アップダウンボタンで「高度」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



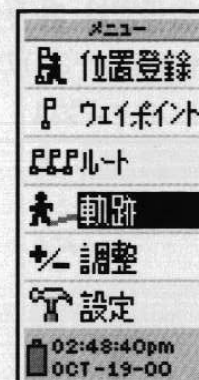
4 選択した軌跡の高度グラフが表示されます。データ内の最高、最低高度も数値で表示します。▼▲ アップダウンボタンで「完了」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

ナビゲーションする

軌跡を消去する

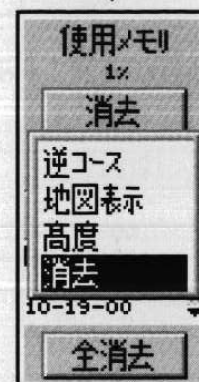
■軌跡を消去する

ここでは保存されている軌跡(「登録リスト」内の軌跡)を消去します。
尚、登録リスト内の軌跡を消去したものは元に戻すことができませんので、十分ご確認の上消去してください。

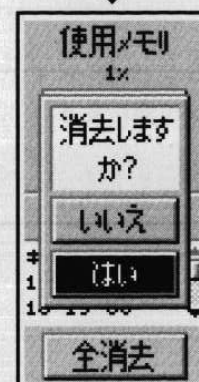


1 ▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「軌跡」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

2 ▼▲ アップダウンボタンで 10-18-00 登録リストの軌跡を選択、●→ 設定ボタンを押します。設定ウインドウが表示され、設定を選択できます。



3 ▼▲ アップダウンボタンで「消去」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



4 確認のメッセージが表示され、▼▲ アップダウンボタンで「はい」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



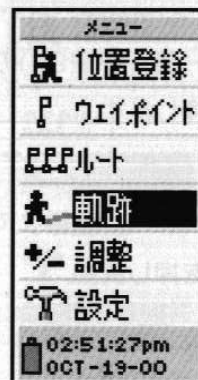
消去を中止したいときは「いいえ」を選択するか、ページボタンを押すと消去が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。

ナビゲーションする

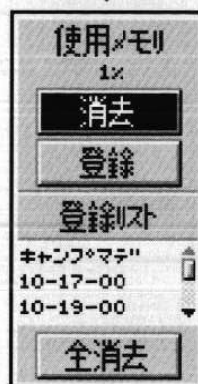
使用メモリをリセット(消去)する

■使用メモリをリセット(消去)する

ここでは軌跡の使用メモリを消去します。自動的に記録された軌跡が不必要になった時にこれらの軌跡を消去しておく、軌跡を保存する時に便利です。使用メモリを消去すると表示が0%になります。尚、登録リストの軌跡は消去されません。



- 1
 ④③ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「軌跡」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



- 2
 ④③ アップダウンボタンで「消去」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



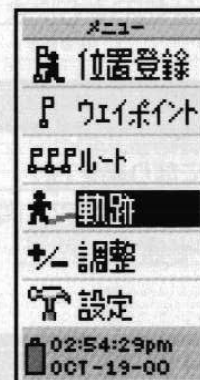
- 3
 確認のメッセージが表示され、④③ アップダウンボタンで「はい」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

消去を中止したいときは「いいえ」を選択するか、ページボタンを押すと消去が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。

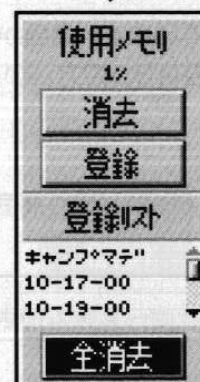
軌跡を全消去する

■軌跡を全消去する

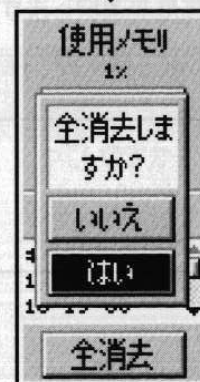
ここでは全ての軌跡(登録リストと使用メモリ)を消去します。



- 1
 ④③ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「軌跡」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



- 2
 ④③ アップダウンボタンで「全消去」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



- 3
 確認のメッセージが表示され、④③ アップダウンボタンで「はい」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

消去を中止したいときは「いいえ」を選択するか、ページボタンを押すと消去が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。

ご注意

全消去の場合はナビ中に関係なく全ての軌跡の記録を消去します。軌跡を消去したものは元に戻すことができませんので、十分ご確認の上消去してください。



調整する

■調整する

ここでは電子コンパスを使用しての方位計測や高度調整(高度または気圧)を行います。

方位を計測する

方位はナビゲーションを行う前や電池を交換する毎に計測が必要になります。

又、本体で計測が必要になった場合には調整のメッセージが表示されますので、調整を行ってください。電子コンパスの方位計測のしかたは→P25を参照下さい。

高度を調整する

■高度を調整する

高度は気圧センサで気圧と高度の関係をもとに相対高度を算出しています。海面からの絶対高度を表示させるには高度の調整が必要になります。調整は3つの方法から選択できます。

1. 海拔高度を入力する→P107へ

登山を開始する時や道の途中でその場所の海拔高度を入力します。(海拔高度は登山地図や海岸・山の標識等にかかれていています。)

2. 現在の海面更正気圧を入力する→P108へ

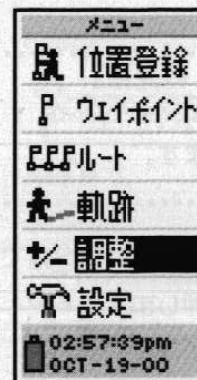
現在位置の海面更正気圧を入力します。(海面更正気圧は天気図から読み取るか気象台などにお問い合わせください。)

3. GPS高度選択(3D受信中のみ)→P109へ

海拔高度または現在海面更正気圧の情報がない場合にGPS高度を選択します。

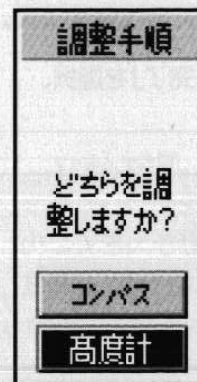
なお、これは高度計測の最初の値だけを調整するものでその後は気圧センサで計測を行います。(※GPS高度のみの表示機能はありません。)

1. 海拔高度を入力する



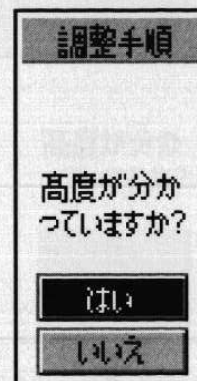
1

▲▼ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「調整」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



2

▲▼ アップダウンボタンで「高度計」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

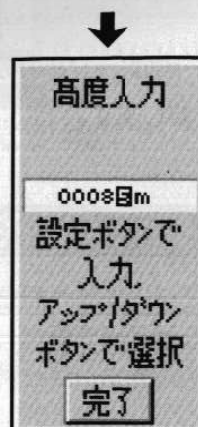


3

高度の確認のメッセージが表示されますので、「はい」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

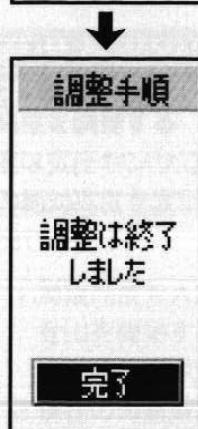


1. 海拔高度を入力する (つづき)



4
入力画面が表示され、▽△ アップダウンボタンと ●→ 設定ボタンで数値を入力します。

5
数値入力が完了したら、▽△ アップダウンボタンで「完了」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

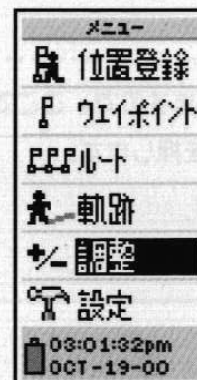


6
最後に▽△ アップダウンボタンで「完了」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

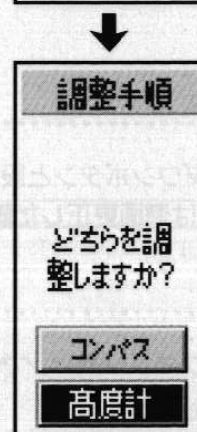
ご注意

ポケナビ・マウントミニを使用して高度を計測中に、気象条件などが大きく変化し気圧が急激に変わった場合には、高度による気圧の変化ではなく、気象の変化による気圧の変化に影響を受けてしまい、表示された高度に誤差が生じますので、気圧高度計の特性を十分ご理解の上、ご使用下さい。

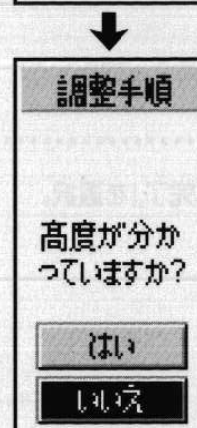
2. 現在の気圧を入力する



1
▽△ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「調整」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

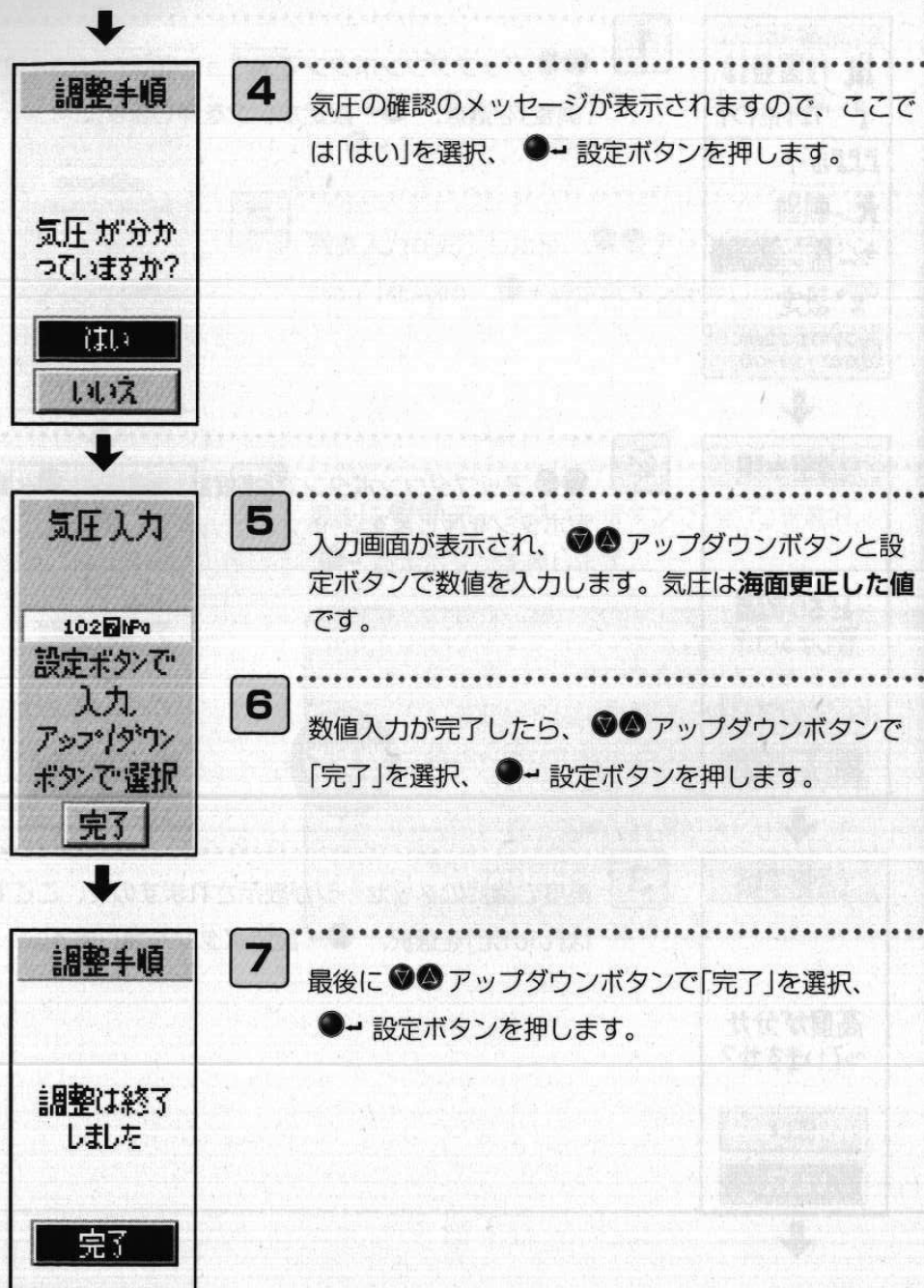


2
▽△ アップダウンボタンで「高度計」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



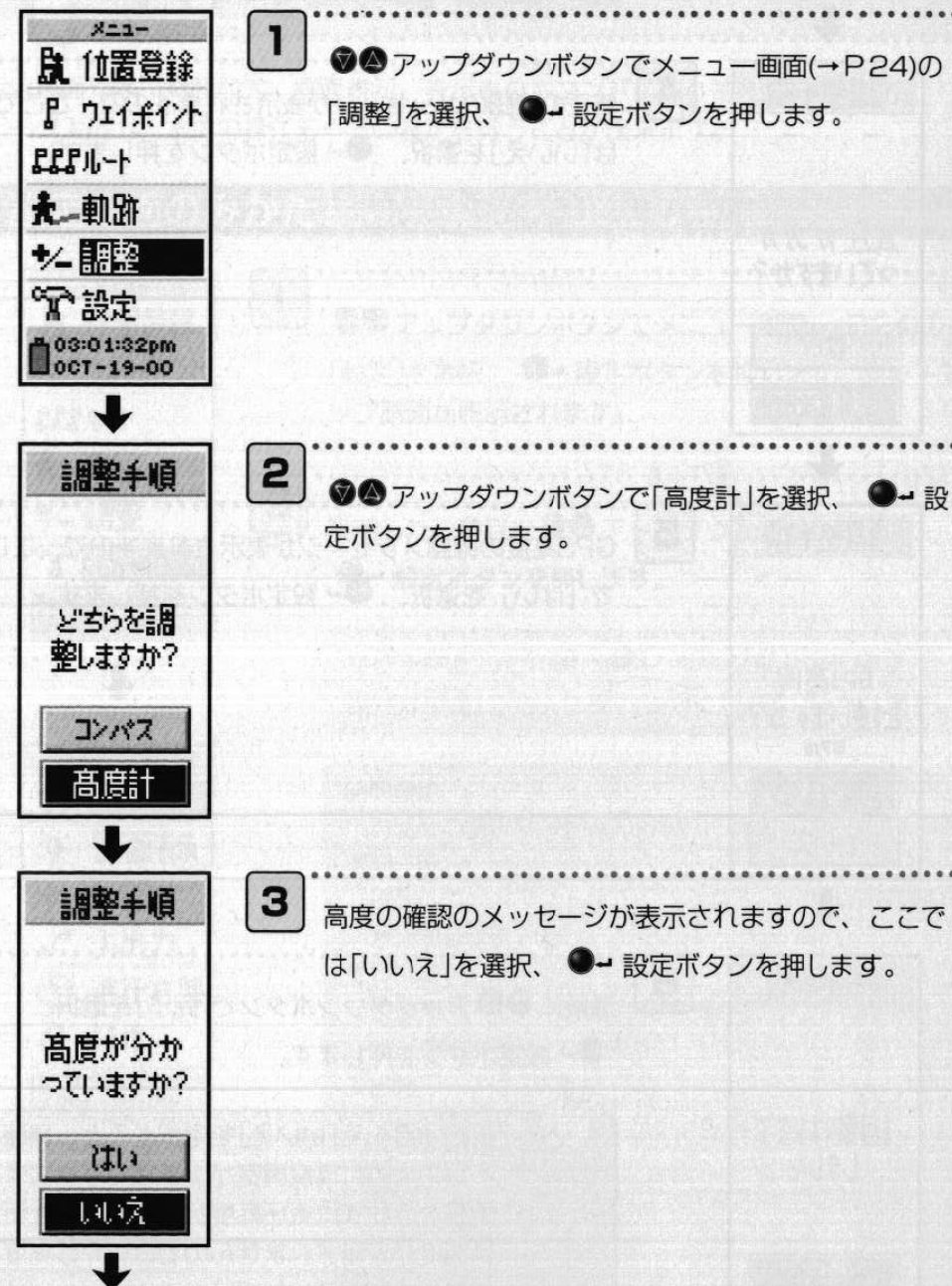
3
高度の確認のメッセージが表示されますので、ここでは「いいえ」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

2.現在の気圧を入力する(つづき)



調整する

3.GPS高度を選択する



本体の設定をする

3.GPS高度を選択する(つづき)

調整手順

気圧が分かっていますか?

はい
いいえ

調整手順

GPS高度を使いますか?
57m

はい
いいえ

調整手順

調整は終了しました

完了

- 4 気圧の確認のメッセージが表示されますので、ここでは「はいえ」を選択、●→設定ボタンを押します。

- 5 GPS高度の確認メッセージが表示されますので、ここで「はい」を選択、●→設定ボタンを押します。

- 6 最後に●→アップダウンボタンで「完了」を選択、●→設定ボタンを押します。



ポイント

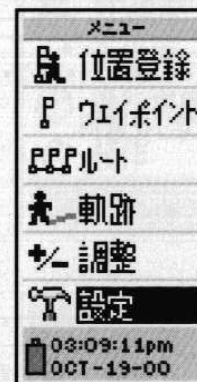
上記項目4.で「いいえ」を選択すると、情報不足のために高度調整が出来なくなります。調整を行わずに気圧高度計を使用すると正しい高度が表示されませんので、GPS高度をご使用ください。(→P111)
GPS高度が選択できるのは、3D受信のときのみです。



本体の設定をする

設定画面では、時間設定、画面表示、表示単位やコンパス切り替え等のナビ設定、データ入出力、本体の操作モードの設定を行うことができます。

設定画面のみかた



- 1 ●→アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→設定ボタンを押します。セッアップ画面が表示されます。

- 2 設定したい項目を●→アップダウンボタンで選択、●→設定ボタンを押します。

操作を中止したい時、●→ページボタンを押すと設定が中止(もしくは前の画面に戻ります)されます。

時間設定

時間制の選択や時差の入力など行います。

画面表示

画面のコントラストやELバックライトの表示時間の設定をします。

ナビ設定

位置表示形式、地図の測地系データ、計測単位、気圧単位が設定できます。

入出力

データの入出力のフォーマットの設定を行います。

進行方向

電子コンパスとGPSコンパスの自動切替の設定を行います。

操作

動作モードの設定とコンパスの入・切ができます。

時間の設定をする

■時間制の設定をする

ここでは時間制の選択や時差の入力の設定を行います。時間制は12時間、24時間制から選択できます。



1

▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。セッティング画面が表示されます。

2

▼▲ アップダウンボタンで「時間設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

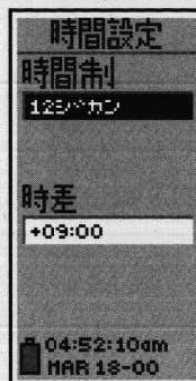


3

▼▲ アップダウンボタンで「時間制」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

4

設定ウインドウが表示されます。▼▲ アップダウンボタンで使いたい時間制を選択、●→ 設定ボタンを押します。



時差の設定をする

■時差の設定をする

時差は正確な時間を表示させるのに必要な設定ですので、時差を合わせてください。国外で時差を合わせる場合には時差一覧表(→P143)で確認して設定してください。

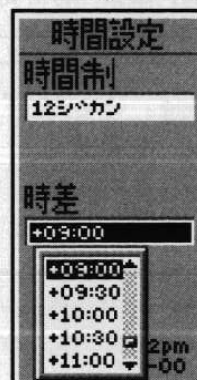


1

▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。セッティング画面が表示されます。

2

▼▲ アップダウンボタンで「時間設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

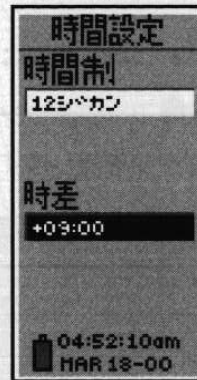


3

▼▲ アップダウンボタンで「時差」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

4

設定ウインドウが表示されます。▼▲ アップダウンボタンで時差を選択、●→ 設定ボタンを押します。日本でご使用になる場合は、「+9:00」を選択します。



■日付と時刻について

設定画面の下に日付と時刻が表示されていますが、この2つは時差の設定をもとに、GPS衛星からの情報によって表示されていますので、日付と時刻を変更することはできません。時刻はUTC(世界協定時)で表示されています。

画面表示の設定をする

■画面表示を設定する

画面表示ではバックライトの点灯時間と画面のコントラスト(濃淡)の設定を行います。

バックライトの設定をする

■バックライトの設定をする

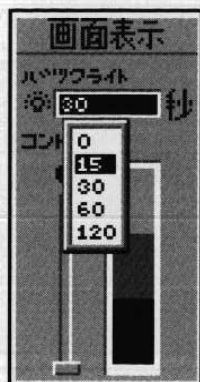
バックライトは0(連続)、15、30、60、120秒から選択できます。バックライトはどの画面上でも ● 電源ボタンを1回押すと点灯します。(初期設定は15秒です)

点灯を中止したい場合は再度 ● 電源ボタンを押します。



- 1 ●△ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。セッティング画面が表示されます。

- 2 ●△ アップダウンボタンで「画面表示」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



- 3 ●△ アップダウンボタンで「バックライト」を選択、●→ 設定ボタンを押します。
- 4 設定ウインドウが表示されます。●△ アップダウンボタンで点灯時間を選択、●→ 設定ボタンを押します。



バックライトの点灯時間は電池寿命に大きく影響しますので、電池寿命を長く保つ為に点灯時間を初期設定の15秒に設定することをお勧めします。

コントラスト(濃淡)の設定をする

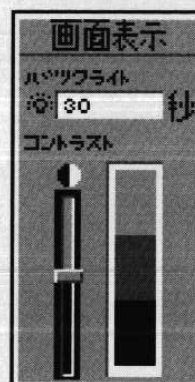
■コントラスト(濃淡)を設定する

画面のコントラストは画面のコントラストバーで調整できます。



- 1 ●△ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。セッティング画面が表示されます。

- 2 ●△ アップダウンボタンで「画面表示」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



- 3 ●△ アップダウンボタンで「コントラスト」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

- 4 設定ウインドウが表示されます。●△ アップダウンボタンでコントラストバーを選択、●→ 設定ボタンを押します。△ アップボタンで濃く、▽ ダウンボタンで薄くなります。

ナビゲーションの設定をする

■ナビゲーションの設定をする

ナビ設定では位置表示形式、地図の測地系データ、計測単位や気圧単位が設定できます。

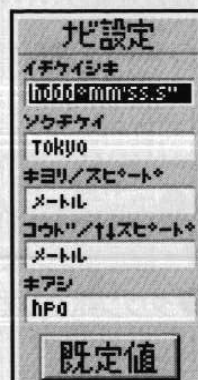


1

▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。セッティング画面が表示されます。

2

▼▲ アップダウンボタンで「ナビ設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



イデケイシキ (位置表示形式)

緯度、経度の表示選択とその他の表示設定を行います。

ソウチケイ (測地系)

受信している場所の緯度、経度を正しくする為にその地域の緯度、経度の基準を合わせます。

キヨリ/スピード(距離、速度単位)

距離と速度の表示単位を設定します。

コウド/↑↓スピード(高度、垂直速度)

高度と垂直高度速度の単位を設定します。

キアツ(気圧)

気圧の表示単位を設定します。

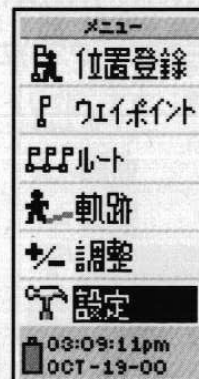
既定値

ナビ設定を全て初期設定に戻します。

位置表示形式の設定をする

■位置表示形式の設定をする

計測した緯度、経度の表示形式を選択します。初期設定では緯度・経度が度・分(hddd° mm.mmm')で表示されています。これ以外には、度・分・秒(hddd° mmm'ss.s'')、度表示のみ(hddd.dddd°)、UTM/UPS座標、もしくは英国、ドイツ、アイルランド、スウェーデン、スイス、台湾など各国のグリッドから選択できます。



1

▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。セッティング画面が表示されます。

2

▼▲ アップダウンボタンで「ナビ設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



3

▼▲ アップダウンボタンで「イデケイシキ」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

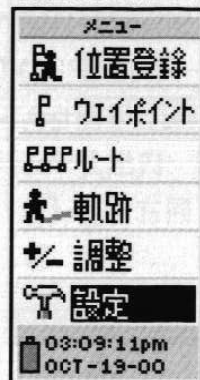
4

設定ウインドウが表示されます。▼▲ アップダウンボタンで位置表示形式を選択、●→ 設定ボタンを押します。

測地系を合わせる

■測地系を合わせる

受信している場所の緯度、経度を正しく計測するためにその地域の座標の基準を合わせる必要があります。ポケナビ・マウントミニをお使いになる地域(国)がかわる毎に必ず設定してください。日本でお使いの場合には「TOKYO」に設定してください。(その他の地域は測地系一覧表を参照下さい→P145)



- 1 アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→設定ボタンを押します。セットアップ画面が表示されます。



- 2 アップダウンボタンで「ナビ設定」を選択、●→設定ボタンを押します。

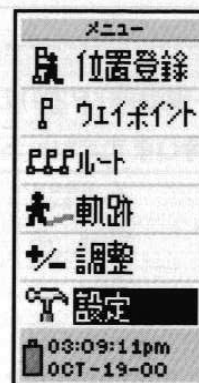


- 3 アップダウンボタンで「ソクチケイ」を選択、●→設定ボタンを押します。
- 4 設定ウインドウが表示されます。アップダウンボタンで測地系を選択、●→設定ボタンを押します。

距離／速度単位の設定をする

■距離／速度単位の設定をする

ここでは表示される距離や速度の単位が設定できます。単位はメートル、マイル、カイリから選択できます。



- 1 アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→設定ボタンを押します。セットアップ画面が表示されます。



- 2 アップダウンボタンで「ナビ設定」を選択、●→設定ボタンを押します。

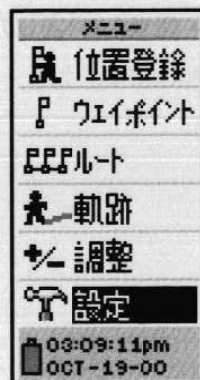


- 3 アップダウンボタンで「キヨリ／スピード」を選択、●→設定ボタンを押します。
- 4 設定ウインドウが表示されます。アップダウンボタンで表示単位を選択、●→設定ボタンを押します。

高度と垂直速度単位を設定する

■高度と垂直速度単位の設定をする

ここでは、高度と垂直高度速度(高度の上昇/下降速度)の単位が選択できます。単位はメートル、フィートから選択できます。



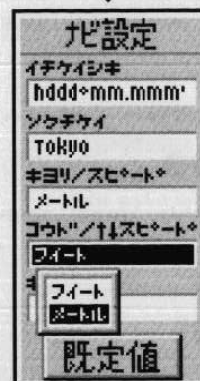
1

▽△ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。セットアップ画面が表示されます。



2

▽△ アップダウンボタンで「ナビ設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



3

▽△ アップダウンボタンで「コウド/↑↓スピード」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

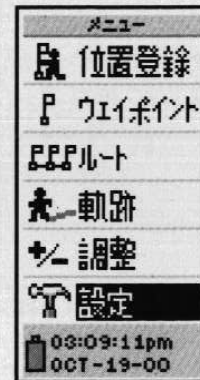
4

設定ウインドウが表示されます。▽△ アップダウンボタンで表示単位を選択、●→ 設定ボタンを押します。

気圧表示単位を設定する

■気圧表示単位の設定をする

ここでは気圧の表示単位が選択できます。単位はHg(水銀気圧、インチ)、hPa (ヘクトパスカル) から選択できます。



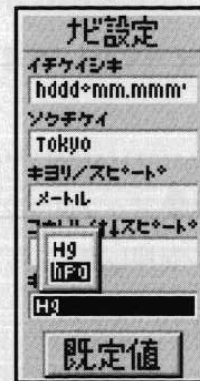
1

▽△ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。セットアップ画面が表示されます。



2

▽△ アップダウンボタンで「ナビ設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



3

▽△ アップダウンボタンで「キアツ」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

4

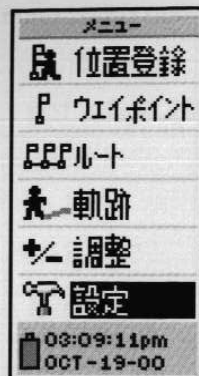
設定ウインドウが表示されます。▽△ アップダウンボタンで表示単位を選択、●→ 設定ボタンを押します。

入出力の設定をする

■入出力の設定をする

入出力の設定では、パソコンなどの外部機器を接続するときのデータ入出力のフォーマット(形式)が選択できます。

選択できる形式は8種類です。データ内容は→P125を参照ください。



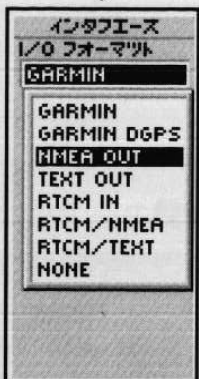
1

▼▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。セットアップ画面が表示されます。



2

▼▲ アップダウンボタンで「入出力」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



3

▼▲ アップダウンボタンで「I/Oフォーマット」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

4

設定ウインドウが表示されます。▼▲ アップダウンボタンで形式を選択、●→ 設定ボタンを押します。

入出力の設定をする (つづき)

選択できる入力/出力は下記の通りです。

GARMIN	ガーミン形式によるデータ転送ですが、日本語版では対応していません。
GARMIN DGPS	ディファレンシャル(DGPS) RTCM SC-104、及びガーミンDGPSに対応しています。
NMEA OUT	NMEA0183 ver2.0のデータ出力時に使用します。
TEXT OUT	NMEA0183 ver2.0のデータの座標と速度を出力します。
RTCM/IN	ディファレンシャル(DGPS) RTCM SC-104 に対応しています。
RTCM/NMEA	ディファレンシャル(DGPS) RTCM SC-104 入力を使用しNMEA0183データを出力する場合に使用します。
RTCM/TEXT	ディファレンシャル (DGPS) RTCM SC-104入力を使用し、NMEA0183の座標と速度データを出力する場合に使用します。
NONE	入出力機能を無効にします。

進行方向の設定をする

■進行方向の設定をする

進行方向の設定は、電子コンパスとGPSコンパスの自動切換えの設定を行います。常に正確な方位を表示させるために、その状況によってコンパスを使用します。

電子コンパス・・・速度が遅いときや立ち止まって方位を確認するときに最適です。



GPSコンパス・・・自転車などの速度が速い時の進行方向を確認するのに適しています。



切り替えの設定は、2つの方法で行います。

速度設定・・・設定した速度に達した時にGPSコンパスを使用する

時間設定・・・設定した速度以下になってから電子コンパスに切り変わる時間を設定する。

本体の設定をする

速度設定をする(GPSコンパス使用設定)

■速度設定をする(GPSコンパス使用設定)

電子コンパスを使用している場合にある速度に達した時にGPSコンパスに切り替わります。初期設定は16km/hになっています。



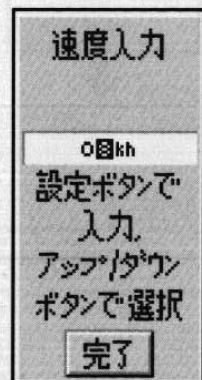
1

- ▽△ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。
- ▽△ アップダウンボタンで「進行方向」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



2

- 選択画面が表示されます。▽△ アップダウンボタンで「速度設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

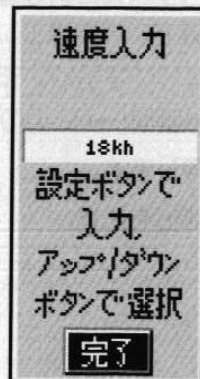


3

- ▽△ アップダウンボタンで「速度」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

本体の設定をする

速度設定をする(GPSコンパス使用設定)(つづき)



4

入力画面が表示されます。▼▲アップダウンボタンと設定ボタンで設定速度を入力します。入力が終了したら、▼▲アップダウンボタンで「完了」を選択、●→設定ボタンを押します。

時間設定をする(電子コンパス使用設定)

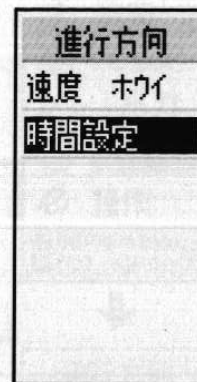
■時間設定をする(電子コンパス使用設定)

進行速度が速度設定で設定したGPSコンパスの切換える速度以下になった場合に電子コンパスに戻る時間の設定を行います。時間設定は5、15、30、45、60、90、120、180秒です。初期設定は90秒です。



1

▼▲アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→設定ボタンを押します。▼▲アップダウンボタンで「進行方向」を選択、●→設定ボタンを押します。



2

選択画面が表示されます。▼▲アップダウンボタンで「時間設定」を選択、●→設定ボタンを押します。



時間設定をする(電子コンパス使用設定) (つづき)



進行方向

速度が8km
以下で
15
秒以上つづく
場合、電子
コンパスを
使用します

既定値



進行方向

速度が8km
以下で
30
秒以上つづく
場合、電子
コンパスを
使用します

既定値

3

- ▽△ アップダウンボタンで「時間」を選択、●→ 設定ボタンを押します。設定ウインドウが表示されます。
- ▽△ アップダウンボタンで時間を選択、●→ 設定ボタンを押します。

偏角(ヘンカク)の設定をする

■偏角(ヘンカク)の設定をする

方位には「真北」(地球の地軸に沿った方位、北が北極点を指します)、「磁北」(一般の磁石を使ったコンパスが指す方向で、地球の磁気に偏りがあるために電子コンパスが示す北の方向は北極点とはズレています)とグリッドで計算された方位「グリッド」、偏差を入力できる「ユーザー」から選択できます。初期設定はジホク(磁北)になっています。

- 1.ジホク(磁北)・・・現在位置の座標に合わせて自動的に設定されます。初期設定は自動磁北になっています。通常はこのままで使用してください。ヘンカク(偏角：北の方位のズレ)が表示されます。
- 2.シンボク(真北)・・・常に北極点の方向を北とします。磁石でのコンパスとは指す方位が異なります。
- 3.グリッド・・・グリッドにより変化する値が自動的に表示されます。
- 4.ユーザー・・・現在位置の偏差を手動で入力できます。

セレクトメニュー

⌚ 時間設定

☀ 画面表示

⚙ 設定

↔ 入出力

📶 進行方向

🔧 操作

05:06:42pm

OCT-19-00



進行方向

速度が8km
を超える場合
GPSコンパスを
使用します

ホウイ
ジホク 01°W

既定値



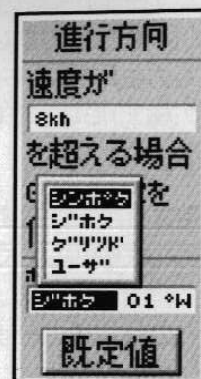
1

- ▽△ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。▽△ アップダウンボタンで「進行方向」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

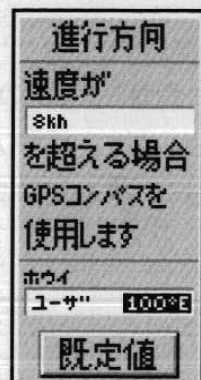
2

- 選択画面が表示されます。▽△ アップダウンボタンで「速度設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。アップダウンボタンで「ヘンカク」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

偏角(ヘンカク)の設定をする (つづき)



- 3**
設定ウインドウが表示されます。▽△ アップダウンボタンで偏角を選択、●→ 設定ボタンを押します。



- 4**
「ユーザー」を設定すると、入力画面が表示されます。
▽△ アップダウンボタンと ●→ 設定ボタンで数値を入力します。入力が終了したら、▽△ アップダウンボタンで「完了」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

本体の設定をする

操作モードの設定をする

■操作モードの設定をする

操作モードの設定では、GPSの動作モードや電子コンパスや高度計の操作設定を行います。

GPSモードの設定をする

■GPSモードの設定をする

GPSモードは下記の4つのモードから選択できます。

1. ノーマル 本体を最もよい状態で動作させるモード。衛星受信を1秒毎に更新するため、徒歩などの進行する速度が遅く、微小な状況変化がある場合に適しています。
2. バッテリーセーブ . . . 本体を節電するモード。衛星受信を5秒毎に更新するため、自動車などの速度が速い使用に適しています。連続使用で約16時間使用できます。
3. シミュレーション . . . 衛星受信を行わない場合にデモストレーション画面を表示します。
4. 切 GPSを使用しない場合に設定します。電子コンパスや高度計など単体で使用する時にGPSを「切」にします。

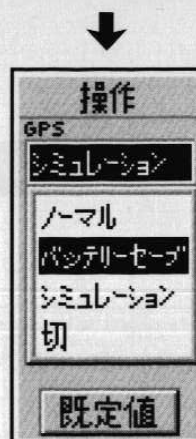
初期設定は「ノーマル」モードになっています。



- 1**
▽△ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。
▽△ アップダウンボタンで「操作」を選択、●→ 設定ボタンを押します。

本体の設定をする

GPSモードの設定をする(つづき)



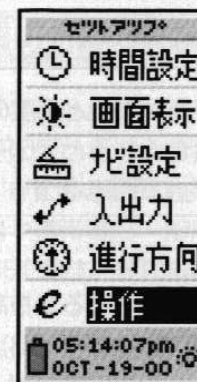
2

設定ウインドウが表示されます。▽△アップダウンボタンで「GPS」を選択、●→設定ボタンを押します。

▽△アップダウンボタンで使用するモードを選択、●→設定ボタンを押します。
(モードについて→P133)

電子コンパスのモードを設定する

ここでは、電子コンパスの操作モードを選択します。GPSコンパスや電子コンパスの使用選択を行います。初期設定では「入」になっています。



1

▽△アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→設定ボタンを押します。▽△アップダウンボタンで「操作」を選択、●→設定ボタンを押します。



2

設定ウインドウが表示されます。▽△アップダウンボタンで「コンパス」を選択、●→設定ボタンを押します。▽△アップダウンボタンで使用するモード(入か切)を選択、●→設定ボタンを押します。



コンパスはその用途によってGPSコンパス、電子コンパスの使用が選択できます。

1. 電子コンパスとして使用する・・・
 - ① 操作モードでGPSを「切」にする→P135
 - ② 操作モードでコンパスを「入」にする→P135
 - ③ 電子コンパスの調整をする(方位計測を行う)→P25
2. GPSコンパスのみ使用する・・・
 - ① 操作モードでGPSを「ノーマル」または「バッテリーセーブ」にする→P133
 - ② 操作モードでコンパスを「切」にする→P135
3. 電子コンパス、GPSコンパス併用して使用する・・・・・・・
 - ① 操作モードでGPSを「入」にする→P135
 - ② 操作モードでコンパスを「入」にする→P135
 - ③ 電子コンパスの調整をする(方位計測を行う)→P25
 - ④ 進行方向の設定をする(コンパスの切り替えの設定を行う)→P127

高度計の操作モードを設定する

ここでは高度計の操作モードを選択します。

自動的にGPS高度で調整する「自動調整」と、手動で高度調整する「手動調整」から選択できます。

1. 自動調整

高度は気圧とともに変化するため、気象の変化などで気圧が変動すると高度の数値も変化し、正しい値からずれてしまいます。その値が大きくなると“GPSによる高度”のメッセージが出て、GPS高度での値で自動的に調整します。

2. 手動調整

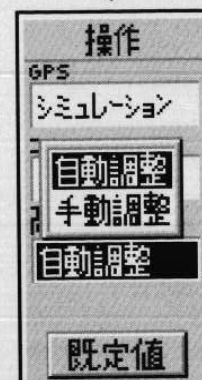
気圧による高度表示が実際の高度よりかけ離れた場合に、分かっている海拔高度、海面更正気圧、GPS高度のいずれかを入力して調整します。(→P106)

高度計として使用開始する時には、どちらに設定している場合でもメニュー画面で高度調整を行ってください。(→P106)



1

▽▲ アップダウンボタンでメニュー画面(→P24)の「設定」を選択、●→ 設定ボタンを押します。▽▲ アップダウンボタンで「操作」を選択、●→ 設定ボタンを押します。



2

設定ウインドウが表示されます。▽▲ アップダウンボタンで「高度計」を選択、●→ 設定ボタンを押します。▽▲ アップダウンボタンで使用するモードを選択、●→ 設定ボタンを押します。



その他

DGPS(ディファレンシャルGPS)を利用するには

ディファレンシャル受信機を使用すると、15m程度の誤差が出てしまう測位性能を、地上局から送られるビーコン信号、FM放送信号などで補正して、1~3mの精度に引き上げる事ができます。ディファレンシャルを使用するためには、それに適した機器や携帯電話・船舶電話等の申し込みが必要となります。

DGPSは、RTCM104形式で入力して機能させることができます。

ポケナビで利用できるD-GPSの方法は3種類あります。

1. 携帯電話方式

NTTドコモのデジタル800MHz が受信できるエリアで利用できます。

これには契約料、通話料が必要です。

お問い合わせ先は、日本船舶通信(株) TEL (03)-3282-0184

2. FM多重方式

全国の東京FM系列局が受信できる地域で利用できます。

受信料などが必要ありませんので、最も安価で手軽に利用できます。

本書ではFM多重方式での接続の方法を説明します。

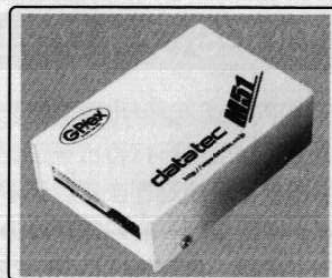
3. ビーコン方式

海上保安庁が送信している中波ビーコンを受信して利用できます。

■FM多重方式を利用する

1. 準備するもの

- ①ポケナビ・マウントミニ
- ②データケーブル FG-5302(別売)
- ③D-GPS用FM多重レシーバー M-51(写真)
- ④FMアンテナ
- ⑤ハンダゴテとハンダ



FM多重レシーバーとFMアンテナに関しては下記へお問い合わせください。

(株) データテック

TEL 03-5703-7041 FAX 03-5703-7043

E-mail sakai@datatec.co.jp

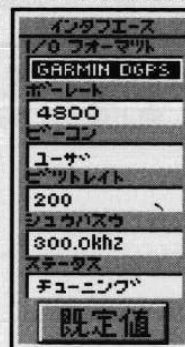
ホームページ <http://www.datatec.co.jp>

2. 接続ケーブルの作成

ポケナビとFM多重レシーバーを接続するためにケーブルの工作が必要です。次ページの配線図を参考にして工作を行ってください。

3. 接続のためのポケナビの設定

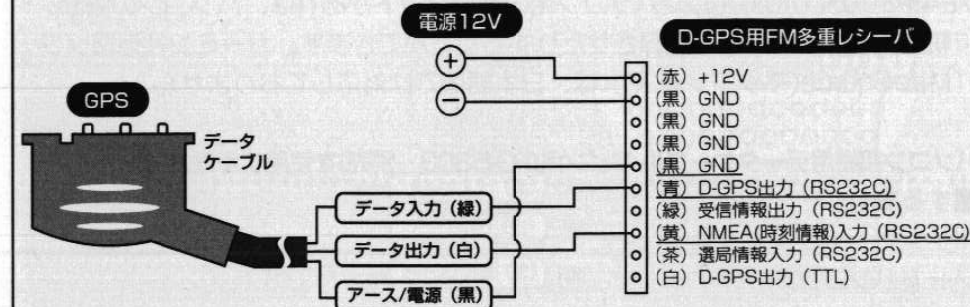
1. 接続ケーブルを作成したら、ポケナビ・マウントミニとDGPSユニット(M51)を接続して、電源を入れます。
2. 入出力設定ページで入出力形式「GARMIN DGPS」あるいは「RTCM IN」を選択し、設定キーを押します。ディファレンシャル信号を入力しながら、パソコン等へ位置データの出力をおこなう際は「RTCM/NMEA」に設定します。



ポケナビ・マウントミニがDGPS補正値を受信すると、入出力設定ページの受信表示に、以下のような状態表示が出ます。

- ビーコン ユーザーまたはスキャンの選択ができます。
- ビットレート . . . ご使用のDGPS受信機に合わせてください。(ユーザー設定時のみ)
- シユウハスウ . . . ご使用のDGPS受信機に合わせてください。(ユーザー設定時のみ)
- ステータス . . . チューニング . . . RTCM信号の同調をとっています。
- ハイセンチェック . 同調がとれているか、接続が正しいか確認して下さい。

配線図



ポケナビとパソコンを接続するには

■ポケナビとパソコンを接続するには

NMEA形式の入力に対応したパソコン用の地図ソフトがあれば、パソコンの画面上に軌跡を表示させたり、記録させたりすることができます。ガーミン社地図ソフト「MapSource(マップソース)」は、日本語版では対応しておりません。

■パソコン接続用データケーブル/9ピン用(FG-5303 別売)を使用する場合

用意するもの

- ・ポケナビ・マウントミニ
- ・ノートパソコン
- ・NMEA対応のパソコン用地図ソフト(アルプス社 プロアトラス'98/2000、昭文社 マップライフプロ'98、対応OS Windows 95以上)
- ・パソコン接続用データケーブル(FG-5303 別売)

■データケーブル(FG-5302 別売)を使用する場合(自作)

データケーブルで接続する場合、9ピン、25ピンともに自作が必要となります。上記パソコン接続用データケーブルの用意の他に下記のものが必要となります。

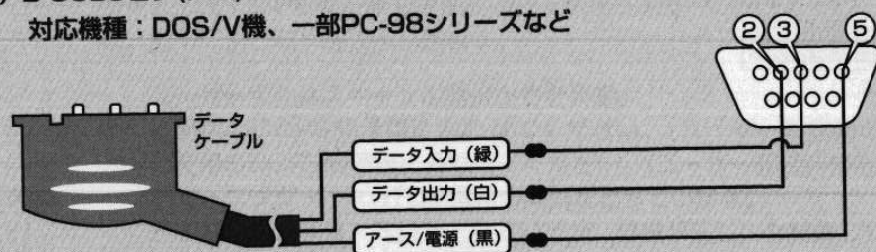
用意するもの

- ・ポケナビ・マウントミニ
- ・ノートパソコン
- ・NMEA対応のパソコン用地図ソフト(アルプス社 プロアトラス'98/2000、昭文社 マップライフプロ'98、対応OS Windows 95以上)
- ・データケーブル(FG-5302 別売)
- ・ハンダゴテとハンダ

下の図のようにケーブルとコネクタを対応させ、ハンダゴテとハンダを使用して接着させてください。

1) D-SUB9ピン(メス)コネクタの接続の場合

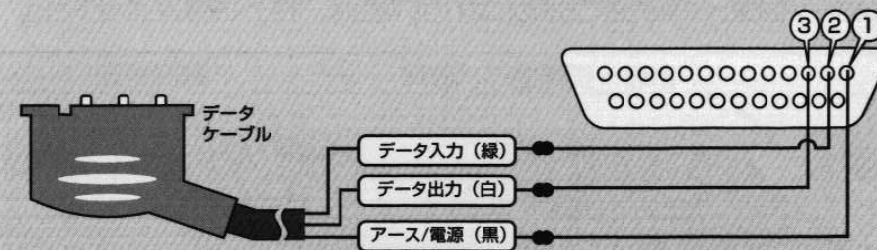
対応機種：DOS/V機、一部PC-98シリーズなど



ポケナビとパソコンを接続するには (つづき)

2) D-SUB25ピン(オス)コネクタへの接続の場合

対応機種：PC-98シリーズなど

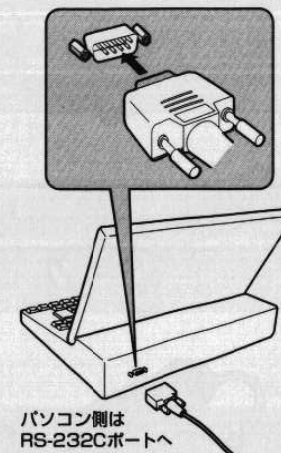


注意

工作をされる際は工具やハンダゴテの取り扱いには十分注意し、火傷、ケガをなさらないようにしてください。工作の際のケガや、事故に関しては弊社は一切責任を負いませんので、お客様の責任において工作は行ってください。

■接続のためのポケナビの設定と実際の接続

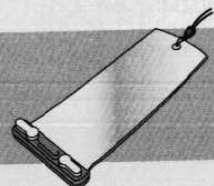
1. パソコンとポケナビ・マウントミニの電源がOFFになっていることを確認してから、データケーブルを使用して正しく接続してください。
2. パソコン側のソフトを起動します。
3. ポケナビ側の入出力設定ページで入出力形式「NMEAOUT」を選択し、設定ボタンを押します。通信速度は4800ボー (bps)で固定されます。
4. パソコン側のソフトの設定を行います。(ソフトにより設定が異なるので、ソフト側のマニュアルを参考にしてください)
5. 通信が開始されます。



NMEA形式はポケナビが衛星信号を受信しているときだけ出力され、ポケナビ内部に記録はされませんので、上記の準備をした状態で受信しないと記録をパソコンに表示も保存もできません。

オプションパーツについて

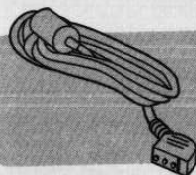
ポケナビ・マウントミニには下記のオプションパーツが豊富に揃っています。用途に合わせてご使用下さい。
オプションパーツをお近くの販売店で求めにれない場合は、下記へお問い合わせ下さい。



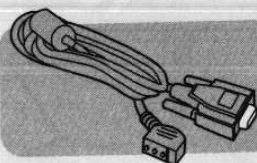
FG-2102 防水ケース・・・¥2,500
透明の防水ケース。ポケナビを入れた状態で操作ができ、誤って落としても水中に浮きます。首から下げられるストラップ付き
(本体サイズ 約275×115×25mm)



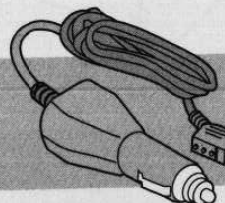
FG-5301 自転車・バイク用ブラケット・・・¥4,000
自転車等のハンドル部に本体をしっかりと固定できる専用ブラケットです。



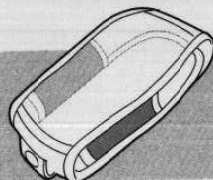
FG-5302 データケーブル・・・¥5,800
コンピューターや他の周辺機器と接続して、データ入出力を行うためのケーブル。



FG-5303 パソコン接続用データケーブル・¥8,000
パソコンに接続してデータの入出力を行うためのケーブル。(9ピンRS-232C コネクタ付。DOS/V互換機用)



FG-5304 シガーライターアダプター・・・¥8,500
車のシガーライターアダプターの電源で利用できる専用アダプター。(12V用)



FG-5305 専用キャリングケース・・・¥2,500
ザックや腰にぶら下げたり、ベルトにも装着できる透明のケース。ケースに入れた状態でポケナビを操作できます。

時差一覧表

UTC (世界協定時) に対する時差は経度によって異なります。各経度区間での時差は以下に示すとおりです。
(サマータイムは下記の時差に1を加算します)

経度範囲	時差	主要国・都市
W180.0° ~ W172.5°	-12	
W172.5° ~ W157.5°	-11	
W157.5° ~ W142.5°	-10	ハワイ
W142.5° ~ W127.5°	-9	
W127.5° ~ W112.5°	-8	サンフランシスコ (米国)
W112.5° ~ W097.5°	-7	デンバー (米国)
W097.5° ~ W082.5°	-6	シカゴ (米国)、メキシコ
W082.5° ~ W067.5°	-5	ニューヨーク (米国)、ペルー
W067.5° ~ W052.5°	-4	ボリビア
W052.5° ~ W037.5°	-3	ブラジル
W037.5° ~ W022.5°	-2	アソレス諸島
W022.5° ~ W007.5°	-1	
W007.5° ~ E007.5°	0	イギリス、マリー、モロッコ
E007.5° ~ E022.5°	+1	ドイツ、フランス
E022.5° ~ E037.5°	+2	トルコ、エジプト
E037.5° ~ E052.5°	+3	イラク、ヨルダン、エチオピア
E052.5° ~ E067.5°	+4	オマーン
E067.5° ~ E082.5°	+5	パキスタン
E082.5° ~ E097.5°	+6	バングラディッシュ
E097.5° ~ E112.5°	+7	タイ
E112.5° ~ E127.5°	+8	中国
E127.5° ~ E142.5°	+9	日本、韓国
E142.5° ~ E157.5°	+10	シドニー、メルボルン (豪州)
E157.5° ~ E172.5°	+11	
E172.5° ~ E180.0°	+12	ニュージーランド

測地系一覧表

ポケナビ・マウントミニでは、以下に表示される測地系が選択可能です。メニューページに表示される略語が左側に、その右側に対応する地域が表示されています。
初期設定の測地系はWGS 84になっています。日本国内で使用するときは“Tokyo”を選択してください。

Adindan	エチオピア、マリ、セネガル、スーダン
Afgooye	ソマリア
AIN EL ABD '70	サウジアラビア、バーレーン
Anna 1 Ast '65	ココス諸島
ARC 1950	ボツワナ、レソト、マラウイ、スワジランド、ザンビア、ジンバブエ
ARC 1960	ケニア、タンザニア
Ascnsn Isld '58	アセンション諸島
Astro B4 Sorol	テルン島
Astro Bcn "E"	硫黄島
Astro Dos 71/4	セントヘレナ
Astr Stn '52	マーカス諸島
Astrln Geod '66	オーストラリア 1966年制定
Astrln Geod '84	オーストラリア 1984年改訂
Bellevue (IGN)	エフェイト、エロマンガ諸島
Bermuda 1957	バミューダ諸島
Bogata Observ	コロンビア
Campo Inchspe	アルゼンチン
Canton Ast '66	フェニックス諸島
Cape	南アフリカ共和国
Cape Canavrl	アメリカ合衆国フロリダ州、バハマ
Carthage	チュニジア
CH-1903	スイス
Chatham 1971	チャタム諸島 (ニュージーランド)
Chua Astro	パラグアイ
Corrego Alegr	ブラジル
Djakarta	ジャカルタ、スマトラ島 (インドネシア)
Dos 1968	ニュージョージア諸島
Easter Isld 67	イースター島

その他

測地系一覧表 (つづき)

European 1950	オーストリア、ベルギー、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ジブラルタル、ギリシャ、イタリア、ルクセンブルグ、オランダ、ノルウェー、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、スイス
European 1979	オーストリア、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、スイス、フィンランド
Finland Hayfrd	フィンランド
Gandajika Base	モルジブ
Geod Datm '49	ニュージーランド
Guam 1963	グアム
Gux 1 Astro	ガダルカナル島
Hjorsey 1955	アイスランド
Hong Kong '63	香港
Hu-Tzu-Shan	台湾
Indian Bngldsh	バングラデシュ、インド、ネパール
Indian Thailand	タイ、ベトナム
Indonesia '74	インドネシア
Ireland 1965	アイルランド
ISTS 073 Astro	ディエゴガルシア
Johnston Island	スリランカ
Kerguelen Isld	ケルケレン島
Kertau 1948	マレーシア西部、シンガポール
L. C. 5 Astro	カイマンブラク島
Liberia 1964	リベリア
Luzon Mindanao	ミンダナオ島 (フィリピン)
Luzon Philippine	フィリピン (ミンダナオ島を除く)
Mahe 1971 Mahe	マーハ島
Marco Astro	サルベージ島
Massawa	エチオピア エリトリア地方
Merchich	モロッコ
Midway Ast '61	ミッドウェー
Minna	ナイジェリア
NAD27 Alaska	アラスカ

その他

測地系一覧表 (つづき)

NAD27 Bahamas	バハマ (サンサルバドル島を除く)
NAD27 Canada	カナダ、ニューファンドランド島
NAD27 Canal Zone	パナマ運河地帯
NAD27 Caribbn	カリブ海周辺諸国
NAD27 Central	中央アメリカ諸国 (ホンジュラス、エルサルバドル、グアテマラ、ニカラグア)
NAD27 CONUS	アメリカ大陸汎用
NAD27 Cuba	キューバ
NAD27 Grnland	グリーンランド
NAD27 Mexico	メキシコ
NAD27 San Sal	サンサルバドル島
NAD83	北・中央アメリカ汎用
Nhrwn Masirah	アルマシーラ島 (オマーン)
Nhrwn Saudi A	サウジアラビア
Nhrwn United A	アラブ首長国連邦
Naparima BWI	トリニダード・ドバゴ
Obsrvtorio '66	アゾレス諸島
Old Egyptian	エジプト
Old Hawaiian	ハワイ
Oman	オマーン
Ord Srvy GB	イギリス (シェットランド島を含む)
Pico De Las Nv	カナリア諸島
Ptcairn Ast '67	ピトカイルン島
Prov S Am '56	ボリビア、チリ、コロンビア、エクアドル、ガイアナ、ペルー、ベネズエラ
Prov S Chln '63	チリ
Puerto Rico	プエルトリコ、バージン諸島
Qatar National	カタール
Qornoq	グリーンランド南部
Reunion	マスカレーン島
Rome 1940	サルジニア島 (イタリア)
RT 90 Sweden	スウェーデン
Santo (Dos)	サント島
Sao Braz	ブラジル

その他

測地系一覧表 (つづき)

Sapper Hill '43	フォークランド諸島東部
Schwarzeck	ナミビア
Sth Amrcn '69	南アメリカ (アルゼンチン、ボリビア、チリ、コロンビア、エクアドル、パラグアイ、ガイアナ、ペルー、ベネズエラ、トリニダード・ドバゴ)
South Asia	シンガポール
SE Base	ポルトサント諸島、マディラ諸島
SW Base	アゾレス諸島
Timbalai 1948	ブルネイ、マレーシア東部
Tokyo	日本全域、韓国
Tristan Ast '68	トリスタン
Viti Levu 1916	フィジー
Wake-Eniwetok	マーシャル諸島
WGS 72	全世界汎用 1972年
WGS 84	全世界汎用 1984年
Zanderij	スリナム

その他

全国代表都市緯度経度表

都道府県	都市名	経緯度
北海道	札幌市	東経 141° 21'
		北緯 43° 04'
	稚内市	141° 40'
		45° 24'
	根室市	145° 35'
		43° 19'
	青森県 青森市	140° 45'
		40° 49'
岩手県	盛岡市	141° 09'
		39° 42'
宮城県	仙台市	140° 52'
		38° 16'
秋田県	秋田市	140° 06'
		39° 43'
山形県	山形市	140° 20'
		38° 15'
福島県	福島市	140° 29'
		37° 45'
茨城県	水戸市	140° 28'
		36° 22'
栃木県	宇都宮市	139° 53'
		36° 33'
群馬県	前橋市	139° 04'
		36° 23'
埼玉県	浦和市	139° 39'
		35° 52'

千葉県	千葉市	140° 07'
		35° 36'
東京都	東京 (千代田区)	139° 45'
		35° 41'
	八丈島	139° 48'
		33° 06'
	小笠原	142° 11'
		27° 05'
神奈川県	横浜市	139° 39'
		35° 26'
新潟県	新潟市	139° 02'
		37° 55'
富山県	富山市	137° 13'
		36° 42'
石川県	金沢市	136° 40'
		36° 34'
福井県	福井市	136° 13'
		36° 04'
山梨県	甲府市	138° 34'
		35° 40'
長野県	長野市	138° 12'
		36° 39'
岐阜県	岐阜市	136° 46'
		35° 25'
静岡県	静岡市	138° 23'
		34° 58'

全国代表都市緯度経度表(つづき)

愛知県	名古屋市	136° 55'
		35° 11'
三重県	津市	136° 31'
		34° 43'
滋賀県	大津市	135° 51'
		35° 1'
京都府	京都市	135° 46'
		35° 01'
大坂府	大阪市	135° 30'
		34° 41'
兵庫県	神戸市	135° 12'
		34° 41'
奈良県	奈良市	135° 48'
		34° 41'
和歌山県	和歌山市	135° 10'
		34° 14'
鳥取県	鳥取市	134° 14'
		35° 30'
島根県	松江市	133° 03'
		35° 28'
岡山県	岡山市	133° 55'
		34° 39'
広島県	広島市	132° 27'
		34° 23'
山口県	山口市	131° 29'
		34° 11'
徳島県	徳島市	134° 33'
		34° 04'
香川県	高松市	134° 03'
		34° 20'
愛媛県	松山市	132° 46'
		33° 50'
高知県	高知市	133° 32'
		33° 33'
福岡県	福岡市	130° 24'
		33° 35'
佐賀県	佐賀市	130° 18'
		33° 16'
長崎県	長崎市	129° 53'
		32° 45'
熊本県	熊本市	130° 43'
		32° 48'
大分県	大分市	131° 37'
		33° 14'
宮崎県	宮崎市	131° 25'
		31° 54'
鹿児島県	鹿児島市	130° 34'
		31° 36'
		屋久町 130° 33'
沖縄県	那覇市	30° 14'
		127° 41'
		26° 13'

その他

その他

メッセージ一覧表

ポケナビ・マウントミニは重要な情報を伝える場合、画面もしくはウィンドウで表示されます。メッセージには一時的な警告と状態を示す警告の2種類があります。一時的な警告は一度確認すると、消去しますが、継続状態を示す警告はその状態が解消されるまで表示されます。又、確認を求めるメッセージが表示された場合には、 設定ボタンを押すと元の画面に戻ります。

■衛星受信に関するメッセージ

衛星受信中です

ポケナビ・マウントミニが衛星電波を受信している状態です。

オートロケート中です

ご購入後初めてお使いになるか、最後に使用してから800km以上の距離を移動したか、最後に使用してから3ヶ月以上放置したかで、初期化をおこなっている状態です。5分ほどで初期化は完了します。

ナビ準備完了

衛星の情報を受信し、ナビゲーションが出来る状態になっています。

受信できません。室内で使用していますか？

衛星電波が受信できていない状態です。室内で使用している場合は「はい」を選択してください。GPS受信を解除します。もし、屋外で使用している場合は「いいえ」を選択して、次に表示されるメッセージに従ってください。

今日は××(月)××(日)××××(年)ですか？

衛星が受信または記録している情報が正しいかどうかの確認のメッセージです。日付が正しければ、「はい」を選択してください。再度、受信開始します。もし、日付が間違っている場合は「いいえ」を選択してください。再度オートロケート(更に広い範囲で衛星を探す状態)で受信開始します。

最後使用してから800km以上移動しましたか？

衛星のデータが古くなっているか、全く受信できない状態です。800km以上移動した場合は「はい」を選択してください。再度オートロケート(更に広い範囲で衛星を探す状態)で受信を開始します。もし、800km以上移動していない場合は「いいえ」を選択して、次に表示されるメッセージに従ってください。

メッセージ一覧表(つづき)

衛星受信状態ではありません。

現在GPS信号受信を切断しています。

弱受信

衛星からの信号の受信状態がよくありません。視界の開けた場所へ移動してください。

目的地点に到着

目的地付近に接近中のメッセージです。

電圧が低下しています。

電池の電圧(残量)が低下していますので、電池を交換して下さい。

電池交換

電池が消耗していますので、電池を交換してください。

ルート数が満杯です

ルートに50個のウェイポイントが既に登録されているので、これ以上の登録はできません。

ウェイポイントが満杯です

ウェイポイントが既に500個登録されています。新しいウェイポイントを登録する為には現在登録されているウェイポイントのどれかを消去する必要があります。

軌跡点数が満杯です

軌跡が既に10個登録されています。新しい軌跡を登録する為には現在登録されている軌跡のどれかを消去する必要があります。

DGPS情報が不足しています

ディファレンシャルGPSによって位置を計算するデータが不足しています。

通信完了

接続している機器とのデータのやりとりが完了しました。

コンパス調整が必要です

方位計測が必要です。調整画面(→P106)で計測してください。

メッセージ一覧表 (つづき)

高度が分かっていますか

高度調整を行う時のメッセージです。高度が分かっている場合には「はい」を選択してください。

気圧が分かっていますか

高度調整を行う時のメッセージです。海面更正した気圧が分かっている場合には「はい」を選択してください。

GPS高度を使用しますか

高度調整を行う時のメッセージです。高度または気圧入力ができない場合には「はい」を選択します。自動的にGPS高度を使用します。→P106

ROMが故障しています

メモリー回路が異常でポケナビ・ミニを作動させることができません。修理が必要です。お買い上げいただいた販売店、もしくはエンペックス気象計(株) お客様サービス室までご連絡ください。

RAMが故障しています

内蔵バックアップ電池の寿命が近づいています。修理が必要です。お買い上げいただいた販売店、もしくはエンペックス気象計(株) お客様サービス室までご連絡ください。

電圧が高すぎます

外部からの電圧が高すぎます。仕様電圧内に調整してください。

地図画面が故障しています

地図画面が故障しています。修理が必要です。お買い上げいただいた販売店、もしくはエンペックス気象計(株) お客様サービス室までご連絡ください。

前方を曲がる

トラックナビ中に大きく方向が変わる(曲がる)地点に接近しています。

その他

メッセージ一覧表 (つづき)

データエラー

本体内蔵のデータがエラーを起こしています。修理が必要です。お買い上げ頂いた販売店、もしくはエンペックス気象計(株) お客様サービス室までご連絡ください。

無効メッセージ

外部機器などから取り込んだデータが無効なデータを受取っています。

キセキ中断

取込んでいる軌跡のデータが中断されました。本体の使用メモリを消去するか、軌跡データのメモリを修正して下さい。

ルート中断

取込んでいるルートのデータが中断されました。ルートのデータのメモリを修正して下さい。

その他

ポケナビQ&A

Q1 何度も「受信できない」メッセージが表示される時は？

A 衛星受信ができないときは原因として、以下のことが考えられますので、確認してみてください。

- ・上空の視界は開けていますか？
- ・高圧電線の近くなど、磁気を発生するものが近くにありませんか？

対処法：場所を移動してみてください

A ・測地系の設定は間違っていますか？

対処法：使用する地域に適した測地系を設定してください
(P120を参照下さい)

A ・時差の設定は間違っていますか？

対処法：使用する地域に適した時差を設定してください
(P115を参照下さい)

A ・電池が古くなっていませんか？また、シガーライターソケットなどの外部から電源を取っている場合は正しく接続されていますか？

対処法：電池を新しいものに交換してください。
外部の電源の接続を確認してください。

ポケナビQ&A (つづき)

Q2 電源が入らない/画面が表示されないときは？

A ・電池は正しく入っていますか？

対処法：電池蓋を開けて確認し、正しく入れ直してください。

A ・電池が古くなっていませんか？また、シガーライターソケットなどの外部から電源を取っている場合は、正しく接続されていますか？

対処法：電池を新しいものに交換してください。外部電源の場合は接続を確認してみてください。

A ・コントラストの調整はあっていますか？

対処法：寒いところでは、LCD画面の液晶表示が薄くなり、暑いところでは濃くなります。一度、常温の場所に戻ってしばらく置いてから電源を入れてみてコントラストの調節をしてください。寒いところで使う場合はコントラストを濃いめに、暑いところで使うときはコントラストを薄めに設定してください。(P117参照)

A ・極端に寒いところや暑いところで使っていませんか？

- ・強い衝撃や振動を与えませんでしたか？
- ・強い磁気や電磁波を与えませんでしたか？
- ・水などの液体が内部に入りませんでしたか？

対処法：故障が考えられます。お買い上げ店または、弊社のお客様サービス室へご相談ください。

ポケナビQ&A (つづき)

Q3 外国で使うときは？

A ・お使いになる地域に合わせて、測地系と時差の設定をしてください。

対処法：(P120、115参照)

Q4 位置の誤差がでるのはどうして？

A GPSの精度は15mRMS、高度は70mRMS (共に68%)です。この誤差は人工衛星が常に軌道しているため、電波が伝わるまでの時間にずれが生じ、実際の位置に誤差が生じます。(15mRMSとは正確な位置を中心として半径15mの球の中に誤差が収まる確率が68%を表しています) 又、その誤差は衛星受信の状態によって大きく変化し、「3D」の状態のときよりも「2D」の方が大きくなります。

Q5 GPSコンパスの矢印が目的地の方向を示さない／安定しない

A GPSコンパスの矢印は、ナビゲーション機能を使用中で移動しているときのみ表示されます。又、静止した状態では正しい方向が確認できませんので、方向を確認したい時や、安定した方向を表示させたい時には早歩き程度に歩いてください。

※静止した状態で方位を確認したい場合は、電子コンパスに変更してください。

Q6 GPSが表示している位置と紙地図が合っていない

・お使いの地図の測地系に設定を修正してください。

対処法：(P145参照)

その他

索引

索引

2
2Dナビ・・・28
2次元測位・・・15、28

3
3Dナビ・・・28
3次元測位・・・15、28

D
DGPS・・・125、137、138

F
FM多重方式・・・137

G
GPS・・・15
GPS高度・・・106、111
GARMIN(出力形式)・・・138

N
NMEA・・・140

U
UTC・・・115、143
UTM・・・119

あ
アイコン・・・30
アップボタン・・・13、14
アルマナック・・・28
アンテナ・・・13、20

い
位置(現在位置)・・・30
イチケイシキ(位置表示形式)
・・・118、119
位置登録・・・47、48
緯度・・・22

移動距離・・・35

う
ウインドウ・・・22
ウェイポイント・・・22

え
衛星受信・・・28、150
衛星電波・・・15、21、48

お
オートロケート・・・28、150
オプションパーツ・・・142

か
画面表示・・・113、116
拡大縮小・・・33

き
気圧・・・38
気圧高度・・・38、39、106
軌跡・・・22、30、96
軌跡選択・・・96
逆コース・・・98
キョウド(受信強度)・・・29
距リ(距離)・・・35、37
距離ズーム・・・40
均速・・・35

く
グリッド・・・131

け
経度・・・22
現地時間・・・35
携帯電話方式・・・137

こ
高度画面・・・24、38
高度ズーム・・・43

その他

索引 (つづき)

高度データ 38、39、46
 コース設定 69、75
 コネクタ 141
 コントラスト 117
 コンパス画面 24
 コンパス拡大 34、36

さ
 最速 35、37
 最大上昇高度 39
 最大下降高度 39
 最高高度 39、45
 削除 93

し
 時間制 114
 時間ズーム 42
 時間設定 115
 時刻 47
 時差 115、143
 自動ズーム 33
 自動調整 136
 ジホク(磁北) 131
 シミュレーション 133
 弱受信 28
 手動ズーム 33
 手動調整 136
 受信画面 94、28
 使用メモリ 97、104
 消去 64、94、103、
 進行方向 113、126
 進行方向マーク(線) 34
 シンボク(真北) 131
 シンボルマーク 34

す
 垂直高度 43
 垂直距離 43
 スケール 30
 ストラップ 12、19

せ
 セイド(精度) 29
 世界協定時 115、143
 積算 35、37
 セットアップ 113
 設定画面 13、14
 設定ボタン 113
 全消去 65、95、105

そ
 操作 113、133
 総上昇距離 39
 総下降距離 39
 速度 35
 ソクチケイ(測地系) 118、120
 速度設定 145

た
 ダウンボタン 13、14
 タイトル画面 24

ち
 地図画面 24、30
 調整 47、106

つ
 追加ポイント 91

て
 ディファレンシャル 137
 電源ボタン 13、14
 電池 17、18
 電子コンパス 34
 データ消去 46

と
 登録リスト 97
 トラックナビ 96、98

索引 (つづき)

な
 ナビ設定 113、118
 ナビゲーション 9、67
 ナビ情報 34
 ナビ中止 82

に
 入出力 113、124

の
 ノコリジカン(残り時間) 34
 ノーマル 133
 濃淡 117

は
 バックライト 14、24、116
 バッテリーセーブ 133
 反転 22

ひ
 ビーコン方式 137
 日付 47
 日の出/日の入 35

へ
 ページボタン 13、14
 ヘンカク(偏角) 131

ほ
 ポイントナビ 9、67、69
 方位リング 34

め
 メニュー画面 24
 メモリー高度 47

も
 目測ナビ 8、69、78
 目測ウェイポイント 48、54
 目的地 30、34

文字の拡大 36
 最寄ウェイポイント 72

や
 矢印 34

ゆ
 ユーザー 131

る
 ルート 22、47、67
 ルートナビ 83

取扱説明書について

本書の著作権はエンペックス気象計株式会社に帰属します。

本書の一部あるいは全部を、当社から書面による事前の許諾を得ることなく複写複製（コピー）することを禁じます。

また、本書の内容（文章、イラスト等）についても当社から書面による事前の許諾を得ることなく転載、記載することを禁じます。

本書には正確に情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。

© 2000 エンペックス気象計株式会社

※ポケナビはエンペックス気象計株式会社の登録商標です。

※アトラスRD、プロアトラスはアルプス社の商標です。

※マップルライフは昭文社の商標です。

※Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。

その他

アフターサービス/保証規定について

■アフターサービスについて

- ・保証期間内に、正常なご使用状態で、万一故障した場合には、保証書を添えてお買い上げ店または、保証書に記載の弊社お客様相談室にお送りください。
 - ・保証内容は、保証規定に記載したとおりです。
 - ・この製品の補修部品の保存期間は製造打ち切り後5年間です。
- ※補修部品とは製品の機能を維持するために不可欠な本体部品です。
- ・修理のとき、必要な部品や付属品などは、一部代替品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
 - ・修理の可能な期間は、ご使用条件によりいちじるしく異なるため、精度も元通りにならない場合がありますのでご了承ください。

■保証規定について

1. 説明書の注意に従った正常なご使用状態で故障した場合は、お買い上げ後1年間、無料で修理いたします。尚、故障の内容によりましては修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります。
2. 修理の必要が生じた場合は、製品に本証を添えて、お買い上げ店または、エンペックス気象計お客様相談室へご持参あるいはご郵送ください。（郵送料はお客様がご負担ください。）
3. 保証期間内でも次の場合は、有料修理になります。
 - イ. 誤用・乱用・および扱い不注意による故障
 - ロ. 火災・地震・水害および盗難等の災害による故障
 - ハ. 不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障
 - ニ. 使用中に生じたキズなどの外観上の変化
 - ホ. 消耗品および付属品の交換
 - ヘ. 本証の提示がない場合および必要事項（お買い上げ日、販売店名等）の記入がない場合
4. 本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので、大切に保存してください。
This warranty is valid only in Japan.

その他

ポケナビ・マウントミニ仕様

1. 本体 日常生活防水
2. 寸法 約112×52×29mm
3. 重量 約156g (電池含む)
4. 使用温度 -15~+70℃
5. メモリーバックアップ . . . 内蔵リチウム電池による
6. 受信性能 12チャンネルパラレル受信機 (DGPS使用可能)
7. 衛星捕捉時間 約15秒 (ウォームスタート ※1)
約45秒 (コールドスタート ※2)
約5分 (オートロケート)
8. データ更新時間 1秒毎連続
9. 位置精度 15m RMS
1~5m RMS (DGPS補正時)
高度70mRMS
10. 速度精度 0.2km/h RMS (定常速度にて)
11. 追従性能/速度 . . . 180km/h以下
加速度 6G以下
12. インターフェイス . . . PC用シリアル (NMEA、RS232接続可)
13. アンテナ 本体内部蔵型
14. 電子コンパス 計測範囲 (0~359°)、精度: ±5° ※3
15. 気圧高度計 計測範囲 (-600~9,000m)、
精度: 読み値の±3% ※3
16. 入力電源 単3アルカリ型1.5V電池2本 または、3~3.3V DC
17. 電池寿命 約16時間 (バッテリーセーブモード使用時) ※4
約14時間 (バッテリーノーマルモード使用時) ※4

※1 ウォームスタートとは、前回の使用から1時間以内に電源を入れて使用すること。

※2 コールドスタートとは1時間以上経過してから電源を入れて使用すること。

※3 説明書に基づき高度・気圧により正しく調整した場合。

※4 低温状態での使用、バックライト使用頻度により異なる。

その他

メモ欄

その他